

富士見市公共施設白書

平成25年度版



平成27年1月

 **富士見市**
CITY OF FUJIMI

目次

＜この白書の見方＞	1
(1) データの時点	1
(2) データ等の出典	1
(3) 施設の概要	1
(4) 施設の築年別整備状況	2
(5) 付帯設備一覧	2
(6) 施設の管理運営にかかるコスト	4
第1章 市の概況	7
第1節 人口・世帯数等	8
(1) 年齢区分別人口の推移	8
(2) 将来の人口動向	8
(3) 世帯構成割合	9
(4) 児童・生徒数の推移	9
第2節 市の財政状況	10
(1) 歳入決算の推移	10
(2) 歳出決算の推移	11
(3) 財産	12
(4) 職員数等	12
(5) 市民意識調査	13
第2章 富士見市の公共施設の概要	15
第1節 公共施設とは	16
(1) 本白書で取り扱う公共施設	16
(2) 対象施設一覧 全 127 施設	17
(3) 施設配置	20
第2節 全施設の築年別整備状況（延べ床面積）	22
第3節 財務諸表による整備状況分析	23
(1) 資産形成度（普通交付税の類似団体比較）	23
(2) 公共施設整備費の世代間割合（普通交付税の類似団体比較）	24
(3) 行政目的別有形固定資産の内訳（富士見市）	25
(4) 行政目的別有形固定資産の内訳（普通交付税の類似団体比較）	26
第3章 個別施設の状況と課題	27
第1節 学校教育施設	29

(1)	小学校	29
(2)	中学校	35
(3)	特別支援学校、その他教育施設	40
第2節	生涯学習施設	45
(1)	公民館・交流センター・コミュニティセンター	45
(2)	図書館・資料館・体育館	62
(3)	集会所	71
(4)	文化会館	78
第3節	福祉施設	81
(1)	市立保育所・園	81
(2)	放課後児童クラブ・児童館	85
(3)	高齢者福祉施設	92
(4)	障がい者福祉施設	98
第4節	都市基盤施設	103
(1)	防災施設	103
(2)	市営自転車駐車場	107
(3)	公園関連施設	111
第5節	行政施設	114
(1)	庁舎	114
(2)	出張所	119
(3)	その他	124
第6節	全施設のコスト構成比	126
第4章	本書のまとめ	127
第1節	本白書の役割	128
(1)	ハコモノ公共施設の現状を「見える化」	128
(2)	「見える化」された課題	128
第2節	今後の取り組み	129
(1)	固定資産台帳の整備	129
(2)	公共施設等総合管理計画の策定	129
(3)	中長期保全計画の作成（ハコモノ公共施設に関して）	130
(4)	実効性のある維持管理体制の確立	131

<この白書の見方>

(1) データの時点

- 集計データは、特に注釈のある場合を除き、平成 25 年度 1 年間の合計数です。
- 在籍者数などある時点の数値等を表している場合は、平成 26 年 3 月 31 日時点です。ただし、他の時点を用いている場合は注釈を入れてあります。
- 面積の小数点以下は四捨五入しています。

(2) データ等の出典

- 各データ・資料の下に出典を記載しています。記載がない場合は管財課でデータを収集・集計・加工したものです。
- 複数のデータ等が章または節単位で同じ出典の場合は、冒頭にまとめて表示してあります。

(3) 施設の概要

- 施設の種類により、「学校教育」「生涯学習」「福祉」「都市基盤」「行政」として分類しました。個別施設にはこの分類により整理番号を振ってあります。
- 施設の名称、所在地、所管、複合・併設の有無、構造、築年月、延床面積、土地面積を掲載しています。借地を含む場合は「借地」と表記しています。
- 学校については、上記に加えて、児童数・教室数、校舎・体育館別延床面積、建物敷地・グラウンド別敷地面積、児童一人あたりの建物延床面積を掲載しています。
- 施設とは、第 1 に建物（いわゆるハコモノ）であり、第 2 に行政目的を達成するための行政機能を指します。従って、建物として単一の施設であっても、その建物が有している行政機能が複数ある場合は、複合施設となります。
- 複合施設区分は以下の通りです。
単独：単一敷地内に単一施設が 1 つだけ存在するもの（建物が複数存在するものも含む）
複合：同一の建物内に複数の施設が同居しているもの
併設：同一の敷地に複数の施設がそれぞれ複数の建物に分かれて存在するもの
※複合かつ併設であるものは、複合としています。
- 複合施設の延床面積については、それぞれの専有面積を表示してあります。

なお、共有部分は専有面積が最も大きい施設に一括計上しています。

- 構造の表記は、下記のとおりです。
SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造
RC：鉄筋コンクリート造
S：鉄骨造（重量又は軽量）
W：木造 ※その他は具体的に表記しています。
- 建築年月は、竣工年を表しています。なお、単独施設で同一敷地内に竣工年の違う複数の建物がある場合は、最も古い建物の竣工年としました。学校の構造・建築年月は、築年別整備状況一覧に記載しています。

（４） 施設の築年別整備状況

- 耐震性については、基礎や柱・屋根など建物の根幹となる部分（構造部材といいますが）が地震に耐えうることを表しています。昭和 56 年以前の建築年月である建物は、耐震診断をしたのち、耐震化工事を施している建物を耐震性○としています。昭和 56 年以降の建築年月である建物は、すべて○としています。また、同一敷地内に複数の建物がある場合は、すべての建物が耐震化された場合に○としています。
- 天井や壁、窓などの部分（非構造部材といいますが）の耐震化は含まれていません。
- 建物の老朽化度を築年数、大規模改修の有無、建築又は改修からの経過年で表しています。

（５） 付帯設備一覧

＜設置状況の表記＞

◎：施設に全面設置（必要と思われる個所にすべて設置してあるという意味）

○：災害時に開設予定

☆：災害時に必要に応じて開設予定

△：施設の一部に設置済み、または全面設置予定あり

×：未設置または設置・開設予定なし

—：対象外（例えば、1階建の建物に対してエレベーターの有無など）

- バリアフリー対応
車いす用エレベーター、身障者用トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの導入状況。

- 環境対応
 - ✓ 自然エネルギー・太陽光発電
風や水、太陽光等の自然エネルギーを利用して発電する設備の導入状況。
 - ✓ 屋上緑化・壁面緑化
屋上緑化、壁面緑化(季節的な緑のカーテン等の取組を含む)の導入状況。
 - ✓ 環境対応設備
節水型便器、LEDなどの高効率照明器具、雨水・中水設備等の導入状況。
※中水とは、水道水(上水)として生活用水に使った水を下水道に流すまでもう一度再利用することをいいます。

- 防災対応設備
 - ✓ 地域防災計画での位置付け
 災害対策本部：市役所本庁舎が使用できない場合は、中央図書館2階、市民文化会館、市民総合体育館の順で指定されています。
 避難所：市民の避難所となる場所です。なお、○であっても、災害の規模や地域性により設置されない場合もあります。
 また、「一時」とあるのは、避難者を収容する施設がなく、避難所に移動するために一時的に集合する場所です。
 救護所：避難所などの各防災拠点に必要なに応じて設置します。なお、○であっても、災害の規模や地域性により設置されない場合もあります。
 備蓄倉庫：非常食、生活用具、衛生用品、資機材等の備蓄場所。
 応急給水場所：災害用井戸のほか、大量の水を供給できる設備がある場所です。
 - ✓ 避難所としての機能
 災害時優先電話：通信回線が制限された場合でも、優先的に通話できる回線の保有状況。
 洋式トイレ：身障者用トイレを除きます。
 簡易トイレ：マンホールトイレ以外の非常用トイレ。
 マンホールトイレ：災害時に、下水道のマンホールの上に簡易なトイレ設備を設けて使用するもので、施設内に災害時トイレ専用のマンホールがあり、かつ専用の仮設トイレ設備が備蓄されている施設が該当となります。
 調理場：「調理室」や「給食室」など、非常時に調理を行う設備の保有状況。単なる給湯室は除きます。

代替電源：自家用発電設備・携帯用発電機・太陽光発電設備等の保有状況。

冷暖房設備：エアコン、灯油ストーブ、ガスストーブ等の保有状況。

入浴施設：災害時に大人が入浴できるような、温水シャワー、浴槽設備の保有状況。

✓ 浸水地域であるか

富士見市が作成した洪水ハザードマップにおける各施設の浸水深度を次の区分により表しました。

A：浸水なし

B：浸水深0.5m未満

C：浸水深0.5m～1.0m

D：浸水深1.0m～2.0m

E：浸水深2.0m～5.0m

F：浸水深5.0m以上

(6) 施設の管理運営にかかるコスト

本白書の項目	決算書の項目
施設維持管理にかかるコスト	
光熱水費	第11節 需用費（電気料金、上下水道料金、ガス料金）
修繕費	第11節 需用費（修繕料）
委託料	第13節 委託料
使用料・賃借料	第14節 使用料及び賃借料
備品代	第18節 備品購入費
建設工事費	第15節 工事請負費、第16節 原材料費、第17節 公有財産購入費
人件費	第2節 給料、第3節 職員手当等、第4節 共済費
事業運営にかかるコスト	
謝礼等	第8節 報償費
消耗品費	第11節 需用費（消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、医薬材料費）
通信運搬費	第12節 役務費 第27節 公課費
補助金等	第19節 負担金、補助及び交付金、第20節 扶助費
人件費	第1節 報酬、第2節 給料、第7節 賃金、第9節 旅費
収入	
使用料等	(第13款) 使用料及び手数料
その他収入	(第16款) 財産収入、(第20款) 諸収入

- 施設の管理運営にかかる経費について、特に説明のない限り、『平成25年度主要な施策の成果報告書』及び『平成25年度決算書』のデータに基づき、

円単位で掲載しています。決算書の区分「款・項・目・節」のうち、支出内容の性質により分けられた「節」を用いて、施設維持管理にかかるコスト及び事業運営にかかるコストに区分しました。

- 複合施設の光熱水費や管理委託料などにおいて、決算書上、建物の最も大きい専有面積を占める施設に計上されている場合は、そのまま計上している場合があります。
- 指定管理料はすべて委託料としています。
- 人件費は、『平成 25 年度主要な施策の成果報告書』から引用し、平成 25 年度の人件費の総額を、平成 25 年 4 月 1 日現在に在籍していた正規職員数（無給者を除く。）で除した額（職員平均人件費 8,851,830 円・再任用職員平均人件費 2,179,501 円）に、各事業の概算事業従事人数を乗じて概算人件費を算出しています。職員に支給している給料・手当のほかに、共済費（職員共済組合負担金・地方公務員災害補償基金）及び退職手当負担金といった雇用主（市）が負担しているものを含めて算出しています。
- 収入項目のうち、「使用料等」は、施設利用者から徴収する利用料、使用料、入館料などの収入です。「その他収入」は、施設に設置する自動販売機や敷地内の電柱などに係る使用料などです。
- 収入には施設そのものが持つ収益力に起因するもののみを計上し、国・県支出金（補助金や交付金など）は含んでいません。
- 建設費は、当初建築費だけでなく、平成 24 年度（平成 25 年度分は決算額に含む）までの改修費等を積算した価格としています。
- 減価償却費は、税法によって決められている耐用年数を次のようにあてはめて、建設費または取得価格から、定額法により残存価格を 0 として算出しています。なお、この耐用年数が建物の寿命になるわけではありません。

構造	用途	耐用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造	庁舎・会館	50 年
	学校・体育館	47 年
鉄筋コンクリート造	駐輪場・倉庫	38 年
鉄骨造（重量）	庁舎・会館	38 年
	学校・体育館	34 年
	駐輪場・その他倉庫	31 年
鉄骨造（軽量）	庁舎・会館	30 年
	駐輪場	25 年
	その他車庫	25 年
木造	庁舎・会館	30 年
	その他車庫	25 年

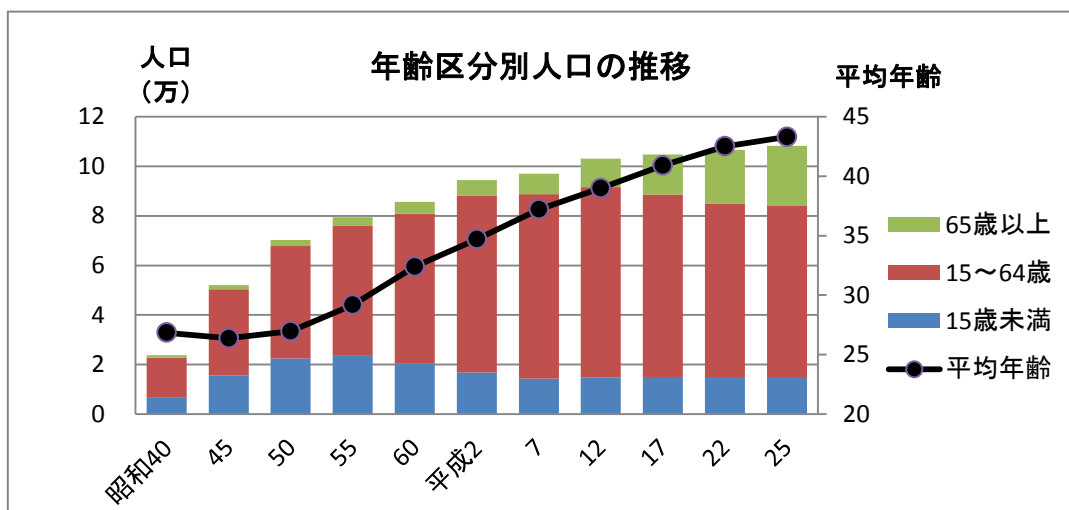
第1章 市の概況

第1節 人口・世帯数等

(1) 年齢区分別人口の推移

総人口は、昭和40年の23,767人から、平成25年に108,306人となり、48年間で約4.5倍に増加しています。

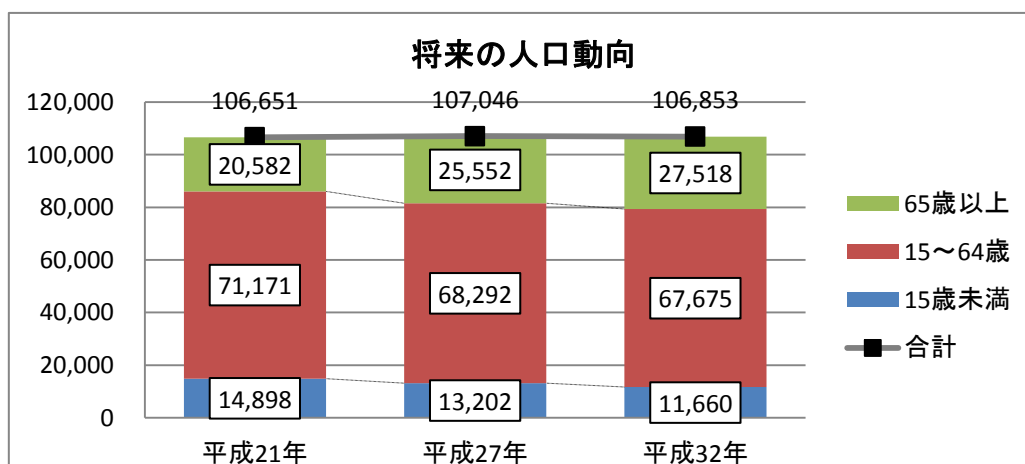
また、65歳以上の高齢者は同じく970人から24,033人となり、平成25年の高齢化率は22.2%、平均年齢は43.3歳で、本市も“超高齢社会”になっています。



(資料：統計ふじみ)

(2) 将来の人口動向

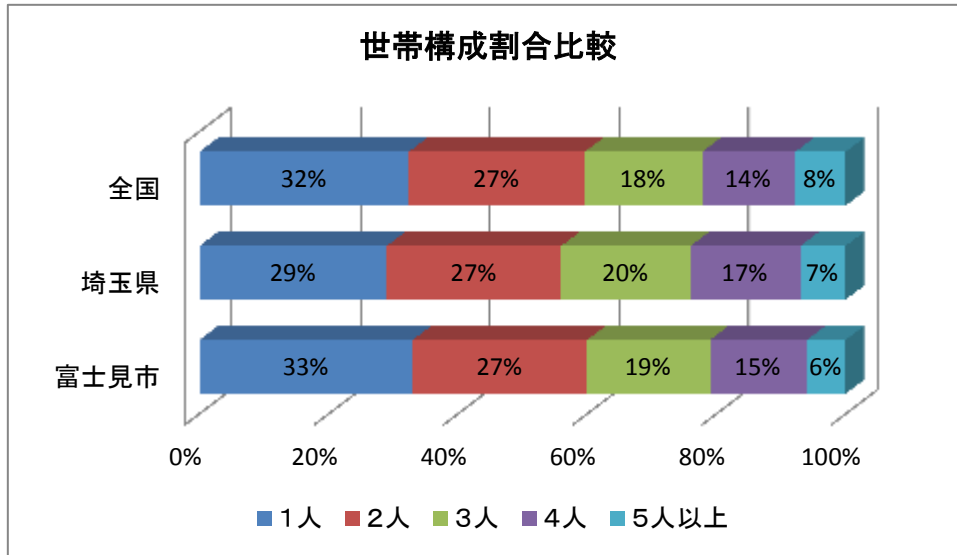
本市の将来人口は、総人口については横ばいとなる見込みですが、少子高齢化がさらに進み、特に高齢化率は平成32年に25.8%となることが予想されます。



(資料：第5次基本構想)

(3) 世帯構成割合

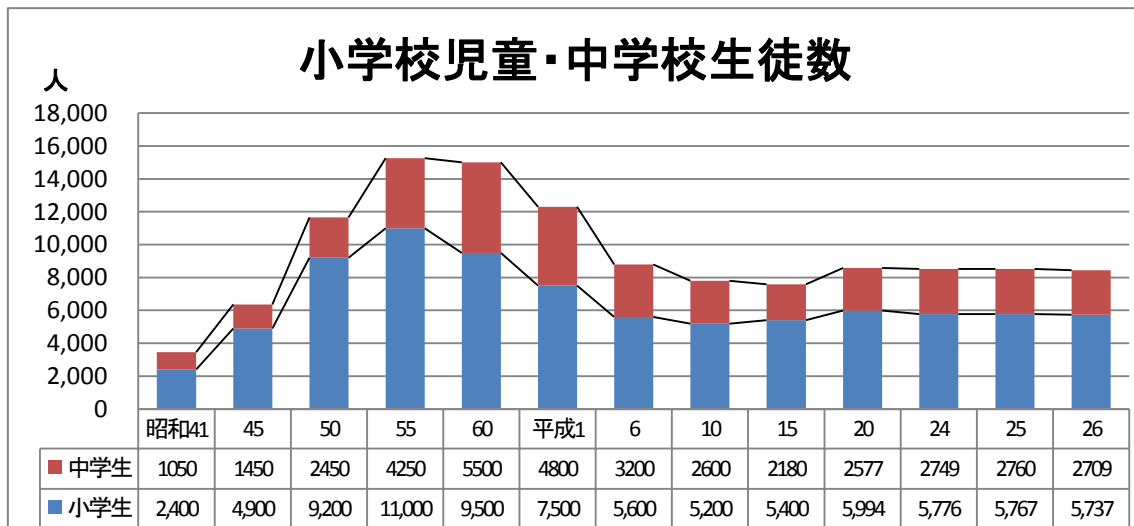
世帯構成割合（平成 22 年）は、本市は全国・埼玉県とほぼ構成割合が同じでした。



(資料：統計ふじみ、日本の統計)

(4) 児童・生徒数の推移

市立小中学校の児童生徒数は、昭和 55 年と平成 26 年を比較すると、小中合わせて 6,804 人（45%）が減少しています。

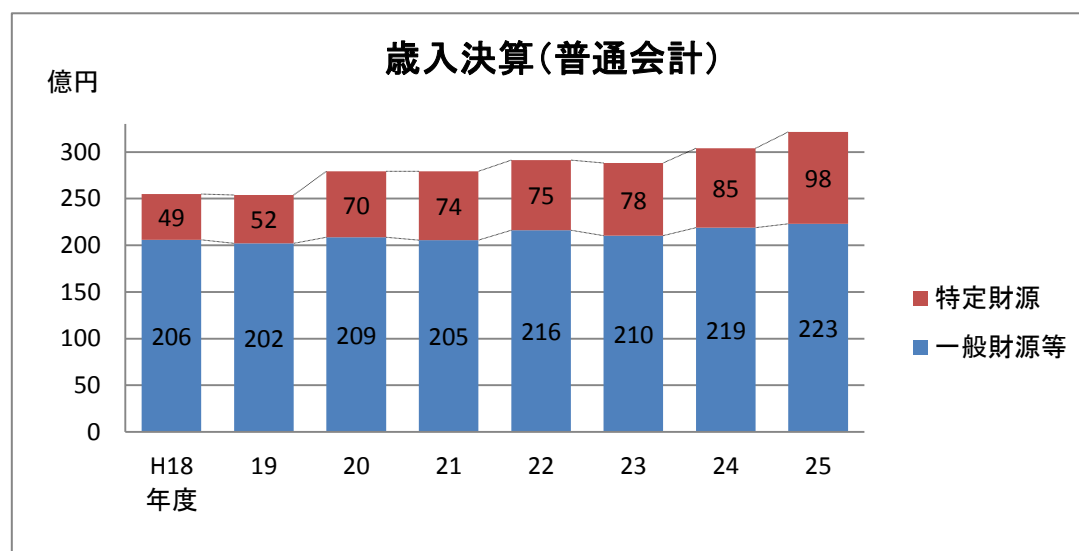
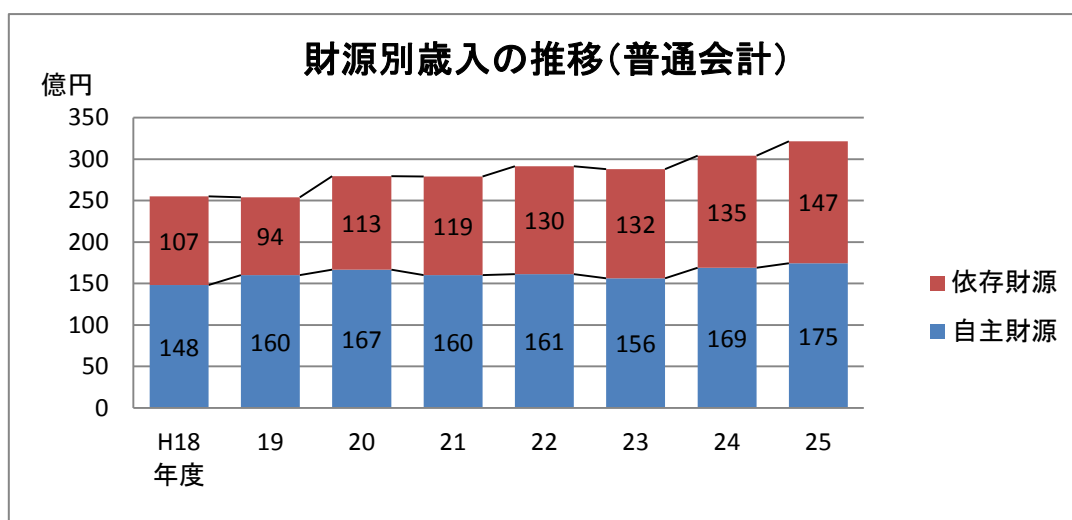


(資料：平成 26 年度教育要覧)

第2節 市の財政状況

(1) 歳入決算の推移

平成18年度と平成25年度を比較すると、歳入総額は約66億円増加しています。市税収入は微増ですが、国の経済対策により公共事業への補助金や地方債（特定財源）が大きく増加しています。



(資料：普通会計決算状況調書)

自主財源とは、地方公共団体が自主的に収入できる財源のこと。代表的なものは市税で、地方財政の自主性と安定性を確保する上では、歳入全体に占めるこの自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましい。

依存財源とは、自主的に収入できる自主財源に対し、国や県の決定や割り当てに基づいて収入するものをいう。国庫支出金や県支出金のほか、地方譲与税、利子割交付金等の各種交付金、地方債（市債）など。

一般財源とは、使途が特定されない財源のこと。税、譲与税、各種交付金が主なもので、使用料及び手数料、財産収入、繰越金、繰入金、寄附金等は、その各々の収納した目的、性格等によって一般財源にも特定財源にもなりうる。

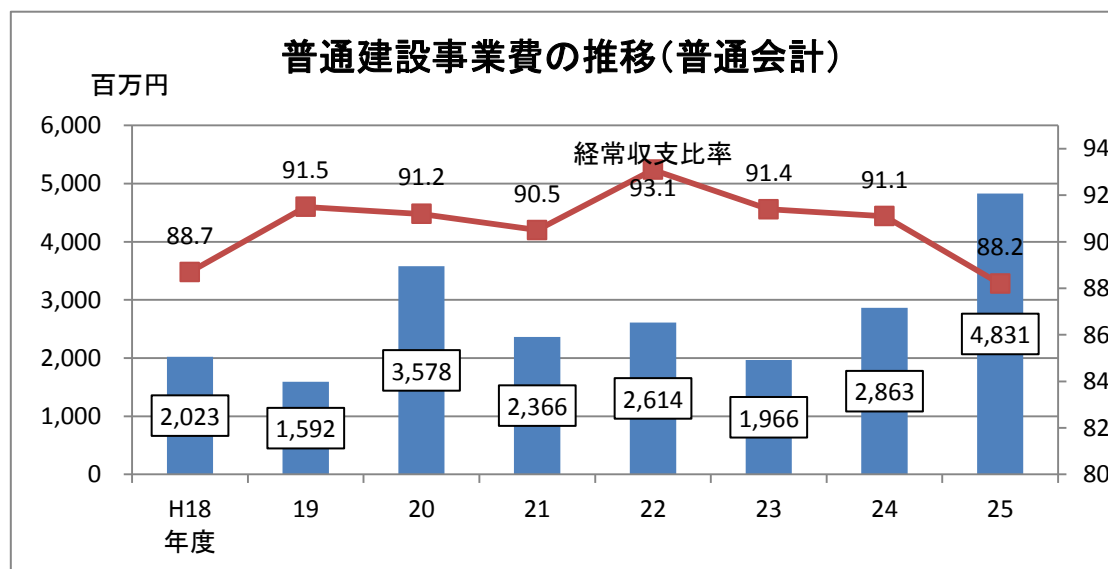
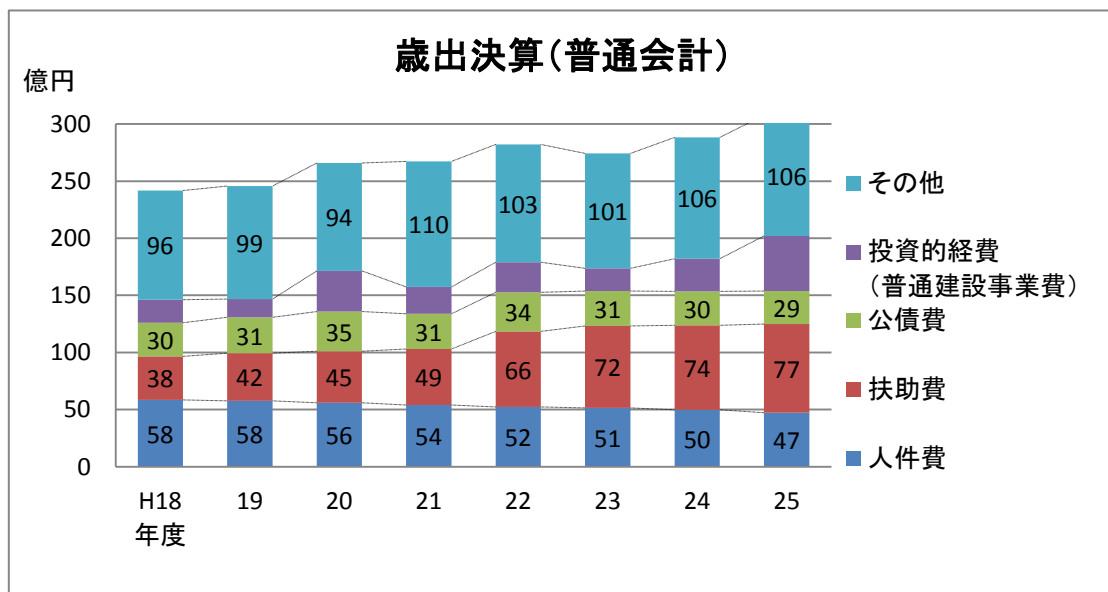
特定財源とは、使途が特定されている財源のこと。一般財源との対比で用いられる。国庫支出金、県支出金、市債（減税補てん債を除く）が主なもの。

(2) 歳出決算の推移

人件費・扶助費（社会保障にかかる経費）・公債費（借金の返済金）は、固定的に支出しなければならない義務的経費です。特に扶助費については、少子高齢化の影響等により、平成18年度と平成25年度を比較すると、大きく増加しています。

残りの投資的経費（普通建設事業費）は公共施設整備に充てられる経費であり、国・県の補助金を活用しながら、市民ニーズに応えるべく有効に使っていく必要があります。

毎年度常に支出しなければならない経費に使われているお金（経常経費）が一般財源に占める割合を表す数値が経常収支比率であり、財政構造の弾力性を表しています。本市の場合は90%前後で推移しており、財政運営が厳しい状況にあるといえます。

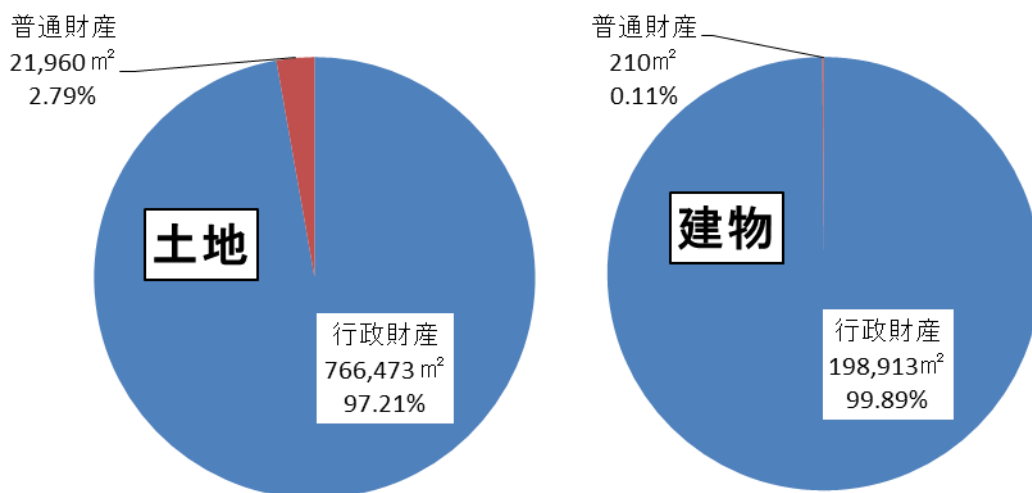


(資料：普通会計決算状況調書)

(3) 財産

地方公共団体の財産は、市民サービスを提供するための行政財産と、それ以外の普通財産に分類されます。

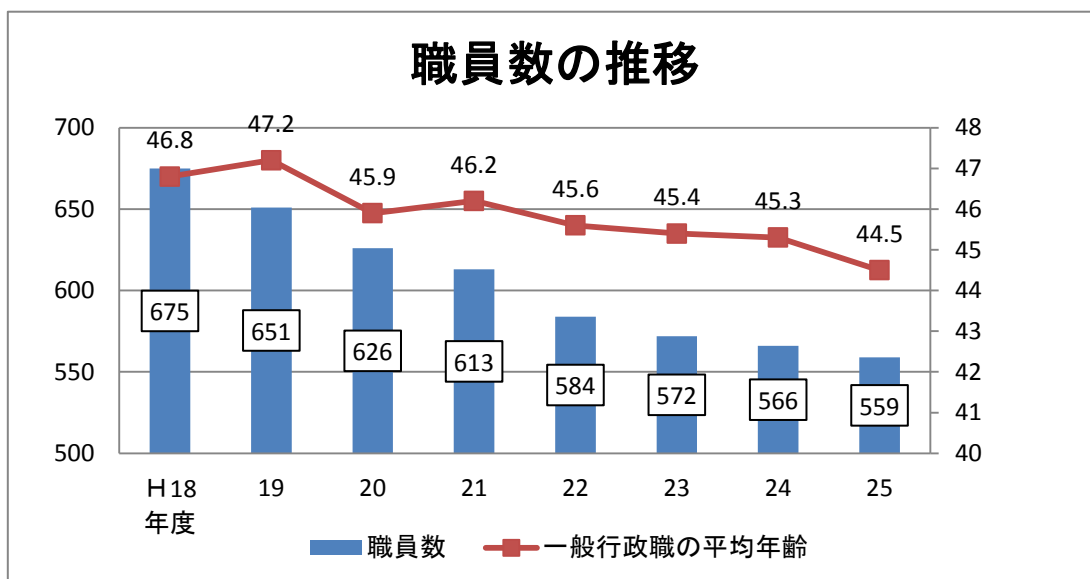
平成 25 年度決算における本市が所有する土地は、道水路を除いて約 80 万㎡あります。また、建物は 20 万㎡あります。いずれも、ほとんどが行政財産です。



(資料：平成 25 年度決算書)

(4) 職員数等

職員定員適正化計画により、正職員数は平成 18 から 25 年度までに 116 人減少しています。これに伴い、人件費は普通会計ベースで年間 58 億 4451 万円（平成 18 年度）から 47 億 3395 万円（平成 25 年度）と 19%減少しています。



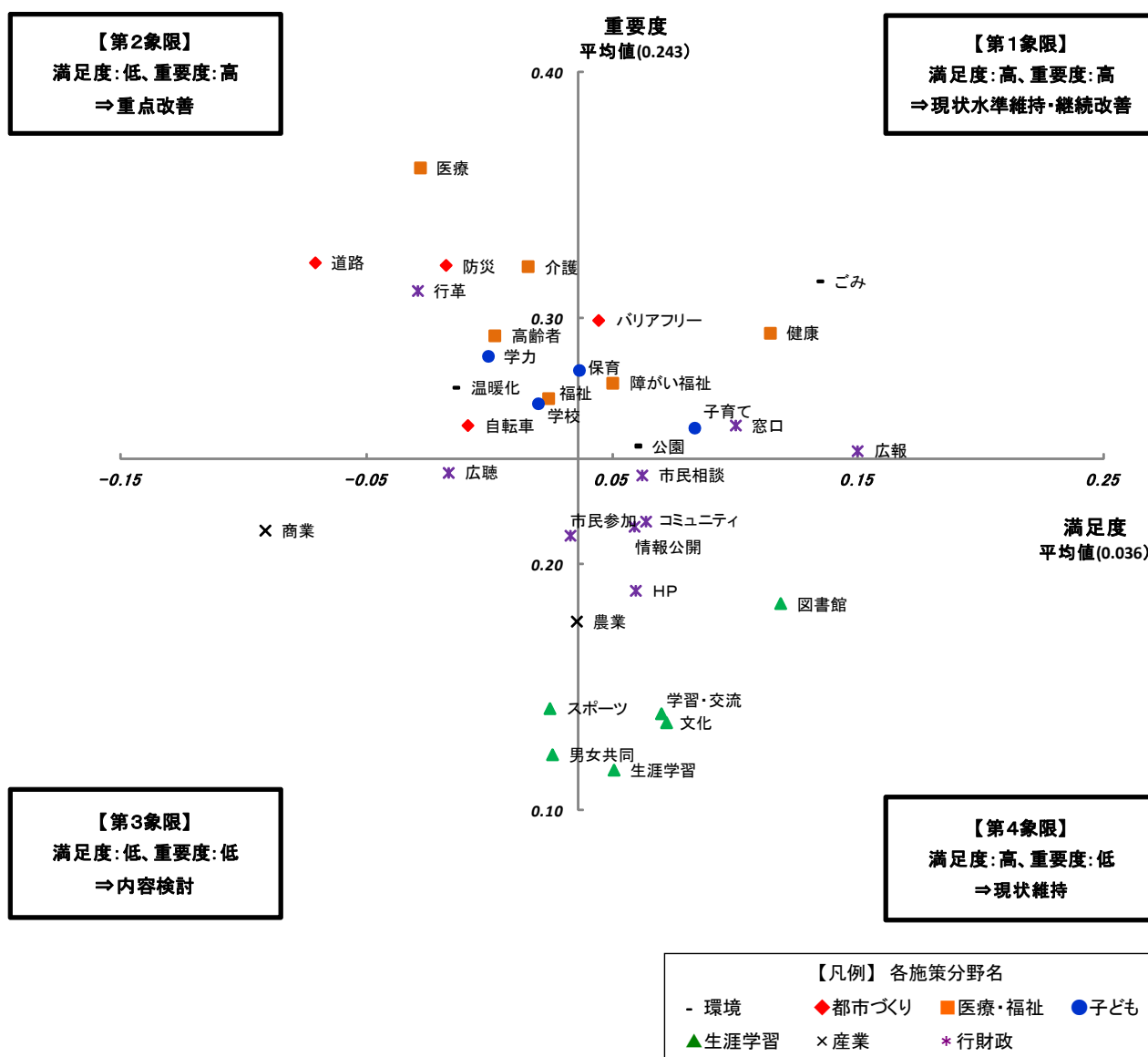
(職員数資料：富士見市の給与・定員管理等について 各年 4 月 1 日)

(人件費資料：普通会計決算状況調書)

(5) 市民意識調査

平成 24 年 9 月、18 歳以上の市民の方 3,000 人を対象に、13 回目となる市民意識調査を実施しました。この調査は、市の 34 施策に対する市民の皆様の満足度や重要度、不満な理由を把握し、市政に反映させるため、定期的に行っているものです。

「満足度は低いが、重要度が高い」施策が 11 施策で最も多く、次いで「満足度が高く、重要度が高い」施策が 9 施策の順となっています。今後重点的な改善が求められる第 2 象限に位置する 11 施策は、第 5 次基本構想で掲げた基本目標「安全・安心、快適な地域をつくる人のまち」と「健康で生きいき、相互に支えあう人のまち」に該当する施策が多くなっています。



(資料：第 13 回市民意識調査)

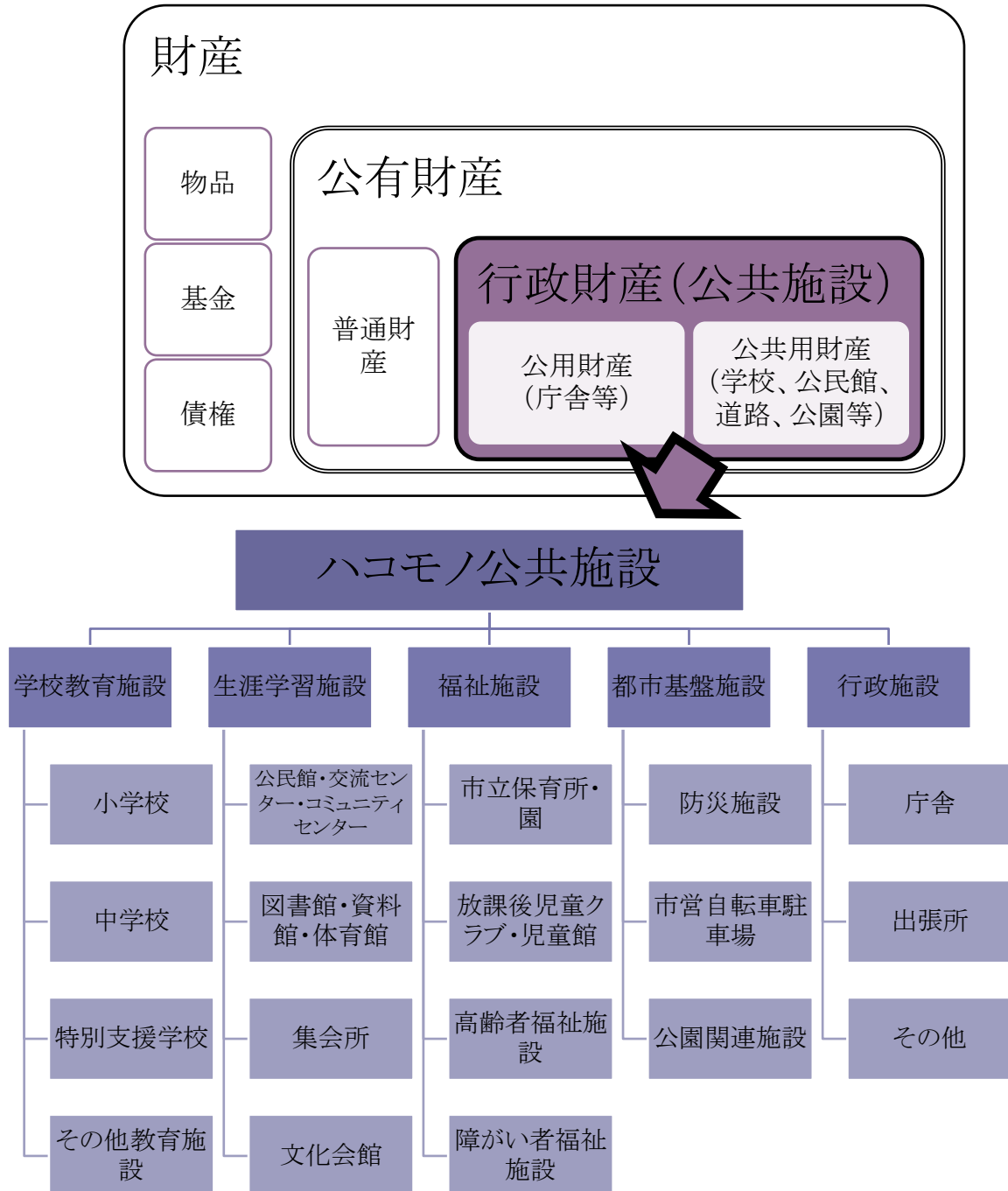
第2章 富士見市の公共施設の概要

第1節 公共施設とは

(1) 本白書で取り扱う公共施設

本市が管理・所有している財産のうち、その効用により市民サービスを提供する建物施設（いわゆる「ハコモノ」）を対象としています。道路や上下水道などのインフラ施設は対象ではありません。

また、ハコモノ施設でも、単独で延べ床面積が 50 m²未満の建物を除いています。



(2) 対象施設一覧 全 127 施設

1	学校教育施設	20 施設
	(1) 小学校	11 施設
	1101 鶴瀬小学校 1102 水谷小学校 1103 南畑小学校 1104 関沢小学校 1105 勝瀬小学校 1106 水谷東小学校 1107 諏訪小学校 1108 みずほ台小学校 1109 針ヶ谷小学校 1110 ふじみ野小学校 1111 つるせ台小学校	
	(2) 中学校	6 施設
	1201 富士見台中学校 1202 本郷中学校 1203 東中学校 1204 西中学校 1205 勝瀬中学校 1206 水谷中学校	
	(3) 特別支援学校	1 施設
	1301 富士見特別支援学校	
	(4) その他教育施設	2 施設
	1401 教育相談室 1402 学校給食センター	
2	生涯学習施設	52 施設
	(1) 公民館・交流センター・コミュニティセンター	11 施設
	2101 鶴瀬公民館 2102 南畑公民館（勤労文化会館） 2103 水谷公民館 2104 水谷東公民館 2105 ふじみ野交流センター 2106 鶴瀬西交流センター 2107 針ヶ谷コミュニティセンター 2108 みずほ台コミュニティセンター 2109 鶴瀬コミュニティセンター 2110 サンライトホール 2111 南畑ふれあいプラザ	
	(2) 図書館・資料館・体育館	10 施設
	2201 中央図書館 2202 図書館鶴瀬西分館 2203 図書館ふじみ野分館 2204 水谷東公民館図書室 2205 水子貝塚資料館（水子貝塚公園） 2206 難波田城資料館（難波田城公園） 2207 文化財整理室 2208 文化財収蔵庫 2209 市民総合体育館 2210 富士見ガーデンビーチ	
	(3) 集会所	30 施設
	2301 丸池集会所 2302 渡戸東集会所 2303 山室集会所 2304 上沢3丁目集会所 2305 水谷東3丁目集会所 2306 水谷東1丁目集会所 2307 渡戸3丁目集会所 2308 針ヶ谷集会所 2309 水谷第8集会所 2310 勝瀬集会所 2311 前谷集会所	

<p>2312 水谷第1集会所 2313 関沢集会所 2314 勝瀬西集会所 2315 鶴馬1丁目集会所 2316 打越集会所 2317 鶴瀬西3丁目東集会所 2318 鶴馬関沢集会所 2319 上沢1丁目集会所 2320 羽沢集会所 2321 水谷第2集会所 2322 諏訪集会所 2323 水谷第3集会所 2324 羽沢2丁目集会所 2325 水谷東2丁目集会所 2326 上沢2丁目集会所 2327 鶴瀬西名シ久保集会所 2328 鶴瀬東2丁目集会所 2329 南畑第2集会所 2330 南畑第3集会所</p>	
(4) 文化会館	1 施設
2401 市民文化会館キラリ☆ふじみ	
3 福祉施設	33 施設
(1) 市立保育所（園）	7 施設
<p>3101 第1保育所 3102 第2保育所 3103 第3保育所 3104 第4保育所 3105 第5保育所 3106 第6保育所 3107 ふじみ野保育園</p>	
(2) 放課後児童クラブ・児童館	18 施設
<p>3201 鶴瀬放課後児童クラブ 3202 水谷放課後児童クラブ 3203 南畑放課後児童クラブ 3204 関沢第1放課後児童クラブ 3205 関沢第2放課後児童クラブ 3206 勝瀬放課後児童クラブ 3207 水谷東放課後児童クラブ 3208 諏訪第1放課後児童クラブ 3209 諏訪第2放課後児童クラブ 3210 みずほ台第1放課後児童クラブ 3211 みずほ台第2放課後児童クラブ 3212 針ヶ谷放課後児童クラブ 3213 ふじみ野第1放課後児童クラブ 3214 ふじみ野第2放課後児童クラブ 3215 ふじみ野第3放課後児童クラブ 3216 つるせ台放課後児童クラブ 3217 関沢児童館 3218 諏訪児童館</p>	
(3) 高齢者福祉	5 施設
<p>3301 老人福祉センター びん沼荘 3302 デイサービスセンター諏訪 3303 デイサービスセンター南畑 3304 高齢者いきいきふれあいセンター 3305 デイサービスセンターみずほ台</p>	
(4) 障がい者福祉	3 施設
<p>3401 市民福祉活動センターぱれっと 3402 みずほ学園 3403 心身障害者地域デイケア施設 ふじの木作業所</p>	

4 都市基盤施設	8 施設
(1) 防災	1 施設
4101 新河岸河川防災ステーション	
(2) 市営自転車駐車場	5 施設
4201 みずほ台駅東口市立自転車駐車場 4202 みずほ台駅西口市立自転車駐車場 4203 鶴瀬駅東口市立自転車駐車場 4204 ふじみ野駅東口市立自転車駐車場 4205 ふじみ野駅西口市立自転車駐車場	
(3) 公園関連 (50 m ² 以上のもの)	2 施設
4301 運動公園管理棟 4302 勝瀬原記念公園トイレ	
5 行政施設	14 施設
(1) 庁舎	6 施設
5101 富士見市役所(本館) 5102 富士見市役所(分館) 5103 富士見市役所(倉庫棟) 5104 健康増進センター 5105 鶴瀬駅東口整備事務所 5106 鶴瀬駅西口整備事務所	
(2) 出張所	6 施設
5201 西出張所 5202 ふじみ野出張所 5203 南畑出張所 5204 みずほ台出張所 5205 水谷出張所 5206 水谷東出張所	
(3) その他	2 施設
5301 シルバー人材センターワークプラザ 5302 道路治水課物置	



(3) 施設配置



市民便利帳からの転載のため、本白書で取り扱わない施設も含まれています。



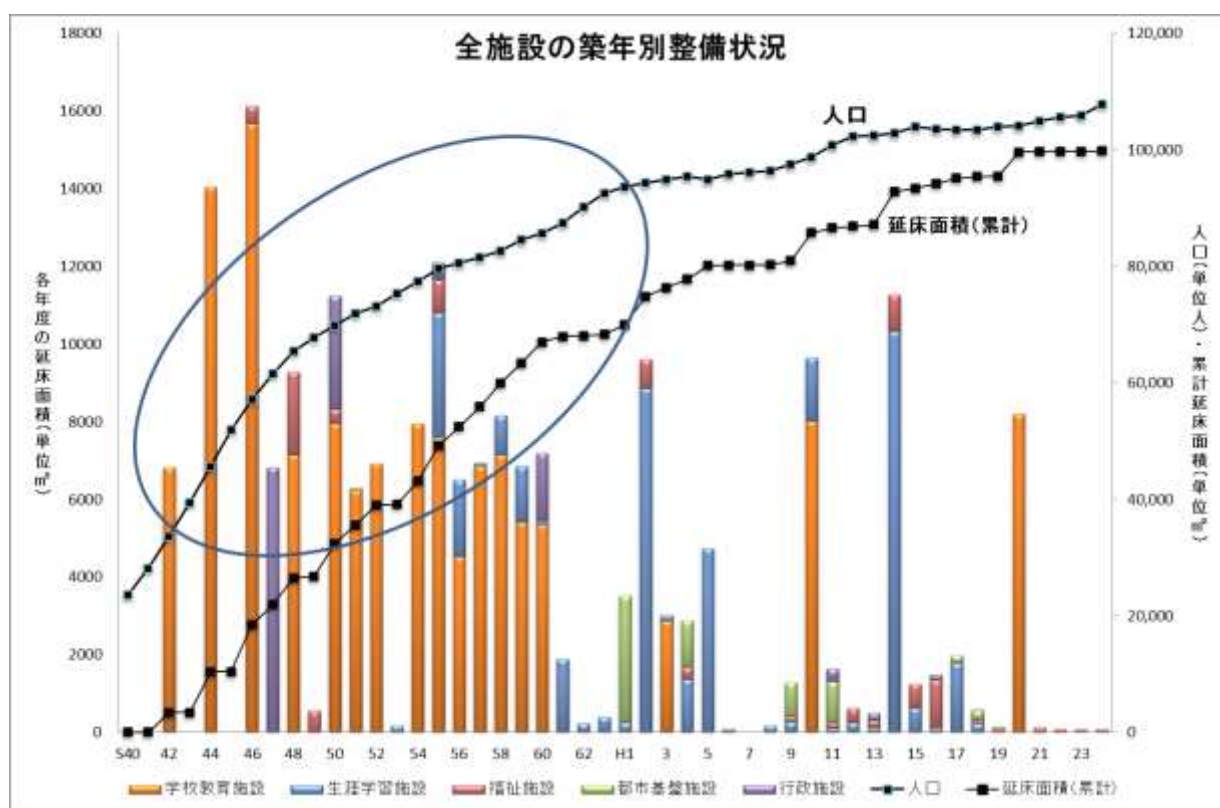
第2節 全施設の築年別整備状況(延べ床面積)

保有する公共施設を用途別にみると、学校施設の保有面積は全体の63%になっており、学校施設の床面積が大きいことがわかります。

グラフの○で示したとおり、昭和40～50年代にかけて人口が急増し、それに伴って公共施設、特に学校の建設が急ピッチで進められました。他の施設についても、同時期に建設が集中しており、50年代までに建築された建物の面積は全体の64%を占めています。

現存の最も古い施設は鶴瀬小学校で、昭和42年2月竣工の築48年であり、古い順に5番目まで学校が占めています。

また、昭和56年以前の旧耐震基準で建築された建物は全体の53%ですが、これらの耐震化工事はほぼ完了しています。



(グラフの見方)

建築された年度ごとに、延床面積をグラフ化しています。例えば、昭和42年度には学校教育施設として鶴瀬小学校、昭和44年度には同じく水谷小学校と関沢小学校、昭和46年度には勝瀬小学校と本郷中学校が建設されたことを表しています。また、平成2年度には市民総合体育館、平成10年度にはふじみ野小学校、平成14年度にはキラリふじみとふじみ野交流センター、平成20年度にはつるせ台小学校が建設されました。

第3節 財務諸表による整備状況分析

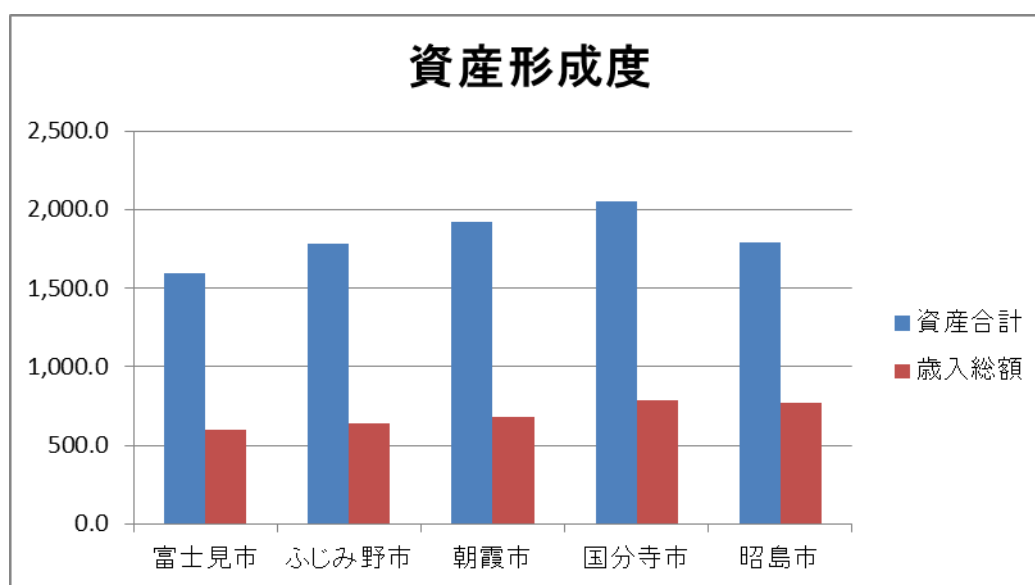
市では、財政運営や財政状況の透明性を高め、市民の理解のもとで健全な財政を維持・向上させるため、財務諸表を作成しています。財務諸表とは、現在の「現金主義・単式簿記」を基本とした公会計制度では把握しづらい資産や負債、行政サービスに要した経費について、総務省が示した方式（総務省改定モデル）を用いて明らかにするものです。（資料：富士見市の財務諸表、各年度）

（１）資産形成度（普通交付税の類似団体比較）

これまでに形成された公共施設などの資産が、市の単年度歳入の何年分に相当しているのかをみることができます。3.0～7.0年分の間が全国平均とされています。

類似団体とは、人口規模や財政力などが類似した地方公共団体のことです。

平成 24 年度		資産合計	歳入総額
富士見市	2.7 年分	1,593.1 億円	599.7 億円
ふじみ野市	2.8 年分	1,783.9 億円	637.0 億円
朝霞市	2.8 年分	1,926.8 億円	682.3 億円
東京都国分寺市	2.6 年分	2,054.7 億円	783.2 億円
東京都昭島市	2.3 年分	1,793.4 億円	767.5 億円



(2) 公共施設整備費の世代間割合（普通交付税の類似団体比較）

公共資産の整備に必要な財源について、将来の世代がどのくらいの額を負担するのか、また現在までの世代がどのくらいの額を負担したのかを示した指標です。

将来の世代が負担する割合は 15～40%、過去及び現在の世代が負担した割合は 50～90% の間が平均とされています。

将来世代が負担する割合

平成 24 年度		地方債残高	公共資産合計
富士見市	25.0%	365.5 億円	1,462.4 億円
ふじみ野市	21.6%	349.6 億円	1,616.7 億円
朝霞市	22.8%	404.7 億円	1,778.6 億円
東京都国分寺市	21.3%	423.7 億円	1,988.3 億円
東京都昭島市	18.8%	310.1 億円	1,652.2 億円

過去および現在の世代が負担する割合

平成 24 年度		純資産合計	公共資産合計
富士見市	78.1%	1,141.8 億円	1,462.4 億円
ふじみ野市	68.8%	1,112.2 億円	1,616.7 億円
朝霞市	80.7%	1,434.5 億円	1,778.6 億円
東京都国分寺市	73.5%	1,461.3 億円	1,988.3 億円
東京都昭島市	83.0%	1,371.3 億円	1,652.2 億円



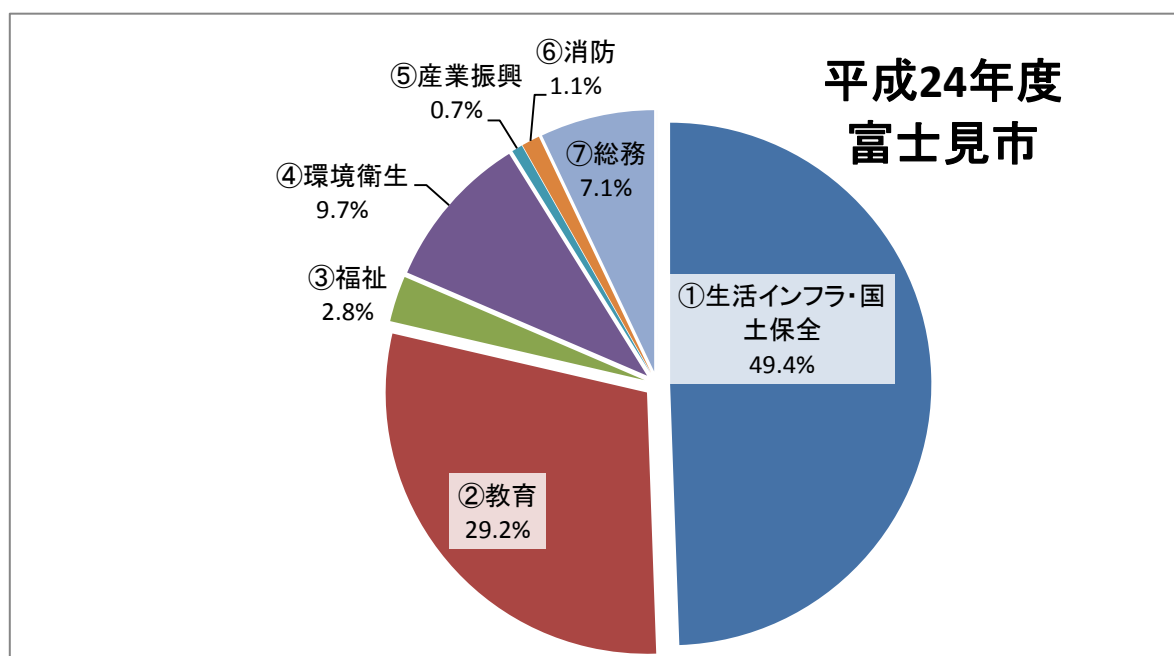
(3) 行政目的別有形固定資産の内訳（富士見市）

行政分野ごとの社会資本形成の比重を把握できます。過年度と比較することにより、行政分野ごとに社会資本がどのように形成されてきたかを把握することができます。

目的別の割合で比較した場合、1番目は①生活インフラ・国土保全に分類される「道路や公園など」の整備、2番目は②教育に分類される「学校や公民館など」の整備、3番目は④環境衛生に分類される「ごみ処理施設や葬斎場施設など」の整備という順になっています。

(単位：千円)

富士見市	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
①生活インフラ・国土保全	68,643,163	68,667,185	69,336,202	69,691,354
②教育	41,737,491	42,164,942	41,965,642	41,648,987
③福祉	4,447,813	4,384,203	4,378,243	4,235,629
④環境衛生	15,096,196	14,869,642	14,809,538	14,301,595
⑤産業振興	1,336,504	1,264,676	1,158,668	1,046,565
⑥消防	1,010,292	1,039,972	1,071,053	1,286,183
⑦総務	11,405,201	11,131,947	10,803,130	10,399,304
⑧収益事業	0	0	0	0
⑨その他	12,858	8,078	8,238	10,298
合計	143,689,518	143,530,645	143,530,714	142,619,915

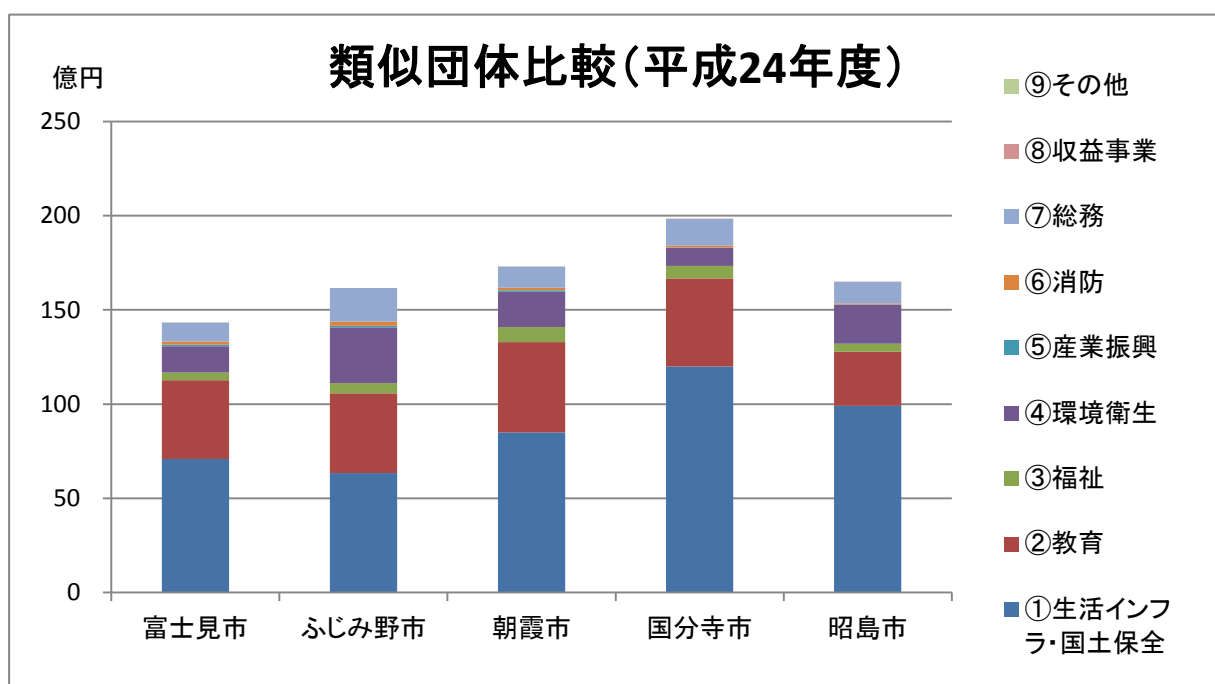


(4) 行政目的別有形固定資産の内訳（普通交付税の類似団体比較）

行政分野ごとの社会資本形成の比重を把握できます。類似団体と比較することにより、資産形成の特徴を把握し、今後の資産整備の方向性を検討するのに役立てることが出来ます。行政分野ごとに社会資本がどのように形成されてきたかを把握することが出来ます。

(単位：千円)

平成24年度	富士見市	ふじみ野市	朝霞市	国分寺市	昭島市
①生活インフラ・国土保全	70,851,346	63,413,017	85,043,879	119,995,092	99,159,246
②教育	41,837,741	42,341,249	47,929,232	46,682,324	28,669,045
③福祉	4,061,996	5,422,228	7,843,085	6,631,439	4,136,048
④環境衛生	13,872,772	29,539,410	18,706,034	9,673,317	20,786,416
⑤産業振興	957,559	830,561	970,009	238,303	120,841
⑥消防	1,614,834	2,236,802	1,217,164	904,116	648,903
⑦総務	10,120,309	17,769,717	11,282,649	14,174,999	11,307,013
⑧収益事業	0	0	0	144,666	211,862
⑨その他	4,587	0	6,325	0	0
合計	143,321,144	161,552,984	172,998,377	198,444,256	165,039,374



第3章 個別施設の状況と課題

長寿命化の取り組み

建物は様々な部材で成り立っているため、水回りや外壁など老朽化の進行が速いものもあれば、柱や基礎など簡単には老朽化しないものがあります。どこか一部が老朽化したからと言って全体を建て替えたりすることは合理的ではありません。

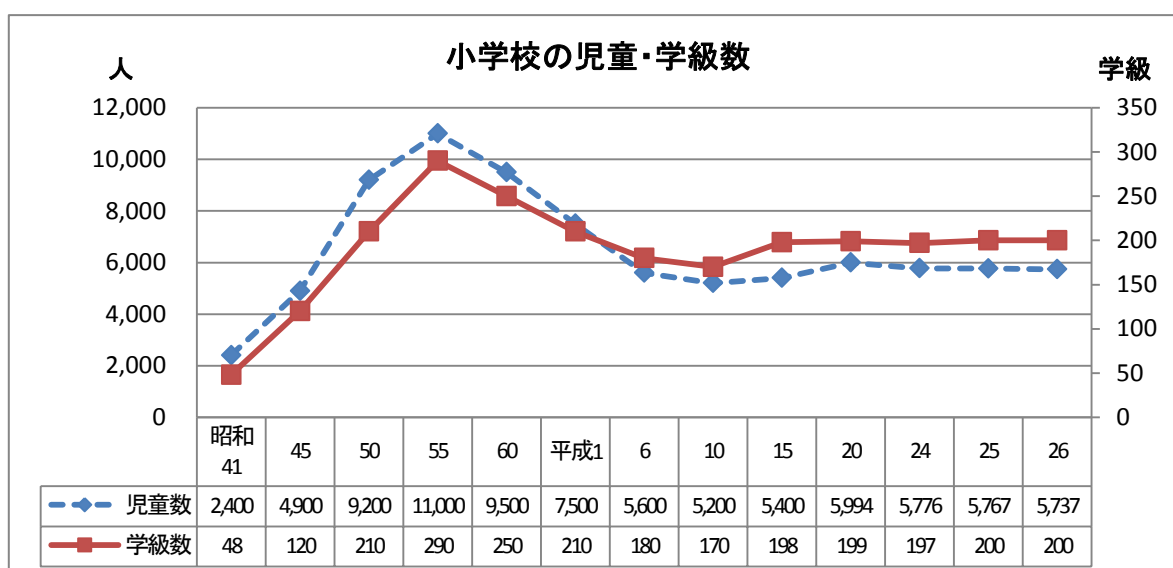
適切なタイミングで必要な工事を実施していけば、建物は長寿命化することができます。たとえば、屋上防水や外壁塗装などは10年周期でメンテナンスすることが望ましいものですが、実施せず放置しておけば、雨が建物内部に染み込み、主要構造部材である柱や基礎に損傷を及ぼしてしまいます。結果として建物全体の老朽化を早めてしまう結果となるのです。本市においても、基本的には建て替えではなく耐震化工事や改修工事により長寿命化を図っています。

第1節 学校教育施設

(1) 小学校

① 児童学級数の推移

昭和 40～50 年代の人口急増期に本市の児童・学級数も急増しましたが、昭和 55 年をピークに減少をはじめ、全国的に少子化となる中、本市においては、平成 6 年ごろからはほぼ横ばいとなっています。



(資料：H26 年度教育要覧)



② 施設の概要

すべての小学校には放課後児童クラブが複合化または併設され、デイサービスセンターも数校に設置されています。なお、複合・併設施設の面積は学校面積から除いてあります。

児童一人あたりの建物面積は延べ床面積を児童数で除したものです。市内でも地域によって児童数の差があり、多いところと少ないところではほぼ2倍の差があります。

(資料：H26 年度教育要覧)

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	児童数 (H26.5.1)	教室数	所管	単独・複合・併設※
1101	鶴瀬小学校	羽沢 2-1-1	531	17	教育政策課	複合：ク
1102	水谷小学校	水谷 1-13-3	489	18	教育政策課	併設：ク
1103	南畑小学校	上南畑 1280	248	11	教育政策課	併設：ク
1104	関沢小学校	関沢 3-24-1	559	19	教育政策課	複合：ク 併設：ク
1105	勝瀬小学校	勝瀬 674	625	22	教育政策課	併設：ク
1106	水谷東小学校	水子 3614	359	14	教育政策課	併設：ク
1107	諏訪小学校	鶴馬 1932-1	662	21	教育政策課	併設：ク 複合：デ
1108	みずほ台小学校	東みずほ台 3-21	572	19	教育政策課	複合：ク 併設：ク 複合：デ
1109	針ヶ谷小学校	針ヶ谷 2-38-1	329	14	教育政策課	併設：ク
1110	ふじみ野小学校	ふじみ野 4-4-1	801	25	教育政策課	複合：ク 併設：ク
1111	つるせ台小学校	鶴瀬西 2-9-1	562	20	教育政策課	複合：ク

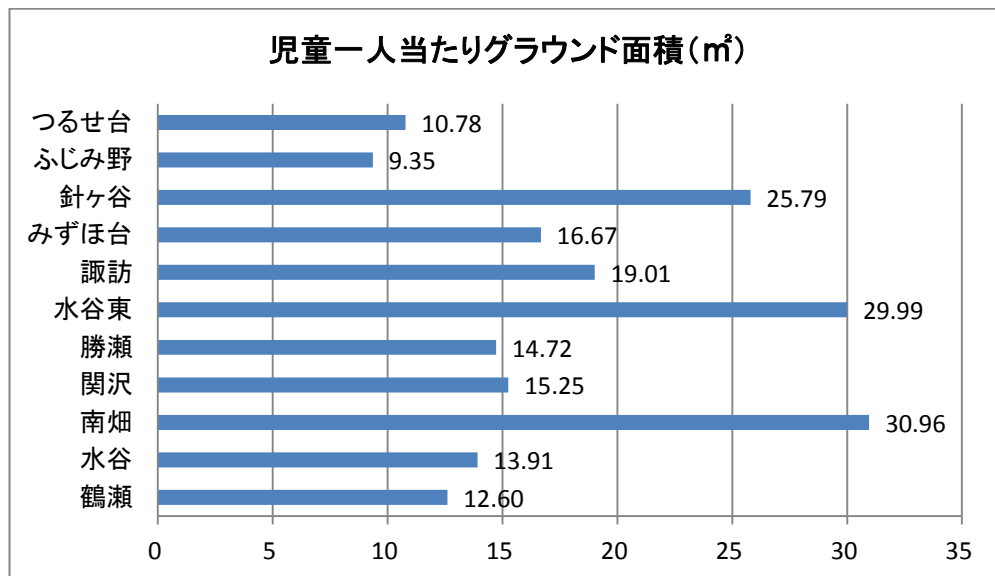
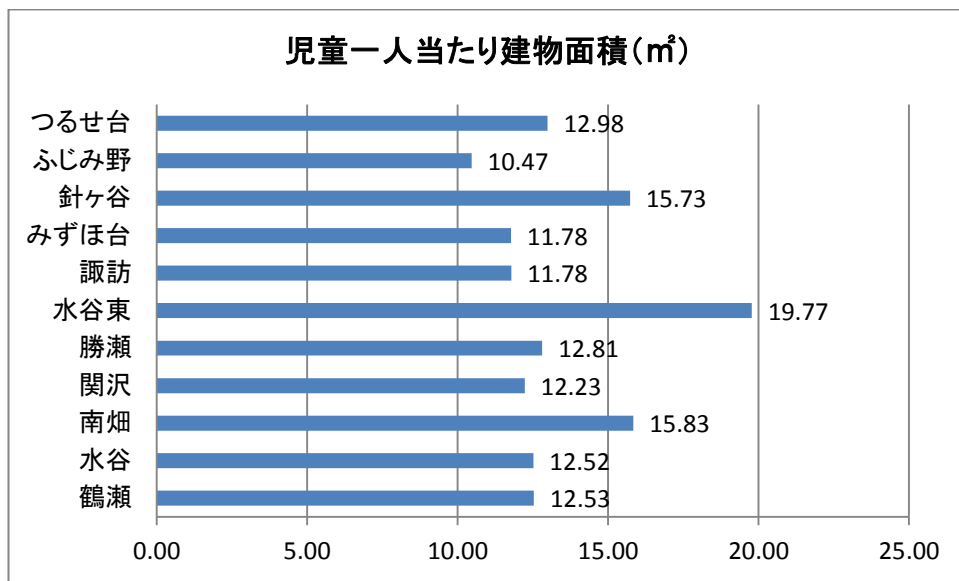
※ク…放課後児童クラブ デ…デイサービス施設

< 建物面積等 >

名称	延床面積 (㎡) ※			土地 (㎡)			児童一人当たり 建物面積 (㎡)
	校舎	体育館	合計	建物敷地	グラウンド	合計	
鶴瀬	5,922	733	6,655	6,067	6,693	12,760	12.53
水谷	5,404	717	6,121	7,027	6,802	13,829	12.52
南畑	3,172	755	3,927	6,381	7,678	14,059	15.83
関沢	6,124	713	6,837	12,672	8,526	21,198	12.23
勝瀬	7,193	812	8,005	11,922	9,200	21,122	12.81

名称	延床面積 (㎡) ※			土地 (㎡)			児童一人当たり 建物面積 (㎡)
	校舎	体育館	合計	建物敷地	グラウンド	合計	
水谷東	6,287	812	7,099	6,772	10,765	17,537	19.77
諏訪	6,993	808	7,801	10,107	12,585	22,692	11.78
みずほ台	5,938	798	6,736	5,295	9,534	14,829	11.78
針ヶ谷	4,331	843	5,174	6,953	8,486	15,439	15.73
ふじみ野	7,330	1,055	8,385	8,962	7,493	16,455	10.47
つるせ台	6,415	882	7,297	9,846	6,056	15,902	12.98

※複合施設の場合は専有面積です。

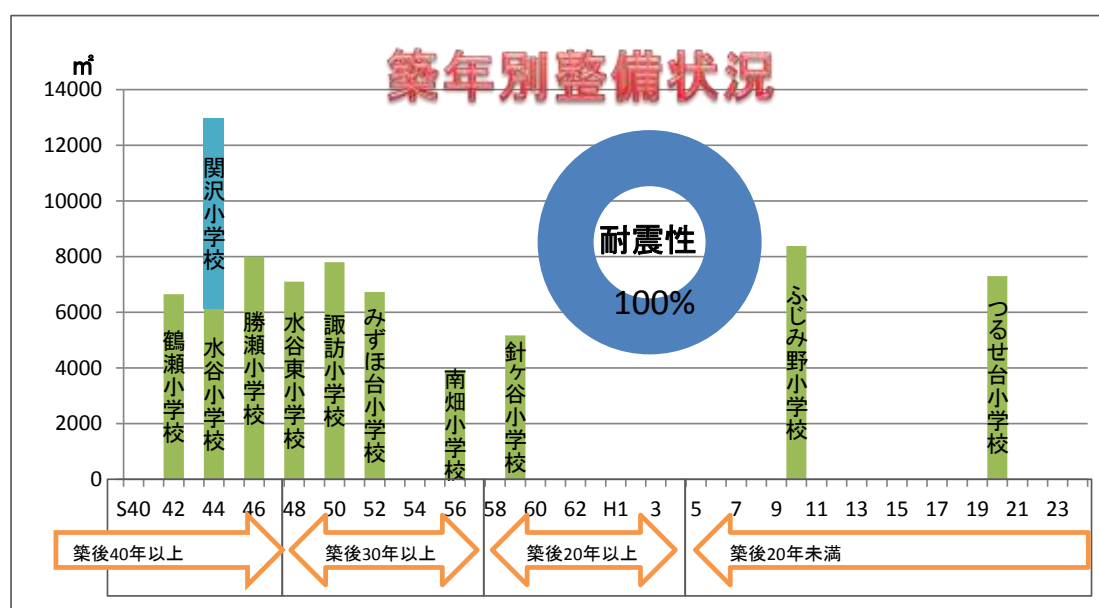


③ 築年別整備状況

市内小学校の中で最も早く開校された小学校は鶴瀬と水谷で、明治6年創立です。長い年月の中で当時の木造校舎は順次鉄筋コンクリート校舎に建て替えられ、さらには急激な人口増加に伴って、新しい学校が新築されていきました。平成26.4.1現在では、鶴瀬の建て替え後の校舎が最も古く築47年で、鶴瀬西と上沢を統廃合して建築したつるせ台が最も新しく、築5年です。

昭和56年以前の旧耐震基準で建築された校舎が8校ありますが、耐震化工事を施した結果、現在はすべての学校において耐震性を備えています。

整理番号	名称	基本情報		耐震性	老朽化		
		主な構造	建築年月		築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
1101	鶴瀬	RC	S42. 2	○	47	H22 体育館耐震	3
1102	水谷	RC	S44. 5	○	44	H25 改造建築	0
1103	南畑	RC	S56. 8	○	32	H18 校舎耐震	7
1104	関沢	RC	S44. 5	○	44	H24 外壁改修	1
1105	勝瀬	RC	S46. 6	○	42	H21 体育館耐震	4
1106	水谷東	RC	S48. 11	○	40	H21 体育館耐震	4
1107	諏訪	RC	S50. 4	○	39	H24 外壁改修	1
1108	みずほ台	RC	S52. 3	○	37	H22 体育館耐震	3
1109	針ヶ谷	RC	S59. 4	○	30	H25 改造建築	0
1110	ふじみ野	RC(一部S)	H11. 3	○	15	H21 教室棟等増築	4
1111	つるせ台	RC	H20. 12	○	5	なし	5



④ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロー プ	自動 ドア	手すり	点字 ブ ロック	自然エネルギー ！・太陽光発 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境対 応設備
1101	鶴瀬	◎	×	△	×	△	×	×	△	△
1102	水谷	◎	◎	△	×	△	×	×	△	△
1103	南畑	×	×	△	×	△	×	×	×	△
1104	関沢	×	◎	×	×	△	×	×	△	△
1105	勝瀬	◎	×	△	×	△	×	×	△	△
1106	水谷東	×	◎	△	×	△	×	×	△	△
1107	諏訪	×	◎	△	×	△	×	×	×	△
1108	みずほ台	◎	◎	△	×	△	×	×	△	△
1109	針ヶ谷	×	◎	△	×	△	×	×	△	△
1110	ふじみ野	◎	◎	◎	×	△	△	×	△	△
1111	つるせ台	◎	◎	◎	×	△	△	△	◎	◎

名称	防災対応													
	部 災害 対策本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水所	電話 等	災害 時優先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設
鶴瀬	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	A
水谷	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	A
南畑	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	×	E
関沢	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	A
勝瀬	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	C
水谷東	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	E
諏訪	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	E
みずほ台	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	A
針ヶ谷	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	A
ふじみ野	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	△	△	△	A
つるせ台	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	A

⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（全小学校）

施設の維持管理だけにかかるコストとして、児童一人当たり年間約 26 万円のコストがかかっています。教員は県職員であることから、本コスト表にはその人件費を含んでいません。人件費には施設保全に関連している複数課の職員を計上しています。

また、収入には施設そのものが持つ収益力に起因するもののみを計上し、国・県支出金は含んでいません。

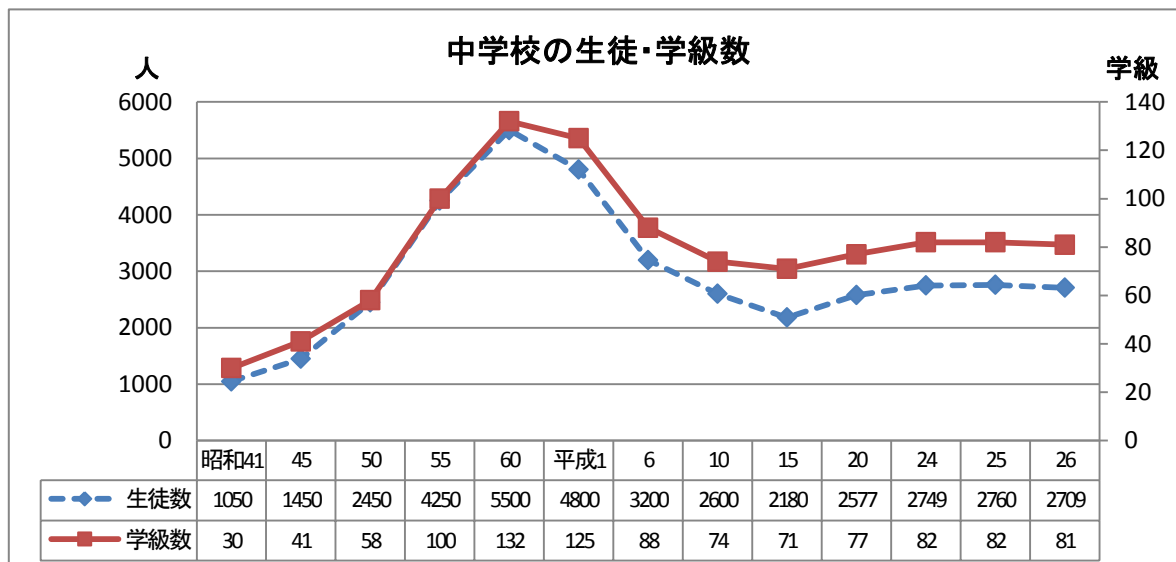
平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	56,463,965円	教育政策課（学校管理運営事業）
修繕費	22,282,418円	教育政策課（学校管理運営事業）
委託料	102,739,948円	教育政策課（学校管理運営事業、校用備品整備事業、学校施設整備事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
使用料・賃借料	35,072,530円	教育政策課（学校管理運営事業、校用備品整備事業、情報教育推進事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
備品代	30,297,157円	教育政策課（校用備品整備事業、情報教育推進事業） 学校教育課（教材備品整備事業）
建設工事費	759,455,168円	教育政策課（学校管理運営事業、学校施設整備事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
人件費	53,018,773円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 教育政策課(管理2.16+備品0.71+整備3.36+情報0.76*11/18) 学校教育課(管理0.45+備品0.82)*11/18 管財課(保全6.75)*5/24
合計	1,059,329,959円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	41,336,097円	教育政策課（学校管理運営事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
通信運搬費	4,135,172円	教育政策課（学校管理運営事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
補助金等	57,868,570円	学校教育課（教育事務委託事業、教育扶助事業）
人件費	11,716,048円	学校教育課（学校管理運営事業） 職員人件費はAに一括計上
合計	115,055,887円	
減価償却費 C		
合計	320,263,788円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	46,377円	教育政策課（行政財産使用料 案分11/18）
その他収入	1,137,089円	教育政策課（雑入 デイ電気料 案分2/3 その他 案分11/18） 生涯学習課（雑入 水東小陶芸窯電気料）
合計	1,183,467円	
利用者等 E		
合計	5737	H26.5.1現在児童数 資料：教育要覧

収支 F	1,493,466,168円	A+B+C-D
純コスト	260,528円	(A+B+C)/E
収支コスト	260,322円	F/E
収支比率	0.08%	D/(A+B+C)

(2) 中学校

① 生徒学級数の推移

小学校児童数と同じく、昭和 40～50 年代の人口急増期に本市の生徒・学級数も急増しましたが、昭和 60 年ごろをピークに減少をはじめ、全国的に少子化となる中、本市においては、平成 10 年ごろからはほぼ横ばいとなっています。



(資料：平成 26 年度教育要覧)

② 施設の概要

中学校においては、唯一東中学校だけにデイサービスセンターが複合化されています。なお、複合施設の面積は学校面積から除いてあります。

<基本情報>

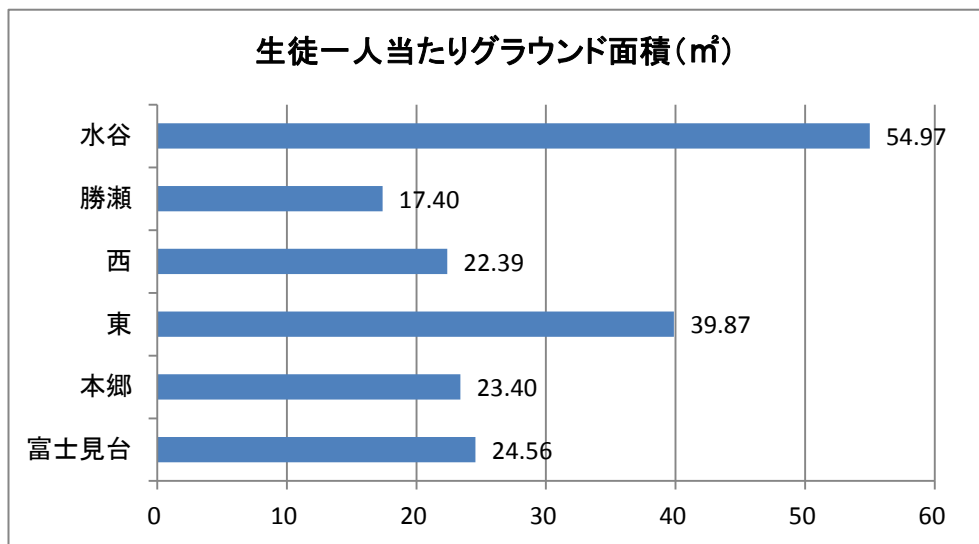
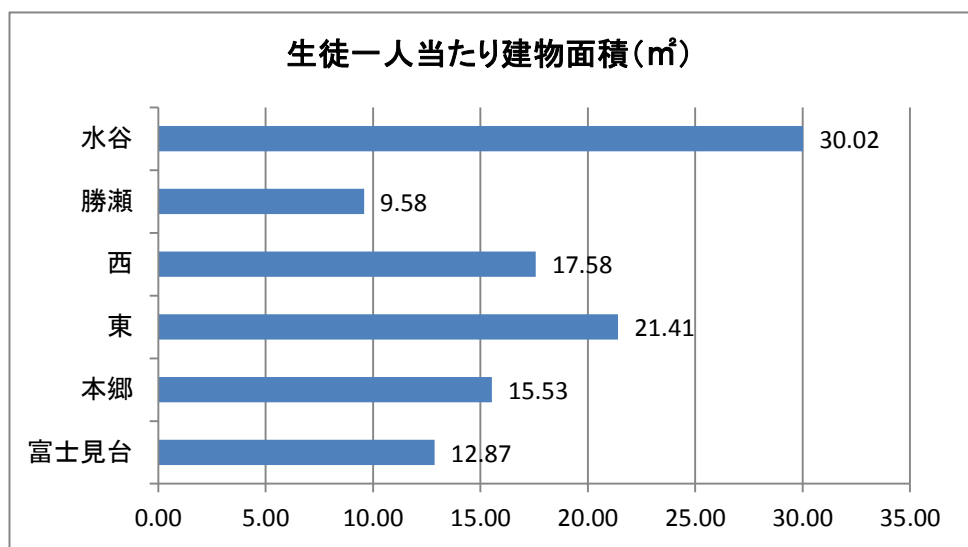
整理番号	名称	所在地	生徒数 (H26. 5. 1)	教室数	所管	単独・複合・併設※
1201	富士見台中学校	諏訪 2-8-1	553	17	教育政策課	単独
1202	本郷中学校	水子 539	413	13	教育政策課	単独
1203	東中学校	上南畑 980	287	9	教育政策課	複合：デ
1204	西中学校	西みずほ台 3-14-6	457	13	教育政策課	単独
1205	勝瀬中学校	勝瀬 400-1	775	22	教育政策課	単独
1206	水谷中学校	水子 3117	224	7	教育政策課	単独

※デ…デイサービス施設 (所管：高齢者福祉課)

<建物面積等>

名称	延床面積 (㎡) ※			土地 (㎡)			生徒一人当たり 建物面積 (㎡)
	校舎	体育館	合計	建物敷地	グラウンド	合計	
富士見台	6,112	1,006	7,118	8,379	13,583	21,962	12.87
本郷	5,326	1,088	6,414	11,541	9,665	21,206	15.53
東	5,117	1,028	6,145	12,825	11,444	24,269	21.41
西	6,973	1,060	8,033	7,911	10,230	18,141	17.58
勝瀬	6,318	1,110	7,428	6,306	13,484	19,790	9.58
水谷	5,623	1,102	6,725	6,097	12,314	18,411	30.02

※複合施設の場合は専有面積です。



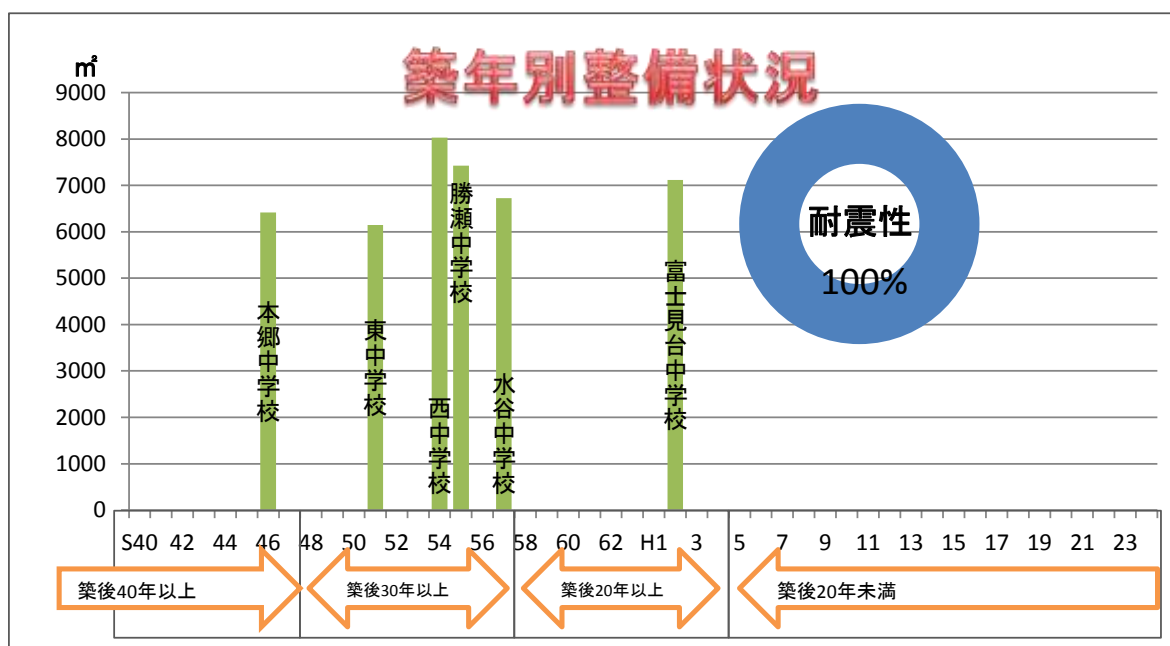
③ 築年別整備状況

市内中学校の中で最も早く開校された学校は富士見台で、昭和35年創立です。富士見台はその後平成2年に現在の校舎に建て替えられました。なお、中学校の中で創立当時の校舎が建て替えられたのは、富士見台だけです。

また、小学校と同じく、急激な人口増加に伴って新しい学校が新築されていき、平成26.4.1現在では、本郷の校舎が最も古く築42年で、最も新しい富士見台でも築23年です。

昭和56年以前の旧耐震基準で建築された校舎が4校ありますが、すべて耐震化工事を完了しています。なお、小学校と同じく、天井や壁、窓などの部分（非構造部材といいます）についても耐震化を進めています。

整理番号	名称	基本情報		耐震性	老朽化		
		主な構造	建築年月		築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
1201	富士見台	RC	H2.3	○	23	H25 体育館改修	0
1202	本郷	RC	S46.6	○	42	H21 校舎屋上防水	4
1203	東	RC	S51.3	○	38	H21 体育館耐震	4
1204	西	RC	S54.4	○	35	H22 体育館耐震	3
1205	勝瀬	RC	S55.4	○	34	H22 体育館耐震	3
1206	水谷	RC	S58.7	○	30	なし	30



④ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		車いす用 エレベーター	身障者 トイレ	車いす用 スロープ	自動 ドア	手すり	点字ブ ロック	自然エネルギー ！・太陽光発 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境対 応設備
1201	富士見台	×	◎	△	×	△	×	×	△	△
1202	本郷	◎	◎	△	×	△	×	×	△	△
1203	東	×	◎	△	×	△	×	×	×	△
1204	西	×	◎	△	×	△	×	×	×	△
1205	勝瀬	×	◎	△	×	△	×	×	×	△
1206	水谷	◎	×	△	×	△	×	×	×	△

名称	防災対応													
	部 災害対策本	避難所	救護所	備蓄倉庫	応急給水所	電話等 災害時優先	洋式トイレ	簡易トイレ	マンホール トイレ	調理場	代替電源	冷暖房	入浴施設	外 浸水地域内
富士見台	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	◎	△	△	A
本郷	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	◎	△	△	C
東	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	◎	△	△	E
西	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	◎	△	△	A
勝瀬	×	○	☆	×	☆	◎	◎	×	×	◎	×	△	△	E
水谷	×	○	☆	◎	☆	◎	◎	◎	×	◎	◎	△	△	E



⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（全中学校）

施設の維持管理だけにかかるコストとして、生徒一人当たり年間約 32 万円のコストがかかっています。教員は県職員であることから、本コスト表にはその人件費を含んでいません。人件費には施設保全に関連している複数課の職員を計上しています。

また、収入には施設そのものが持つ収益力に起因するもののみを計上し、国・県支出金は含んでいません。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	33,166,693円	教育政策課（学校管理運営事業）
修繕費	17,129,284円	教育政策課（学校管理運営事業）
委託料	29,987,792円	教育政策課（学校管理運営事業、校用備品整備事業、学校施設整備事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
使用料・賃借料	24,749,747円	教育政策課（校用備品整備事業、情報教育推進事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
備品代	25,293,729円	教育政策課（校用備品整備事業） 学校教育課（教材備品整備事業）
建設工事費	439,693,046円	教育政策課（学校管理運営事業、学校施設整備事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
人件費	27,108,729円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 教育政策課(管理2.16+備品0.71+整備3.36+情報0.76)*6/18 学校教育課(管理0.45+備品0.82)*6/18 管財課(保全6.75)*2/24
合計	597,129,020円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	25,097,738円	教育政策課（学校管理運営事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
通信運搬費	3,460,120円	教育政策課（学校管理運営事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
補助金等	49,957,933円	学校教育課（教育事務委託事業、教育扶助事業）
人件費	6,117,243円	学校教育課（学校管理運営事業） 職員人件費はAに一括計上
合計	84,633,034円	
減価償却費 C		
合計	186,006,102円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	552,097円	教育政策課（行政財産使用料 案分6/18） 生涯学習課（行政財産使用料 西中照明料）
その他収入	580,117円	教育政策課（雑入 デイ電気料 案分1/3 その他 案分6/18）
合計	1,132,214円	
利用者等 E		
合計	2709	H26. 5. 1現在生徒数 資料：教育要覧

収支 F	866,635,943円	A+B+C-D
純コスト	320,328円	(A+B+C)/E
収支コスト	319,910円	F/E
収支比率	0.13%	D/(A+B+C)

(3) 特別支援学校、その他教育施設

① 施設の概要

富士見特別支援学校は県内で唯一の市立特別支援学校です。小学部・中学部・高等部が設置され、富士見市及びふじみ野市の児童生徒が在籍しています。

本市の教育理念「人間尊重教育」を基本とし、「児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の困難を改善・克服するために、個別の教育支援計画を活用し、適切な教育的支援を行う特別支援教育」の集約的存在として、その重責を担っています。

教育相談室は、昭和 61 年に富士見特別支援学校 3 階に設置され、富士見市在住の幼児、児童生徒、保護者及び教員を対象に、教育上の諸問題に係る相談にあたっています。

学校給食センターは、県内でも数少ない炊飯施設を完備しており、炊きたての温かいご飯を市内小中学校の児童生徒に提供しています。

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	生徒数 (H26.5.1)	教室数	所管	単独・複合・併設
1301	富士見特別支援学校	上南畑 1317	小 14 中 22 高 17	12	教育政策課	複合：教育相談室
1401	教育相談室	上南畑 1317	—	—	教育相談室	複合：富士見特別支援学校
1402	学校給食センター	勝瀬 506-1	—	—	学校給食センター	単独

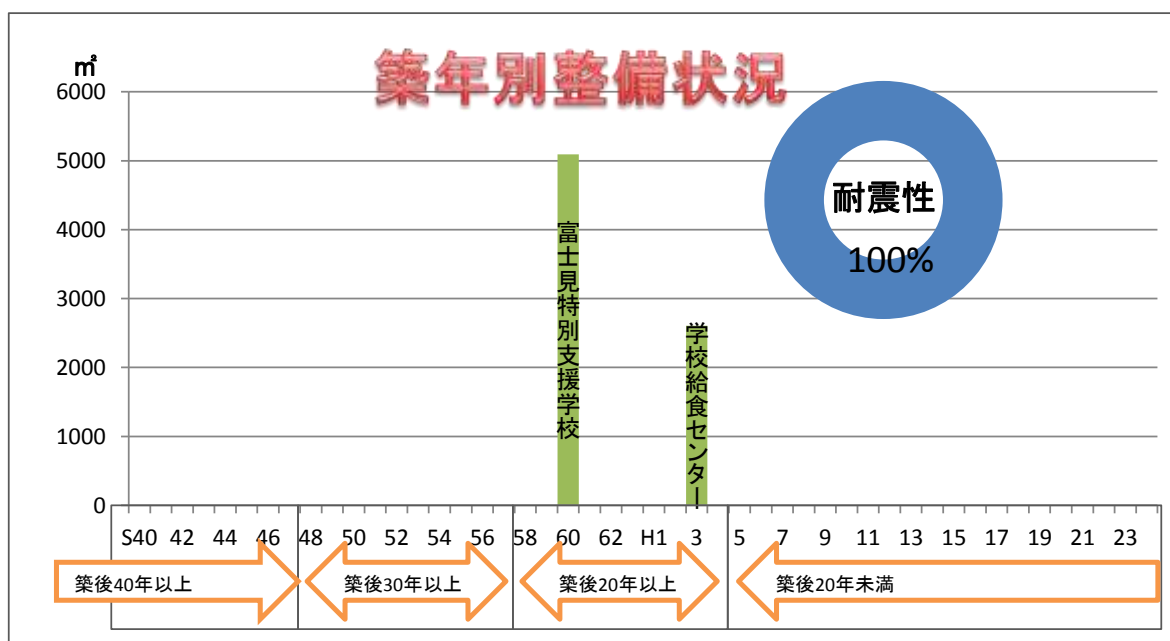
< 建物面積等 >

整理番号	名称	延床面積 (㎡)			土地 (㎡)			一人当たり建物面積 (㎡)
		校舎	体育館	合計	建物敷地	グラウンド	合計	
1301	富士見特別支援	4,086	1,005	5,091	8,568	2,146	10,714	96.06
1401	教育相談室	富士見特別支援学校内						
1402	学校給食センター	2,899	—	2,899	4,944	—	4,944	—

② 築年別整備状況

富士見特別支援学校、学校給食センターともに新耐震基準で作られており、耐震性に問題はありません。

整理番号	名称	基本情報		耐震性	老朽化		
		主な構造	建築年月		築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
1301	富士見特別支援	R C	S60.5	○	28	H25 大規模改修	0
1401	教育相談室	富士見特別支援学校内					
1402	学校給食センター	S (重量)	H3.8	○	22	H24 屋上防水	1



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロー プ	自動 ドア	手すり	点字 ブ ロック	自然エネルギー ！太陽光 発電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
1301	特別支援	◎	◎	△	×	◎	×	×	×	△
1402	給食セ	×	×	×	◎	×	×	×	×	×

名称	防災対応														
	部 災害対策本	避難所	救護所	備蓄倉庫	応急給水所	電話等	災害時優先	洋式トイレ	簡易トイレ	マンホール トイレ	調理場	代替電源	冷暖房	入浴施設	外 浸水地域内
特別支援	×	○	☆	◎	×	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	E
給食セ	×	×	×	×	×	×	△	×	×	◎	×	◎	△	E	



④ 施設の管理運営にかかるコスト（富士見特別支援学校）

児童生徒一人当たり年間約 552.6 万円の施設の維持管理コストがかかっています。教員は県職員であることから、本コスト表にはその人件費を含んでいません。収入には施設そのものが持つ収益力に起因するもののみを計上し、国・県支出金は含んでいません。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	7,720,894円	教育政策課（学校管理運営事業）
修繕費	1,385,556円	教育政策課（学校管理運営事業、情報教育推進事業） 学校給食センター（特別支援学校給食事業）
委託料	17,456,746円	教育政策課（学校管理運営事業、校用備品整備事業、学校施設整備事業） 学校教育課（学校管理運営事業） 学校給食センター（特別支援学校給食事業）
使用料・賃借料	965,705円	教育政策課（校用備品整備事業、情報教育推進事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
備品代	3,634,724円	教育政策課（校用備品整備事業） 学校教育課（教材備品整備事業） 学校給食センター（特別支援学校給食事業）
建設工事費	207,431,236円	教育政策課（学校施設整備事業） 学校教育課（学校管理運営事業）
人件費	6,177,840円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 教育政策課(管理2.16+備品0.71+整備3.36+情報0.76)*1/18 学校教育課(管理0.45+備品0.82)*1/18 管財課(保全6.75)*1/24
合計	244,772,701円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	1,120,500円	学校教育課（学校管理運営事業）
消耗品費	3,507,992円	教育政策課（学校管理運営事業、情報教育推進事業） 学校教育課（学校管理運営事業） 学校給食センター（特別支援学校給食事業）
通信運搬費	631,854円	教育政策課（学校管理運営事業） 学校教育課（学校管理運営事業） 学校給食センター（特別支援学校給食事業）
補助金等	8,000円	学校給食センター（特別支援学校給食事業）
人件費	7,910,505円	学校教育課（学校管理運営事業） 学校給食センター（特別支援学校給食事業） 職員人件費はAに一括計上
合計	13,178,851円	
減価償却費 C		
合計	34,919,571円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	4,216円	教育政策課（行政財産使用料 案分1/18）
その他収入	56,284円	教育政策課（雑入 案分1/18）
合計	60,500円	
利用者等 E		
合計	53	H26.5.1現在生徒数 資料：教育要覧

収支 F	292,810,623円	A+B+C-D
純コスト	5,525,870円	(A+B+C)/E
収支コスト	5,524,729円	F/E
収支比率	0.02%	D/(A+B+C)

⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（学校給食センター）

給食提供一人当たり年間約 2.9 万円です。このコストには、支出としての給食の食材費、及び収入としての給食費は、別会計のため含んでいません。

参考までに、給食費として一人年間あたり、小学生で 44,000 円、中学生で 51,700 円を
 集金しています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	27,266,033円	学校給食事業
修繕費	4,293,765円	学校給食事業
委託料	49,884,180円	学校給食事業
使用料・賃借料	20,739,639円	学校給食事業
備品代	11,608,035円	学校給食事業
建設工事費	735,000円	学校給食事業
人件費	0円	事業運営費に合算
合計	114,526,652円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	30,889,572円	学校給食事業
通信運搬費	2,025,827円	学校給食事業、放射線対策事業
補助金等	55,100円	学校給食事業
人件費	62,722,690円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員 学校給食センター13.6 臨時職員 学校給食事業（報酬、賃金、共済費）
合計	95,693,189円	
減価償却費 C		
合計	51,518,603円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	0円	食材費は別会計
その他収入	762,300円	雑入 東京電力賠償金
合計	762,300円	
利用者等 E		
合計	9088	H24 提供人数（児童生徒・教員等） 資料：事務事業評価
収支 F	260,976,144円	A+B+C-D
純コスト	28,800円	(A+B+C)/E
収支コスト	28,717円	F/E
収支比率	0.29%	D/(A+B+C)

第2節 生涯学習施設

(1) 公民館・交流センター・コミュニティセンター

① 各施設の特徴

	公民館	交流センター	コミュニティセンター	サンライトホール	ふれあいプラザ
設置根拠	市立地域公民館条例 ※	市立市民交流センター条例	市立コミュニティセンター条例	市立サンライトホール条例	市立南畑ふれあいプラザ条例
設置目的	社会教育を振興し、住民の福祉を図る	市民相互の交流と生涯学習の推進を図る	コミュニティ及びボランティア活動の用に供する	市民の文化的向上と福祉の増進	農業の振興及びその近代化並びに市民相互の交流を図る
一般事務職員の配置	○	○	△（出張所兼務、一部指定管理者）	△（出張所兼務）	×
専門的教育職員の配置	○	×	×	×	×
運営審議会	○	×	×	×	×
営利活動	×	×	×	×	×
使用料	原則有料	原則有料	原則有料	原則有料	原則有料
所管	教育委員会	市長部局	市長部局	市長部局	市長部局

※南畑公民館は公民館条例のほか、市立勤労文化会館条例が設置根拠となっています。



② 施設の概要

本市には4公民館と生涯学習施設としての交流センター、コミュニティセンター等があります。公民館は教育委員会、それ以外は市長部局の所管となっています。

各公民館には専任館長を含む2～6人の職員が配置され、並列館運営体制をとりながらも、富士見市公民館としての統一した事業目標のもとに、それぞれの地域特性を活かした事業計画をたて、市民の方々とともに事業を展開しています。

施設の建設には国・県等の補助金の活用が不可欠ですが、近年は公民館への補助金がなくなり、建て替えるような場合には地域センターを建設するようになっています。例えば鶴瀬西公民館は建替えにより鶴瀬西交流センターとなり、ふじみ野交流センターはふじみ野地域の地域拠点施設として複合化して新設されました。

今後は、公民館・交流センター・コミュニティセンター等が連携して地域活動を発展させていくなどの取り組みが課題となっています。

<基本情報>

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
2101	鶴瀬公民館	羽沢 3-23-10	鶴瀬公民館	併設：鶴瀬コミセン
2102	南畑公民館 (勤労文化会館)	上南畑 306-1	南畑公民館	複合：南畑出張所
2103	水谷公民館	水谷 1-13-6	水谷公民館	複合：水谷出張所
2104	水谷東公民館	水谷東 2-12-10	水谷東公民館	複合：水谷東出張所・ 水谷東公民館図書室
2105	ふじみ野 交流センター	ふじみ野東 3-7-1	ふじみ野交流 センター	複合：図書館ふじみ野 分館・ふじみ野保育園
2106	鶴瀬西 交流センター	鶴馬 3575-1	鶴瀬西 交流センター	単独
2107	針ヶ谷 コミュニティセンター	針ヶ谷 1-38	鶴瀬西 交流センター	複合：針ヶ谷集会所
2108	みずほ台 コミュニティセンター	西みずほ台 1-19-2	みずほ台 コミュニティセンター	複合：みずほ台出張所
2109	鶴瀬 コミュニティセンター	羽沢 3-23-10	鶴瀬公民館	併設：鶴瀬公民館
2110	サンライトホール	鶴馬 2602-3	市民課	複合：西出張所・(ふる さとハローワーク※)
2111	南畑ふれあいプラザ	東大久保 84-13	産業振興課	単独

※ふるさとハローワークは国と市の共同運営施設。

< 建物面積等 >

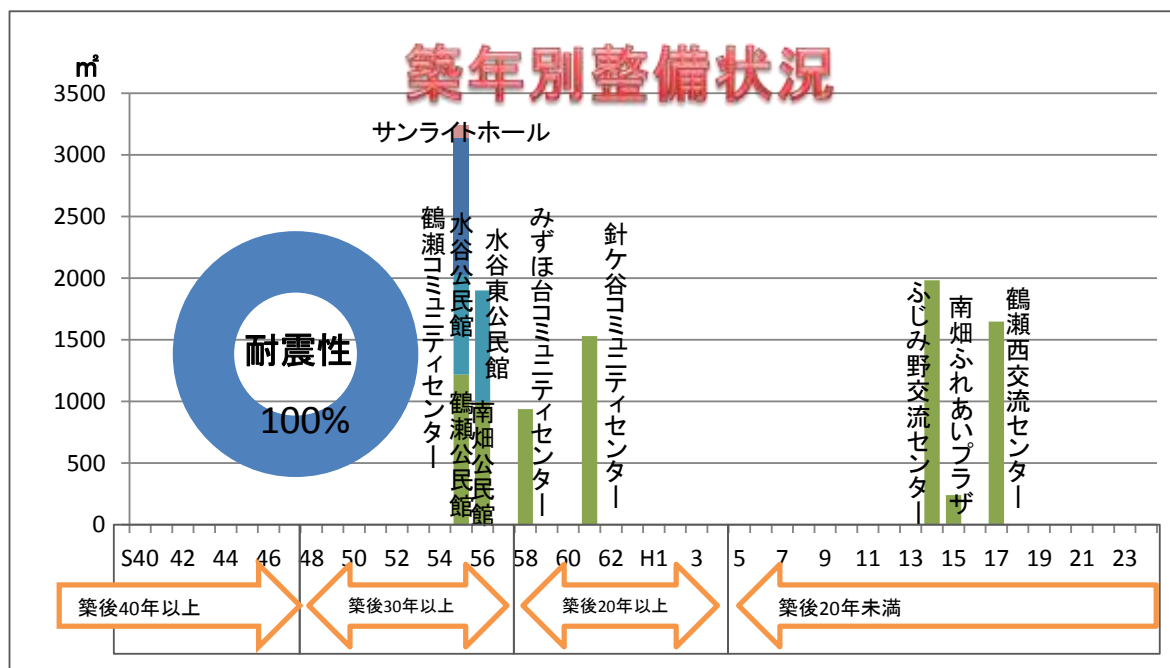
整理 番号	名称	主な構造	建築 年月	延床面積 (㎡) ※	土地 (㎡)
2101	鶴瀬公民館	R C	S55. 11	1, 219	2, 108
2102	南畑公民館 (勤労文化会館)	R C (一部 S)	S56. 3	1, 016 (建物面積 1, 040)	2, 422
2103	水谷公民館	R C (一部 S)	S55. 3	1, 133 (建物面積 1, 175)	1, 331
2104	水谷東公民館	R C (一部 S)	S56. 3	828 (建物面積 887)	1, 590
2105	ふじみ野 交流センター	R C (一部 S)	H14. 3	1, 985 (建物面積 2, 984)	1, 750
2106	鶴瀬西 交流センター	R C	H17. 9	1, 649	1, 299
2107	針ヶ谷 コミュニティセンター	S R C	S61. 3	1, 530 (建物面積 1, 572)	2, 025
2108	みずほ台 コミュニティセンター	R C (一部 S)	S58. 2	961 (建物面積 1, 009)	974
2109	鶴瀬 コミュニティセンター	R C	S55. 11	807	—
2110	サンライトホール	S R C (一部 R C)	S55. 3	99 (専有面積 446)	区分所有
2111	南畑 ふれあいプラザ	W	H15. 6	241	1, 182

※複合施設の場合は専有面積です。



③ 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26.4.1現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
2101	鶴瀬公民館	○	34	H24 耐震	1
2102	南畑公民館 (勤労文化会館)	○	33	H25 耐震・EL 設置	0
2103	水谷公民館	○	34	H23 屋上防水・外壁	2
2104	水谷東公民館	○	33	H25 耐震・EL 設置	0
2105	ふじみ野交流センター	○	12	なし	12
2106	鶴瀬西交流センター	○	9	なし	9
2107	針ヶ谷 コミュニティセンター	○	28	H16 大規模修繕	9
2108	みずほ台 コミュニティセンター	○	31	H13 大規模修繕	12
2109	鶴瀬 コミュニティセンター	○	34	H24 耐震	1
2110	サンライトホール	○	34	H6 改修	19
2111	南畑ふれあいプラザ	○	11	H24 内外修繕	1



④ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ップ	自動 ドア	手すり	点字 ブ ロック	自然エネルギー ！太陽光 発電の 導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対 応 設 備
2101	鶴瀬公	◎	◎	×	◎	△	◎	×	△	×
2102	南畑公	◎	◎	△	◎	△	◎	×	△	△
2103	水谷公	◎	◎	—	◎	△	◎	×	△	△
2104	水谷東公	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	△	△
2105	ふ野交セ	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	×	△
2106	鶴西交セ	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	△
2107	針コミ	◎	◎	△	◎	△	◎	×	×	×
2108	み台コミ	◎	◎	△	◎	△	◎	×	△	×
2109	鶴コミ	—	◎	×	◎	×	△	×	×	×
2110	サンライト	—	◎	—	◎	×	×	×	×	×
2111	南ふブ	—	◎	△	×	△	×	×	×	×

名称	防災対応													
	部 災害 対策 本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等	災害 時優 先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設
鶴瀬公	×	○	☆	×	×	◎	◎	×	×	◎	×	◎	×	A
南畑公	×	○	☆	×	×	◎	◎	×	×	◎	×	◎	△	E
水谷公	×	○	☆	×	×	◎	△	×	×	◎	×	◎	×	A
水谷東公	×	○	☆	×	×	◎	△	×	×	◎	×	◎	×	E
ふ野交セ	×	○	☆	×	×	◎	◎	×	×	◎	×	◎	×	A
鶴西交セ	×	○	☆	×	×	◎	◎	×	×	◎	×	◎	×	A
針コミ	×	○	☆	×	×	◎	△	×	×	◎	×	◎	×	A
み台コミ	×	○	☆	×	×	◎	△	×	×	×	×	◎	×	A
鶴コミ	×	○	☆	×	×	◎	◎	×	×	×	×	◎	×	A
サンラ	×	×	☆	×	×	×	△	×	×	×	×	◎	×	A
南ふブ	×	×	☆	×	×	×	△	×	×	◎	×	◎	×	E

⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（鶴瀬公民館・鶴瀬コミュニティセンター）

予算・決算上の経費が公民館とコミュニティセンターで一括計上されているため、ここでも一括でコスト分析しています。光熱水費、委託料は公民館4館で一括発注しているため、面積案分して各公民館のコストに計上しています。

公民館・コミュニティセンターの総利用者一人一回当たり約970円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	7,650,758円	公民館施設維持管理事業（電気・上下水料11987185円は4館で面積案分2026/5071）
修繕費	4,916,980円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
委託料	20,242,343円	公民館施設維持管理事業（施設管理業務委託17565611円は4館で面積案分2026/5071）、市民大学開設事業、子どもフェスティバル開催事業
使用料・賃借料	3,043,530円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
備品代	372,546円	公民館施設維持管理事業
建設工事費	2,900円	公民館施設維持管理事業
人件費	4,425,915円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員（公民館維持管理事業0.5）
合計	40,654,972円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	815,163円	公民館学級講座等開催事業、公民館だより発行事業、平和・憲法啓発事業、障がい者の学習機会充実事業
消耗品費	3,134,246円	一般事務費、公民館施設維持管理事業、公民館学級講座等開催事業、公民館だより発行事業、平和・憲法啓発事業
通信運搬費	1,258,531円	一般事務費、公民館施設維持管理事業、平和・憲法啓発事業
補助金等	64,100円	一般事務費
人件費	28,597,586円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員（一般1.5+講座1.15+たより0.35） 臨時職員 一般事務費
合計	33,869,626円	
減価償却費 C		
合計	14,277,221円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	1,761,415円	自動販売機、施設使用料（鶴コミ、鶴公）
その他収入	289,170円	その他雑入
合計	2,050,585円	
利用者等 E		
合計	92008	H25 利用者数 資料：教育要覧

収支 F	86,751,234円	A+B+C-D
純コスト	965円	(A+B+C)/E
収支コスト	943円	F/E
収支比率	2.31%	D/(A+B+C)

⑥ 施設の管理運営にかかるコスト（南畑公民館（勤労文化会館））

南畑公民館と勤労文化会館は同一建物で、事業も同一ですので、複合施設ではありません。設置根拠について2つの条例を持つため名称も2つとなっています。

施設内に南畑出張所が複合化されています。

出張所利用者を除く公民館利用者一人一回当たり約4,780円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	2,521,309円	公民館施設維持管理事業（電気・上下水11987185は4館で面積案分1040/5071）
修繕費	4,911,270円	公民館施設維持管理事業
委託料	5,838,047円	公民館施設維持管理事業（施設管理業務委託17565611は4館で面積案分1040/5071）
使用料・賃借料	190,637円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
備品代	1,339,960円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
建設工事費	91,932,750円	公民館施設維持管理事業
人件費	8,685,858円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 南畑公民館（公民館維持管理事業0.7） 管財課（施設保全事業6.75*1/24）
合計	115,419,831円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	460,350円	公民館学級講座等開催事業
消耗品費	372,594円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
通信運搬費	127,965円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	5,821,214円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員 0.45 臨時職員 一般事務費
合計	6,782,123円	
減価償却費 C		
合計	8,258,286円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	935,850円	自動販売機使用料、施設使用料等
その他収入	84,393円	陶芸電気料など
合計	1,020,243円	
利用者等 E		
合計	27297	H24 利用者数（H25は工事部分制限のため） 資料：教育要覧

収支 F	129,439,997円	A+B+C-D
純コスト	4,779円	(A+B+C)/E
収支コスト	4,742円	F/E
収支比率	0.78%	D/(A+B+C)



⑦ 施設の管理運営にかかるコスト（水谷公民館）

施設内に水谷出張所が複合化されています。

出張所利用者を除く公民館利用者一人一回当たり約 1,960 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	2,945,583円	公民館施設維持管理事業（電気・上下水11987185は4館で面積案分1137/5071）
修繕費	220,502円	公民館施設維持管理事業
委託料	6,189,693円	公民館施設維持管理事業（施設管理業務委託17565611は4館で面積案分1137/5071）
使用料・賃借料	233,905円	一般事務費
備品代	141,750円	一般事務費
建設工事費	31,336,046円	公民館施設維持管理事業
人件費	17,537,688円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 水谷公民館（公民館維持管理事業1.7） 管財課（施設保全事業6.75*1/24）
合計	58,605,168円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	475,420円	公民館学級講座等開催事業
消耗品費	606,686円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
通信運搬費	134,985円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	13,279,545円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員 1.5
合計	14,496,636円	
減価償却費 C		
合計	7,345,092円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	1,739,657円	自動販売機使用料、施設使用料等
その他収入	251,257円	陶芸燃料代等
合計	1,990,914円	
利用者等 E		
合計	41075	H24 利用者数（H25は工事部分制限のため） 資料：教育要覧
収支 F	78,455,982円	A+B+C-D
純コスト	1,959円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,910円	F/E
収支比率	2.47%	D/(A+B+C)



⑧ 施設の管理運営にかかるコスト（水谷東公民館）

施設内に水谷東出張所が複合化されています。

出張所利用者を除く公民館利用者一人一回当たり約 2,320 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	2,989,018円	公民館施設維持管理事業（電気・上下水11987185は4館で面積案分868/5071）
修繕費	172,473円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
委託料	4,041,890円	公民館施設維持管理事業（施設管理業務委託17565611は4館で面積案分868/5071）
使用料・賃借料	214,123円	一般事務費
備品代	707,175円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
建設工事費	41,370,760円	公民館施設維持管理事業
人件費	11,341,407円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 水谷東公民館（公民館維持管理事業1.0） 管財課（施設保全事業6.75*1/24）
合計	60,836,846円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	272,000円	公民館学級講座等開催事業
消耗品費	538,485円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
通信運搬費	126,532円	一般事務費、公民館施設維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	15,933,294円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員 1.8
合計	16,870,311円	
減価償却費 C		
合計	6,365,692円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	388,980円	施設使用料等
その他収入	101,970円	その他雑入
合計	490,950円	
利用者等 E		
合計	36236	H24 利用者数（H25は工事部分制限のため） 資料：教育要覧
収支 F	83,581,899円	A+B+C-D
純コスト	2,320円	(A+B+C)/E
収支コスト	2,307円	F/E
収支比率	0.58%	D/(A+B+C)



⑨ 施設の管理運営にかかるコスト（ふじみ野交流センター）

ふじみ野保育園、図書館ふじみ野分館が複合化されています。

利用者一人一回当たり約 1,160 円のコストがかかっています。一部の費用について複合施設利用者を含んでいます。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	10,525,449円	維持管理事業（複合施設分含む）
修繕費	2,065,634円	維持管理事業（複合施設分含む）
委託料	11,240,959円	維持管理事業（施設管理・消防保守業務はふ交・西交・み台で面積案分2984/5462、設備保守・舞台保守業務はふ交・西交で面積案分2984/4633）
使用料・賃借料	1,754,649円	維持管理事業（複合施設分含む）、生涯学習事業
備品代	131,250円	維持管理事業
建設工事費	0円	
人件費	13,277,745円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員1.5
合計	38,995,686円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	449,960円	生涯学習事業
消耗品費	590,521円	維持管理事業、生涯学習事業
通信運搬費	659,893円	維持管理事業、生涯学習事業
補助金等	0円	
人件費	15,151,028円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員 1.5 臨時職員 維持管理事業
合計	16,851,402円	
減価償却費 C		
合計	12,922,607円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	3,019,613円	自動販売機使用料、施設使用料等
その他収入	192,852円	陶芸窯料等
合計	3,212,465円	
利用者等 E		
合計	59080	H25 利用者数
収支 F	65,557,230円	A+B+C-D
純コスト	1,164円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,110円	F/E
収支比率	4.67%	D/(A+B+C)



⑩ 施設の管理運営にかかるコスト（鶴瀬西交流センター）

利用者一人一回当たり約 570 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	4,350,747円	維持管理事業
修繕費	1,394,432円	維持管理事業
委託料	6,545,153円	維持管理事業（施設管理・消防保守業務はふ交・西交・み台で面積案分1649/5462、設備保守・舞台保守業務はふ交・西交で面積案分1649/4633）
使用料・賃借料	335,781円	維持管理事業
備品代	868,665円	維持管理事業
建設工事費	0円	
人件費	13,277,745円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員1.5
合計	26,772,523円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	493,220円	生涯学習事業
消耗品費	1,197,888円	維持管理事業、生涯学習事業
通信運搬費	402,718円	維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	16,818,477円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員1.9
合計	18,912,303円	
減価償却費 C		
合計	9,330,741円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	2,553,092円	行政財産使用料、施設使用料
その他収入	348,876円	その他雑入
合計	2,901,968円	
利用者等 E		
合計	97335	H25 利用者数

収支 F	52,113,599円	A+B+C-D
純コスト	565円	(A+B+C)/E
収支コスト	535円	F/E
収支比率	5.27%	D/(A+B+C)



⑪ 施設の管理運営にかかるコスト（針ヶ谷コミュニティセンター）

針ヶ谷集会所が複合化されています。

利用者一人一回当たり約 730 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	指定管理料に含む
修繕費	128,100円	
委託料	20,694,500円	指定管理料として19970000
使用料・賃借料	0円	指定管理料に含む
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	6,030,309円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 鶴瀬西交流センター正規職員0.4 管財課（施設保全事業6.75*1/24）
合計	26,852,909円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	0円	
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	維持管理費に合算
合計	0円	
減価償却費 C		
合計	9,864,401円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	1,677,980円	施設使用料、行政財産使用料
その他収入	625,270円	自販機設置料、雑入
合計	2,303,250円	
利用者等 E		
合計	50547	H25 利用者数

収支 F	34,414,060円	A+B+C-D
純コスト	726円	(A+B+C)/E
収支コスト	681円	F/E
収支比率	6.27%	D/(A+B+C)



⑫ 施設の管理運営にかかるコスト（みずほ台コミュニティセンター）

みずほ台出張所が複合化されています。

出張所利用者を除く利用者一人一回当たり約 380 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	1,997,425円	施設維持管理事業
修繕費	919,968円	施設維持管理事業
委託料	4,447,694円	維持管理事業（施設管理・消防保守業務はふ交・西交・み台で面積案分1009/5462）
使用料・賃借料	141,042円	施設維持管理事業
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	7,081,464円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員0.8
合計	14,587,593円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	333,520円	施設維持管理事業
通信運搬費	161,953円	施設維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	2,629,165円	臨時職員賃金
合計	3,124,638円	
減価償却費 C		
合計	7,498,051円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	1,414,500円	施設使用料（全額）
その他収入	861,440円	その他雑入、自販機設置料
合計	2,275,940円	
利用者等 E		
合計	66492	H25 利用者数
収支 F	22,934,342円	A+B+C-D
純コスト	379円	(A+B+C)/E
収支コスト	345円	F/E
収支比率	9.03%	D/(A+B+C)

⑬ 施設の管理運営にかかるコスト（サンライトホール）

西出張所が複合化されており、光熱水費などの費用は出張所分を含んでいます。
利用者一人一回当たり約2,750円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	2,507,849円	サンライトホール管理事業
修繕費	999,600円	サンライトホール管理事業
委託料	2,829,960円	サンライトホール管理事業
使用料・賃借料	0円	
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	13,277,745円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員1.5
合計	19,615,154円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	59,265円	サンライトホール管理事業
通信運搬費	240,000円	サンライトホール管理事業
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	299,265円	
減価償却費 C		
合計	315,632円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	562,700円	施設使用料（全額）
その他収入	665,054円	自販機使用料（全額）
合計	1,227,754円	
利用者等 E		
合計	7370	H25 利用者数

収支 F	19,002,297円	A+B+C-D
純コスト	2,745円	(A+B+C)/E
収支コスト	2,578円	F/E
収支比率	6.07%	D/(A+B+C)

⑭ 施設の管理運営にかかるコスト（南畑ふれあいプラザ）

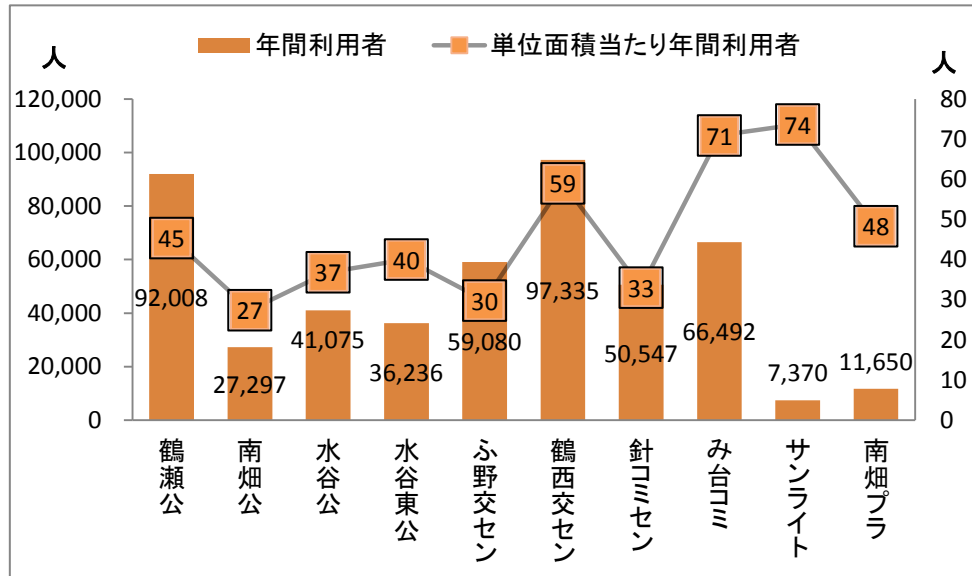
利用者一人一回当たり約 740 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	561,194円	維持管理事業
修繕費	19,950円	維持管理事業
委託料	308,070円	維持管理事業
使用料・賃借料	988,199円	維持管理事業
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	3,717,769円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員0.42
合計	5,595,182円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	87,372円	維持管理事業
通信運搬費	61,057円	維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	0円	維持管理費に計上
合計	148,429円	
減価償却費 C		
合計	2,914,117円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	380,500円	施設使用料（全額）
その他収入	0円	
合計	380,500円	
利用者等 E		
合計	11650	H25 利用者数
収支 F	8,277,227円	A+B+C-D
純コスト	743円	(A+B+C)/E
収支コスト	710円	F/E
収支比率	4.39%	D/(A+B+C)

⑮ 各施設の比較

<年間利用者、単位面積当たり年間利用者>

単位面積（㎡）あたり年間利用者は、数字が大きいほど、施設が効率的に使われていることを意味します。

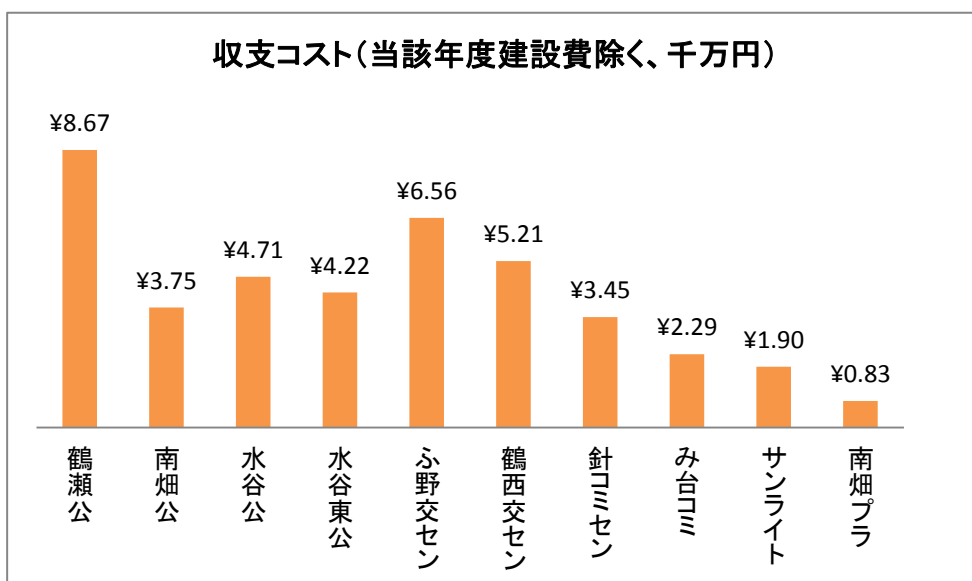


<収支コスト（当該年度建設費除く）>

収支コストは、純コストから使用料などの収入を差し引いたコストで、施設の収益力を反映していると言えます。

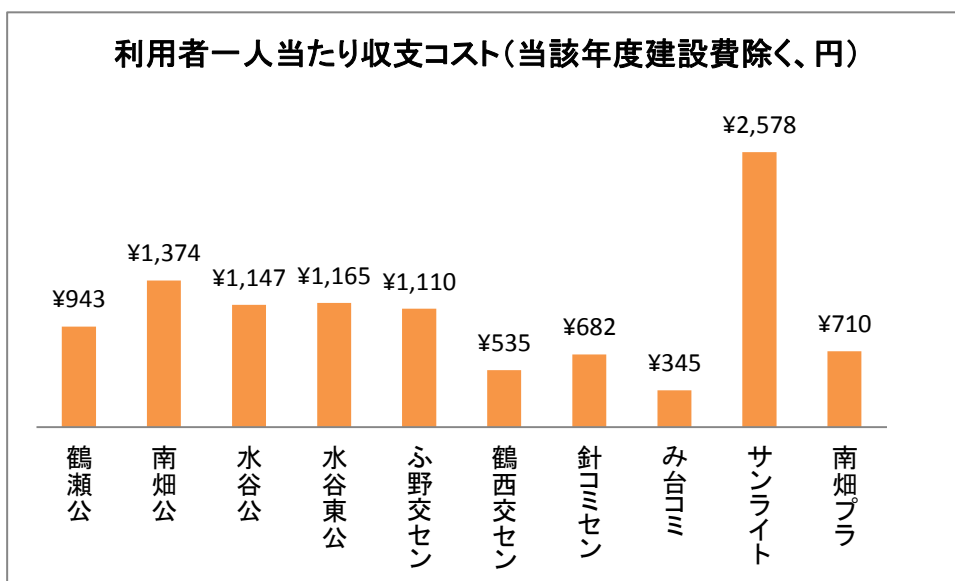
なお、建設費は、年によって大きく増減し、工事の有無が施設コストを大きく左右するため、同種の施設を比較する上ではこれを除いた経常経費による必要があります。

また、収支コストにおける数字の大きさは施設規模と比例していると言えます。



<収支コスト（当該年度建設費除く）>

利用者一人当たり収支コストは、収支コストを年間利用者で割り返したものです。数字が小さいほど効率的に使われていると言えます。



(2) 図書館・資料館・体育館

① 施設の概要

図書館は、資料・情報の収集と情報提供の充実を目的として、蔵書構成に努め、図書や視聴覚資料の充実を図り、地域の情報拠点としての役割を担っています。

資料館、文化財整理室・収蔵庫は、郷土富士見の考古資料、歴史民俗資料の調査・研究や保存・管理を行い、市民に郷土学習の機会や情報を提供しています。

市民総合体育館は、スポーツやレクリエーションを通じた市民の体力作りやコミュニケーションの拠点として広く利用されています。平成26年2月15日に発生したメインアリーナ屋根の全面崩落事故により現在は利用を中止しており（平成27年1月9日からサブアリーナ棟のみ暫定再開）、今後の動向が待たれます。

富士見ガーデンビーチは、50mプール、子どもプール、流水プール、ウォータースライダープールなどを備え、夏季は子どもから大人まで楽しめる市民の憩いの場所になっています。

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
2201	中央図書館	鶴馬 1873-1	生涯学習課	単独※
2202	図書館鶴瀬西分館	鶴瀬西 2-9-1	生涯学習課	複合：つるせ台小・つるせ台放課後児童クラブ
2203	図書館ふじみ野分館	ふじみ野東 3-7-1	生涯学習課	複合：ふじみ野交流センター・ふじみ野保育園
2204	水谷東公民館図書室	水谷東 2-12-10	生涯学習課	複合：水谷東公民館・水谷東出張所
2205	水子貝塚資料館	水子 2003-1	水子貝塚資料館	併設：水子貝塚公園
2206	難波田城資料館	下南畑 568-1	水子貝塚資料館	併設：難波田城公園
2207	文化財整理室	上南畑 306-5	生涯学習課	単独
2208	文化財収蔵庫	上南畑 306-5	生涯学習課	単独
2209	市民総合体育館	鶴馬 1887-1	生涯学習課	単独
2210	富士見ガーデンビーチ	勝瀬 545	生涯学習課	単独

※複合施設扱いではありませんが、2Fが教育委員会事務局です。

< 建物面積等 >

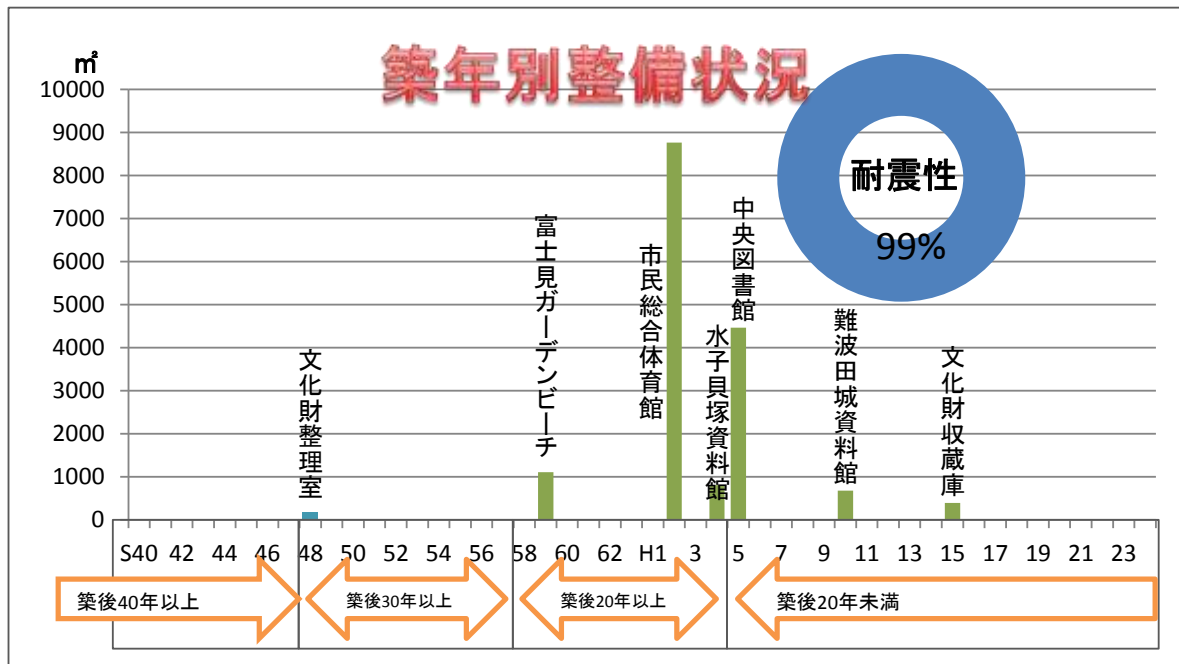
整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡) ※	土地 (㎡)
2201	中央図書館	SRC(一部S)	H5.12	4,464	11,941
2202	図書館鶴瀬西分館	RC(一部S)	H20.12	380 (建物面積 7,895)	—
2203	図書館ふじみ野分館	RC(一部S)	H14.3	257 (建物面積 2,984)	—
2204	水谷東公民館図書室	RC	S56.3	31 (建物面積 887)	—
2205	水子貝塚資料館	S(軽量)	H4.10	851	37,243
2206	難波田城資料館	W(一部S)	H10.2	676	17,265
2207	文化財整理室	S(軽量) 一部CB造	S48.3	217	536
2208	文化財収蔵庫	S(軽量)	H15.10	397	
2209	市民総合体育館	RC(一部S)	H2.9	8,765	10,483
2210	富士見ガーデンビーチ	RC(一部S)	S59.3	1,324	19,961

※複合施設の場合は専有面積です。



② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
2201	中央図書館	○	21	H21 屋上防水	4
2202	図書館鶴瀬西分館	○	6	なし	6
2203	図書館ふじみ野分館	○	12	なし	12
2204	水谷東公民館図書室	○	33	H25 耐震・EL 設置	0
2205	水子貝塚資料館	○	22	H23 屋上防水・外壁	2
2206	難波田城資料館	○	16	H21 外壁	4
2207	文化財整理室	×	40	なし	40
2208	文化財収蔵庫	○	11	なし	11
2209	市民総合体育館	○	24	H23 大規模改修	2
2210	富士見ガーデンビーチ	○	30	H23 塗装改修	2



③ 付帯設備一覧

表の見方はP2参照

整理番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター	車いす用トイレ	身障者用トイレ	車いす用プロ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー！太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等
2201	中図	◎	◎	◎	◎	△	◎	×	×	△
2202	鶴西分館	つるせ台小学校参照								
2203	ふ野分館	ふじみ野交流センター参照								
2204	水東図書	水谷東公民館参照								
2205	水子貝塚	—	◎	×	◎	△	◎	×	×	△
2206	難波田城	—	◎	△	◎	×	◎	×	△	×
2207	文整理	—	×	×	×	×	×	×	×	×
2208	文収蔵	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2209	市総体育	◎	◎	◎	◎	△	◎	×	×	×
2210	ガーデン	—	◎	◎	×	△	×	×	×	×

名称	防災対応																
	部	災害対策本	避難所	救護所	備蓄倉庫	応急給水所	電話等	災害時優先	洋式トイレ	簡易トイレ	マンホールトイレ	調理場	代替電源	冷暖房	入浴施設	外	浸水地域内
中図	○ ※1	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	◎	×	E	
鶴西分館	つるせ台小学校参照																
ふ野分館	ふじみ野交流センター参照																
水東図書	水谷東公民館参照																
水子貝塚	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	◎	△	A	
難波田城	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎	×	E	
文整理	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎	×	E	
文収蔵	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	E	
市総体育	○ ※3	○	△	×	×	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	△	E		
ガーデン	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎	×	E	

※1 市役所本庁が使用不可能な場合の第1順位の代替施設です。

※2 自衛隊の野営地に指定されています。

※3 市役所本庁が使用不可能な場合の第3順位の代替施設です。

④ 施設の管理運営にかかるコスト（中央図書館）

図書類貸出1点当たり約440円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	図書館運営事業 教育委員会事務局分含む。指定管理料に含む。
修繕費	4,643,835円	図書館運営事業
委託料	187,012,746円	図書館運営事業 うち指定管理料（ふじみ野分館・水谷東含む）182097255円。
使用料・賃借料	6,856,791円	図書館運営事業
備品代	1,563,980円	
建設工事費	3,169,950円	図書館運営事業
人件費	19,031,435円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員2.15
合計	222,278,737円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	59,450円	図書館運営事業
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	125,440円	図書館運営事業
合計	184,890円	
減価償却費 C		
合計	41,335,087円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	0円	
その他収入	735,055円	自販機設置料（全額）
合計	735,055円	
利用者等 E		
合計	598385	H25 中央・ふ野・鶴西・水東・公共貸出冊数 資料：図書館要覧

収支 F	263,063,658円	A+B+C-D
純コスト	441円	(A+B+C)/E
収支コスト	440円	F/E
収支比率	0.28%	D/(A+B+C)



⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（水子貝塚資料館（水子貝塚公園））

利用者一人一回当たり約 1,860 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	1,586,453円	施設運営事業
修繕費	986,790円	施設運営事業
委託料	17,705,606円	施設運営事業
使用料・賃借料	851,953円	施設運営事業
備品代	0円	
建設工事費	13,422,369円	施設運営事業
人件費	30,981,405円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員3.5
合計	65,534,576円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	396,500円	施設運営事業
消耗品費	1,013,517円	施設運営事業
通信運搬費	910,704円	施設運営事業
補助金等	24,000円	施設運営事業
人件費	8,653,920円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員 Aに合算 臨時職員 施設維持管理事業
合計	10,998,641円	
減価償却費 C		
合計	8,661,130円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	59,010円	行政財産使用料
その他収入	768,950円	うち自販機設置料493500
合計	827,960円	
利用者等 E		
合計	45918	H25 入館者数
収支 F	84,366,387円	A+B+C-D
純コスト	1,855円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,837円	F/E
収支比率	0.97%	D/(A+B+C)



ムサビー

⑥ 施設の管理運営にかかるコスト（難波田城資料館（難波田城公園））

利用者一人一回当たり約1,600円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	3,023,595円	運営事業
修繕費	3,117,995円	運営事業
委託料	12,794,538円	運営事業
使用料・賃借料	276,364円	運営事業
備品代	29,400円	運営事業
建設工事費	56,985円	運営事業
人件費	30,981,405円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員3.5
合計	50,280,282円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	417,500円	運営事業
消耗品費	1,260,662円	運営事業
通信運搬費	24,150円	運営事業
補助金等	0円	
人件費	0円	Aに合算
合計	1,702,312円	
減価償却費 C		
合計	26,473,335円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	0円	
その他収入	0円	水子貝塚に一括計上
合計	0円	
利用者等 E		
合計	49082	H24 入館者数

収支 F	78,455,929円	A+B+C-D
純コスト	1,598円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,598円	F/E
収支比率	0.00%	D/(A+B+C)



⑦ 施設の管理運営にかかるコスト（市民総合体育館）

利用者一人一回当たり約1,100円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	指定管理料に含む
修繕費	0円	
委託料	47,081,060円	社会体育施設維持管理事業 うち指定管理料45634000
使用料・賃借料	0円	
備品代	98,910円	社会体育施設維持管理事業
建設工事費	3,003,000円	社会体育施設維持管理事業
人件費	14,328,900円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 生涯学習課0.775 ガーデンビーチと按分1/2 管財課6.75*3/24
合計	64,511,870円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	2,000円	社会体育施設維持管理事業
通信運搬費	222,730円	社会体育施設維持管理事業
補助金等	8,121,591円	社会体育施設維持管理事業
人件費	66,000円	社会体育施設維持管理事業
合計	8,412,321円	
減価償却費 C		
合計	48,048,520円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	125,367円	生涯学習課（行政財産使用料） 体育館使用料6921800は指定管理者収入のため計上せず
その他収入	0円	
合計	125,367円	
利用者等 E		
合計	109563	H25 利用者数（H26.2.15以降休館）
収支 F	120,847,344円	A+B+C-D
純コスト	1,104円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,103円	F/E
収支比率	0.10%	D/(A+B+C)

⑧ 施設の管理運営にかかるコスト（富士見ガーデンビーチ）

利用者一人一回当たり約 1,330 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	指定管理料に含む
修繕費	0円	
委託料	24,777,225円	社会体育施設維持管理事業 うち指定管理料24174000
使用料・賃借料	145,350円	社会体育施設維持管理事業
備品代	0円	
建設工事費	24,408,300円	社会体育施設維持管理事業 (駐車場整備、床張替)
人件費	9,349,745円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員0.775 体育館と按分1/2 管財課6.75*1/24
合計	58,680,620円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	0円	
通信運搬費	118,200円	社会体育施設維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	0円	Aに合算
合計	118,200円	
減価償却費 C		
合計	36,332,127円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	0円	入場料18394800は指定管理者収入のため計上せず
その他収入	0円	
合計	0円	
利用者等 E		
合計	71530	H25 利用者数

収支 F	95,130,948円	A+B+C-D
純コスト	1,330円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,330円	F/E
収支比率	0.00%	D/(A+B+C)



(3) 集会所

① 施設の概要

町会や自治会などの地域コミュニティの活動の場として 30 か所の集会所を設置しています。設置根拠は市立集会所条例です。

管理については、利用申請等の事務と掃除等の維持管理を業務委託契約により町会に委託し、消防、浄化槽等の法定点検や建物修繕などは市が行っています。

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
2301	丸池集会所	関沢 2-28-1	協働推進課	単独
2302	渡戸東集会所	渡戸 1-2-34	協働推進課	単独
2303	山室集会所	山室 1-1171-24	協働推進課	単独
2304	上沢 3 丁目集会所	上沢 3-4-16	協働推進課	単独
2305	水谷東 3 丁目集会所	水谷東 3-28-9	協働推進課	単独
2306	水谷東 1 丁目集会所	水谷東 1-7-12	協働推進課	単独
2307	渡戸 3 丁目集会所	渡戸 3-4-3	協働推進課	単独
2308	針ヶ谷集会所	針ヶ谷 1-38	協働推進課	複合：針ヶ谷コミュニティセンター
2309	水谷第 8 集会所	東みずほ台 2-19-9	協働推進課	単独
2310	勝瀬集会所	勝瀬 790-1	協働推進課	単独
2311	前谷集会所	鶴馬 3308-2	協働推進課	単独
2312	水谷第 1 集会所	水子 678-2	協働推進課	単独
2313	関沢集会所	関沢 3-19-34	協働推進課	単独
2314	勝瀬西集会所	勝瀬 1616-4	協働推進課	単独
2315	鶴馬 1 丁目集会所	鶴馬 1-7-39	協働推進課	複合：第 1 保育所
2316	打越集会所	鶴馬 3-23-4	協働推進課	単独
2317	鶴瀬西 3 丁目東集会所	鶴瀬西 3-6-8	協働推進課	複合：鶴瀬西配水場
2318	鶴馬関沢集会所	鶴馬 2-23-8	協働推進課	単独
2319	上沢 1 丁目集会所	上沢 1-15-16	協働推進課	単独
2320	羽沢集会所	羽沢 3-6-4	協働推進課	単独
2321	水谷第 2 集会所	水子 2688-1	協働推進課	単独
2322	諏訪集会所	諏訪 2-1-43	協働推進課	単独
2323	水谷第 3 集会所	水子 4543-44	協働推進課	単独
2324	羽沢 2 丁目集会所	羽沢 2-9-6	協働推進課	単独
2325	水谷東 2 丁目集会所	水谷東 2-38-7	協働推進課	単独

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
2326	上沢2丁目集会所	上沢 2-5-15	協働推進課	単独
2327	鶴瀬西名シ久保集会所	鶴馬 2593	協働推進課	単独
2328	鶴瀬東2丁目集会所	鶴瀬東 2-8-25	協働推進課	単独
2329	南畑第2集会所	上南畑 189-1	協働推進課	単独
2330	南畑第3集会所	下南畑 311-36	協働推進課	単独

<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積(m ²) ※	土地(m ²)
2301	丸池集会所	W	S63.3	164	990
2302	渡戸東集会所	W	H3.3	152	746
2303	山室集会所	W(一部S)	S57.3	80	350
2304	上沢3丁目集会所	S(軽量)	S59.3	99	374
2305	水谷東3丁目集会所	W	S59.8	162	176
2306	水谷東1丁目集会所	S(軽量)	S60.3	99	460
2307	渡戸3丁目集会所	W	S61.3	134	436(借地)
2308	針ヶ谷集会所	SRC	S61.3	42 (建物面積 1,572)	—
2309	水谷第8集会所	W	S61.9	173	517(借地)
2310	勝瀬集会所	W	S62.3	220	838 (借地)
2311	前谷集会所	W	S63.3	94	564
2312	水谷第1集会所	W	S63.3	152	760
2313	関沢集会所	W	H1.3	169	798
2314	勝瀬西集会所	W	H1.3	94	331
2315	鶴馬1丁目集会所	RC	H2.3	90 (建物面積 834)	—
2316	打越集会所	W(一部S)	H4.3	120	107
2317	鶴瀬西3丁目東集会所	RC(一部S)	H4.10	132 (建物面積 557)	—
2318	鶴馬関沢集会所	W(一部S)	H5.3	139	109
2319	上沢1丁目集会所	W	H5.3	140	331
2320	羽沢集会所	W	H8.3	170	363
2321	水谷第2集会所	W	H9.3	138	441
2322	諏訪集会所	W	H9.3	135	322

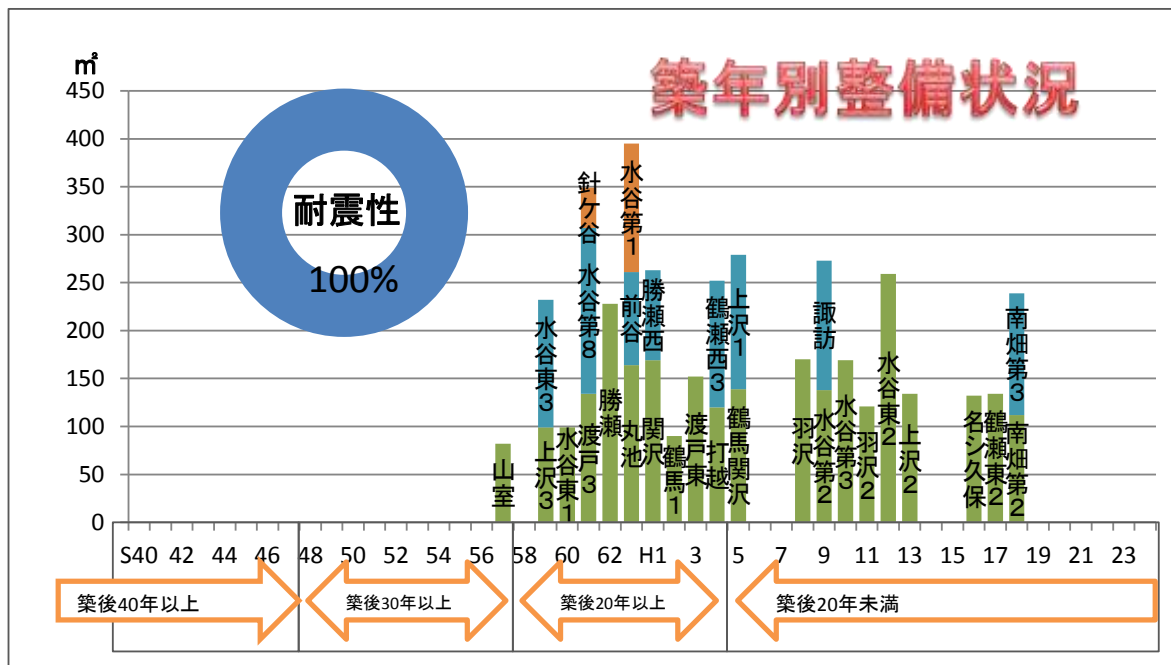
整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡) ※	土地 (㎡)
2323	水谷第3集会所	W	H10.3	169	500
2324	羽沢2丁目集会所	W	H11.3	121	335
2325	水谷東2丁目集会所	S(軽量)	H12.8	259(借家) JAのATM面積含む	357(借地)
2326	上沢2丁目集会所	W(一部S)	H13.3	134	335
2327	鶴瀬西名シ久保集会所	W	H16.3	132	357
2328	鶴瀬東2丁目集会所	W	H17.2	134	301
2329	南畑第2集会所	W	H18.3	112	384
2330	南畑第3集会所	W	H18.3	127	588

※複合施設の場合は専有面積です。

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
2301	丸池集会所	○	26	H25改修	0
2302	渡戸東集会所	○	23	H23改修	2
2303	山室集会所	○	32	なし	32
2304	上沢3丁目集会所	○	30	H22改修	3
2305	水谷東3丁目集会所	○	30	H19増築	6
2306	水谷東1丁目集会所	○	29	なし	29
2307	渡戸3丁目集会所	○	28	H24改修	1
2308	針ヶ谷集会所 (針ヶ谷コミュニティセンター内)	○	28	H16大規模修繕 (針コミ)	9
2309	水谷第8集会所	○	28	なし	28
2310	勝瀬集会所	○	27	H25改修	0
2311	前谷集会所	○	26	H23改修	2
2312	水谷第1集会所	○	26	H21増築	4
2313	関沢集会所	○	25	なし	25
2314	勝瀬西集会所	○	25	なし	25
2315	鶴馬1丁目集会所	○	24	H22大規模改修 (第1保育所)	3
2316	打越集会所	○	22	H24改修	1
2317	鶴瀬西3丁目東集会所	○	22	H22耐震(配水場)	21

整理 番号	名称	耐 震 性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大 規模改修か らの経過年
2318	鶴馬関沢集会所	○	21	なし	21
2319	上沢1丁目集会所	○	21	なし	21
2320	羽沢集会所	○	18	なし	18
2321	水谷第2集会所	○	17	なし	17
2322	諏訪集会所	○	17	なし	17
2323	水谷第3集会所	○	16	なし	16
2324	羽沢2丁目集会所	○	15	なし	15
2325	水谷東2丁目集会所	○	14	なし	14
2326	上沢2丁目集会所	○	13	なし	13
2327	鶴瀬西名シ久保集会所	○	10	なし	10
2328	鶴瀬東2丁目集会所	○	9	なし	9
2329	南畑第2集会所	○	8	なし	8
2330	南畑第3集会所	○	8	なし	8



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロープ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ！太陽光 発電の 導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
2301	丸池	—	×	△	×	△	×	×	×	×
2302	渡戸東	—	×	△	×	△	×	×	×	×
2303	山室	—	×	×	×	×	×	×	×	×
2304	上沢 3	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2305	水谷東 3	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2306	水谷東 1	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2307	渡戸 3	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2308	針ヶ谷	針ヶ谷コミュニティセンター参照								
2309	水谷第 8	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2310	勝瀬	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2311	前谷	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2312	水谷第 1	—	×	×	×	△	×	×	×	△
2313	関沢	—	×	×	×	△	×	×	×	△
2314	勝瀬西	—	×	×	×	×	×	×	×	×
2315	鶴馬 1	—	×	×	×	△	×	×	×	△
2316	打越	—	×	×	×	△	×	×	×	△
2317	鶴西 3 東	—	×	×	×	×	×	×	×	×
2318	鶴馬関沢	—	×	×	×	△	×	×	×	×
2319	上沢 1	—	×	△	×	△	×	×	×	×
2320	羽沢	—	×	△	×	×	×	×	×	×
2321	水谷第 2	—	×	△	×	△	×	×	×	×
2322	諏訪	—	×	△	×	△	×	×	×	×
2323	水谷第 3	—	×	△	×	△	◎	×	×	×
2324	羽沢 2	—	×	△	×	△	◎	×	×	×
2325	水谷東 2	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×
2326	上沢 2	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×
2327	鶴西名シ	—	◎	△	×	△	◎	×	×	△
2328	鶴瀬東 2	—	◎	△	×	△	◎	×	×	△
2329	南畑第 2	—	◎	△	×	△	◎	×	×	△
2330	南畑第 3	—	◎	△	×	△	◎	×	×	△

名称	防災対応															
	策本部 災害対	避難所	救護所	庫 備 蓄 倉	水 所 急 給	先 電 話 等	災 害 時 優	イ レ 洋 式 ト	イ レ 簡 易 ト	ル ト イ レ	マン ホ ー	調 理 場	源 代 替 電	冷 暖 房	設 入 浴 施	域 内 外
丸池	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
渡戸東	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
山室	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E
上沢3	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
水谷東3	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E
水谷東1	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E
渡戸3	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
針ヶ谷	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
水谷第8	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
勝瀬	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E
前谷	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		C
水谷第1	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		B
関沢	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
勝瀬西	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
鶴馬1	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		B
打越	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		B
鶴西3東	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
鶴馬関沢	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		B
上沢1	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
羽沢	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
水谷第2	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
諏訪	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		C
水谷第3	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
羽沢2	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
水谷東2	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E
上沢2	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
鶴西名シ	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
鶴瀬東2	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		A
南畑第2	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E
南畑第3	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×		E

④ 施設の管理運営にかかるコスト（全集会所）

利用者1人当たり約490円のコストがかかっています。なお、地域集会所に対する運営補助なども含んでいます。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	4,198,656円	コミュニティ施設維持管理事業
修繕費	1,507,758円	コミュニティ施設維持管理事業
委託料	1,503,562円	コミュニティ施設維持管理事業
使用料・賃借料	2,410,872円	コミュニティ施設維持管理事業
備品代	24,800円	
建設工事費	7,062,300円	コミュニティ施設維持管理事業
人件費	11,064,788円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員1.25
合計	27,772,736円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	344,530円	コミュニティ施設維持管理事業
通信運搬費	14,000円	コミュニティ施設維持管理事業
補助金等	1,978,000円	コミュニティ施設維持管理事業
人件費	0円	
合計	2,336,530円	
減価償却費 C		
合計	23,932,896円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	1,284,630円	行政財産使用料、集会所使用料1268500
その他収入	882,300円	集会所空調機使用料
合計	2,166,930円	
利用者等 E		
合計	109566	H25 利用人数（資料：協働推進課）
収支 F	51,875,232円	A+B+C-D
純コスト	493円	(A+B+C)/E
収支コスト	473円	F/E
収支比率	4.01%	D/(A+B+C)

(4) 文化会館

① 施設の概要

施設の管理運営に関しては、指定管理者制度による運営を行っています。公募による芸術監督制度での自主事業運営です。

<基本情報>

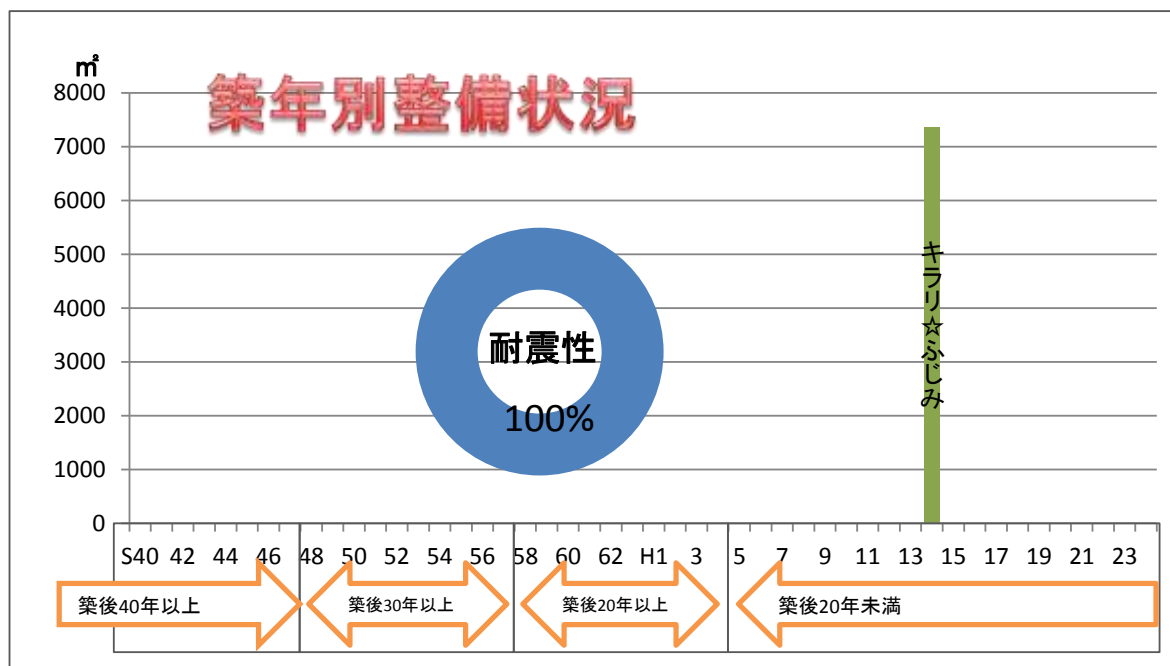
整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
2401	市民文化会館キラリ☆ふじみ	鶴馬 1803-1	地域文化振興課	—

<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積(m ²)	土地(m ²)
2401	市民文化会館キラリ☆ふじみ	SRC (一部RC、S造)	H14.6	7,359	19,939

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
2401	市民文化会館キラリ☆ふじみ	○	10	H21 屋上防水	4



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ープ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ！・太陽光発 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境対 応設備
2401	キラリ	◎	◎	△	◎	△	◎	◎	×	△

名称	防災対応													
	部 災害対策本	避難所	救護所	備蓄倉庫	応急給水所	電話等	災害時優先	洋式トイレ	簡易トイレ	マンホール トイレ	調理場	代替電源	冷暖房	入浴施設
キラリ	○ ※	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	◎	◎	E

※ 市役所本庁が使用不可能な場合の第2 順位の代替施設です。



④ 施設の管理運営にかかるコスト（市民文化会館 キラリ☆ふじみ）

利用者一人一回当たり約 1,330 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	指定管理料に含む
修繕費	0円	
委託料	178,448,550円	市民文化会館維持管理事業 うち指定管理料174363000
使用料・賃借料	2,419,200円	市民文化会館維持管理事業
備品代	0円	市民文化会館維持管理事業
建設工事費	1,991,850円	市民文化会館維持管理事業
人件費	12,392,562円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 正規職員1.40
合計	195,252,162円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	0円	
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
減価償却費 C		
合計	78,560,601円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	184,400円	行政財産使用料（自販機設置料） 施設使用料46234410は指定管理者収入
その他収入	0円	
合計	184,400円	
利用者等 E		
合計	206642	H25 利用者数（資料：地域文化振興課）

収支 F	273,628,363円	A+B+C-D
純コスト	1,325円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,324円	F/E
収支比率	0.07%	D/(A+B+C)



第3節 福祉施設

(1) 市立保育所・園

① 施設の概要

保育所は、保護者が就労や疾病などのために家庭において保育をすることができない児童を、児童福祉法に基づき、保護者に代わって日中に保育することを目的とした児童福祉施設です。平成25年4月1日現在、市内には7か所（第一～第六・ふじみ野保育園）の公立保育所（園）と8か所の私立保育園があります。

この白書で扱うのは公立保育所（園）で、そのうちふじみ野保育園は民営です。

<基本情報>

整理番号	名称	所在地	所管	定員	単独・複合・併設
3101	第1保育所	鶴馬 1-7-39	保育課	90	複合：鶴馬1丁目集会所
3102	第2保育所	水谷東 2-12-23	保育課	90	単独
3103	第3保育所	山室 2-26-20	保育課	90	単独
3104	第4保育所	西みずほ台 1-7	保育課	120	複合：関沢児童館
3105	第5保育所	諏訪 1-3-1	保育課	90	単独
3106	第6保育所	鶴瀬西 2-8-1	保育課	90	区分所有
3107	ふじみ野保育園	ふじみ野東 3-7-1	保育課	90	複合：ふじみ野交流センター

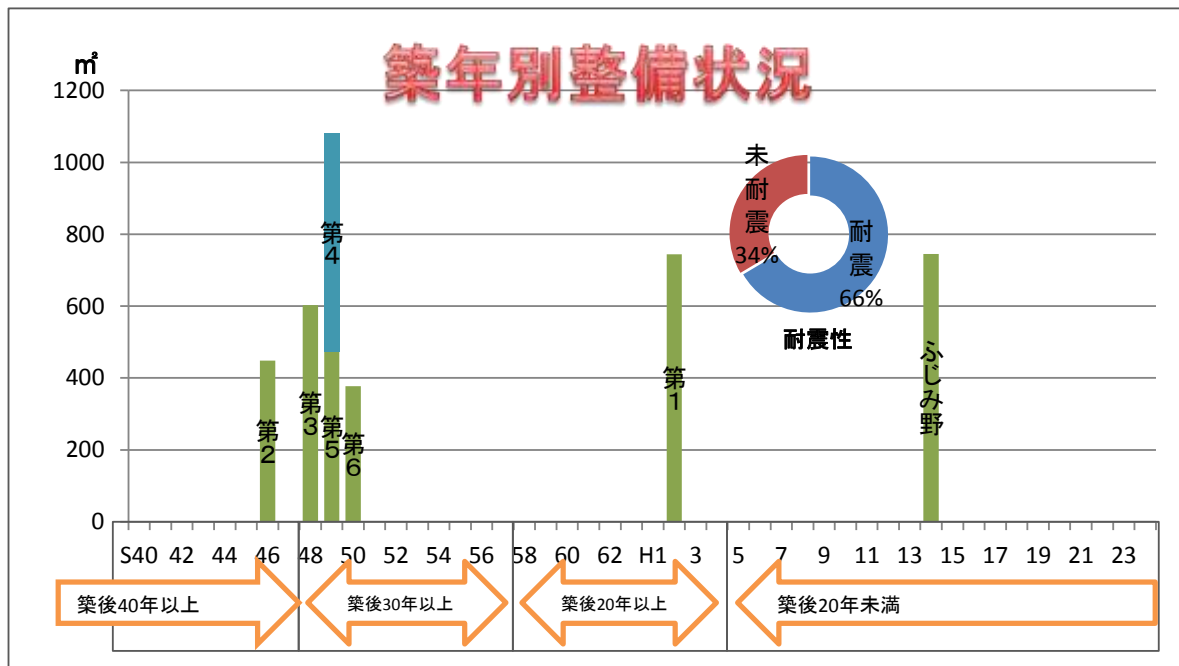
<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積(m ²)	土地(m ²)
3101	第1保育所	R C	H2.3	744 (建物面積 834)	1,164
3102	第2保育所	S (重量)	S46.11	449	1,534
3103	第3保育所	S (軽量)	S48.3	603	1,414
3104	第4保育所	R C (一部S)	S49.5	609 (建物面積 890)	1,500
3105	第5保育所	S (軽量)	S49.5	470 (借家)	1,334 (借地)
3106	第6保育所	R C	S50.5	377	区分所有
3107	ふじみ野保育園	R C (一部S)	H14.3	742 (建物面積 2,984)	—

※複合施設の場合は専有面積です。

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26.4.1現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模 改修からの経過年
3101	第1保育所	○	24	H22 大規模改修	3
3102	第2保育所	○	43	H22 耐震・内装改修	3
3103	第3保育所	—	41	H8 大規模改修	17
3104	第4保育所	○	40	H14 大規模改修	11
3105	第5保育所	—	40	なし	40
3106	第6保育所	○	39	H11 大規模改修	14
3107	ふじみ野保育園	○	12	なし	12



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ップ	自動 ドア	手すり	点字 ブ ロック	自然エネルギー ・太陽光 発電の 導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対 応 設 備
3101	第1	—	×	×	×	△	×	×	△	×
3102	第2	—	×	×	×	×	×	×	△	×
3103	第3	—	×	×	×	×	×	×	△	△
3104	第4	—	×	×	×	△	×	×	△	×
3105	第5	—	×	×	×	×	×	×	△	×
3106	第6	—	×	×	×	×	×	×	△	△
3107	ふじみ野	ふじみ野交流センター参照								

名称	防災対応														
	部 災害 対策 本	避 難 所	救 護 所	備 蓄 倉 庫	応 急 給 水 所	電 話 等	災 害 時 優 先	洋 式 ト イ レ	簡 易 ト イ レ	ト イ レ	マ ン ホ ー ル	調 理 場	代 替 電 源	冷 暖 房	入 浴 施 設
第1	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	◎	×	◎	△	B
第2	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	◎	×	◎	△	E
第3	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	◎	×	◎	△	A
第4	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	◎	×	◎	△	A
第5	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	◎	×	◎	△	C
第6	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	◎	×	◎	△	A
ふじみ野	ふじみ野交流センター参照														

④ 施設の管理運営にかかるコスト（第1～6保育所、ふじみ野保育園）

利用者一人当たり年間約175.1万円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	15,471,849円	保育所運営事業(施設費)
修繕費	5,882,488円	保育所運営事業(施設費)
委託料	130,311,830円	保育所運営事業(総務費) 保育所運営事業(施設費:ふじみ野保育園指定管理料127145000)
使用料・賃借料	10,784,524円	保育所運営事業(施設費)
備品代	3,741,850円	保育所運営事業(施設費)
建設工事費	3,747,135円	保育所運営事業(施設費)
人件費	585,194,481円	概算事業従事人数 保育所運営事業(総務費) 1.09 保育所運営事業(施設費) 65.02
合計	755,134,157円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	1,660,000円	保育所運営事業(施設費)
消耗品費	43,374,627円	保育所運営事業(総務費) 保育所運営事業(施設費)
通信運搬費	3,210,564円	保育所運営事業(総務費) 保育所運営事業(施設費) 放射線対策事業(公立分のみ)
補助金等	130,000円	保育所運営事業(総務費) 保育所運営事業(施設費)
人件費	227,959,997円	保育所運営事業(総務費) 臨時職員分賃金227946877 保育所運営事業(施設費) 旅費13120
合計	276,335,188円	
減価償却費 C		
合計	22,473,558円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	141,534,155円	保護者負担金(公立分のみ、収納率99.05%)、管外受託措置費負担金、延長保育料、一時保育料、滞納繰越金(公立分のみ)、日本スポーツ振興センター保護者負担金、行政財産使用料
その他収入	8,947,270円	東電賠償金(公立分のみ)、職員給食費
合計	150,481,425円	
利用者等 E		
合計	602	H26.3.1現在 入所児童数
収支 F	903,461,478円	A+B+C-D
純コスト	1,750,736円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,500,767円	F/E
収支比率	14.28%	D/(A+B+C)

(2) 放課後児童クラブ・児童館

① 施設の概要

放課後児童クラブは、保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校1年生から4年生を対象に、放課後や土曜日、夏休みなどの期間に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者の就労と子育ての両立を支援しています。

児童館は、地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設です。

各施設とも、富士見市が設置し指定管理者制度により運営しています。

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	所管	定員	単独・複合・併設
3201	鶴瀬放課後児童クラブ	羽沢 2-1-1	保育課	65	複合：鶴瀬小
3202	水谷放課後児童クラブ	水谷 1-13-3	保育課	65	併設：水谷小
3203	南畑放課後児童クラブ	上南畑 1280	保育課	25	併設：南畑小
3204	関沢第1放課後児童クラブ	関沢 3-24-1	保育課	70	複合：関沢小
3205	関沢第2放課後児童クラブ		保育課	30	併設：関沢小
3206	勝瀬放課後児童クラブ	勝瀬 674	保育課	65	併設：勝瀬小
3207	水谷東放課後児童クラブ	水子 3614	保育課	40	併設：水谷東小
3208	諏訪第1放課後児童クラブ	鶴馬 1932-1	保育課	70	併設：諏訪小
3209	諏訪第2放課後児童クラブ		保育課	35	併設：諏訪小
3210	みずほ台第1放課後児童クラブ	東みずほ台	保育課	70	併設：みずほ台小
3211	みずほ台第2放課後児童クラブ	3-21	保育課	30	複合：みずほ台小
3212	針ヶ谷放課後児童クラブ	針ヶ谷 2-38-3	保育課	55	併設：針ヶ谷小
3213	ふじみ野第1放課後児童クラブ	ふじみ野東 4-4-1	保育課	45	併設：ふじみ野小
3214	ふじみ野第2放課後児童クラブ		保育課	50	複合：ふじみ野小
3215	ふじみ野第3放課後児童クラブ (第1の増築部分)		保育課	45	併設：ふじみ野小
3216	つるせ台放課後児童クラブ	鶴瀬西 2-9-1	保育課	70	複合：つるせ台小
3218	関沢児童館	西みずほ台 1-7	保育課	—	複合：第4保育所
3218	諏訪児童館	鶴馬 1932-7	保育課	—	複合：市民福祉活動センター

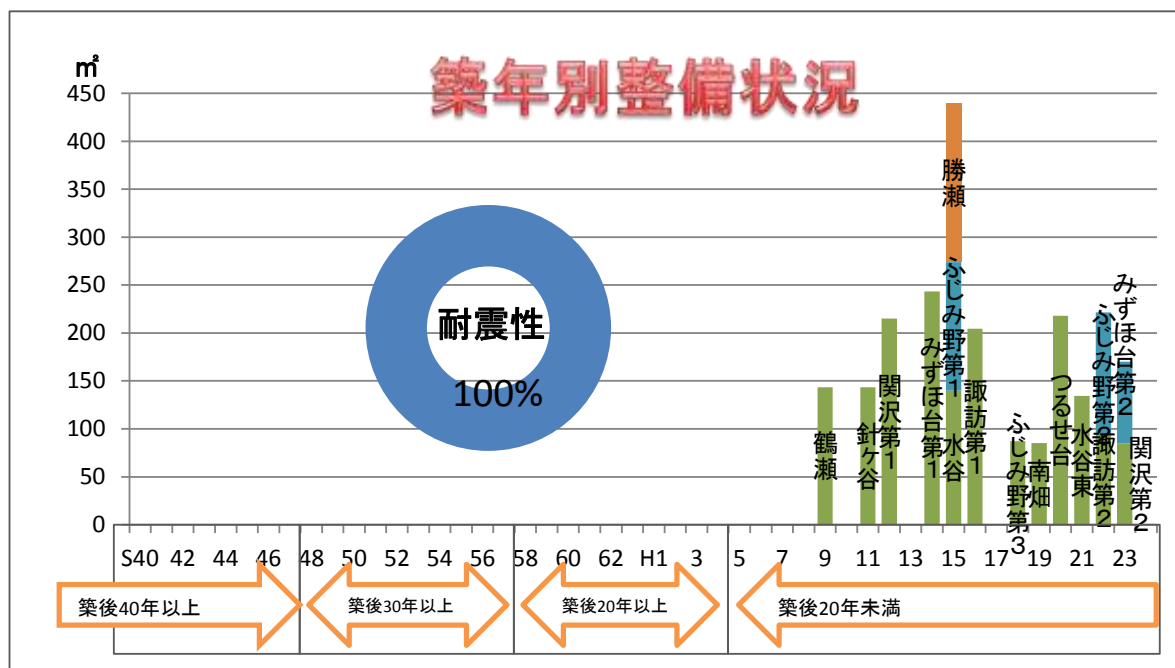
< 建物面積等 >

整理 番号	名称	主な構造	建築 年月	延床面積 (㎡) ※	土地 (㎡)
3201	鶴瀬放課後児童クラブ	R C	H9. 5	143	—
3202	水谷放課後児童クラブ	W	H15. 3	140	—
3203	南畑放課後児童クラブ	S (軽量)	H19. 3	85	—
3204	関沢第 1 放課後児童クラブ	R C	H12. 11	215	—
3205	関沢第 2 放課後児童クラブ	W	H23. 3	85	—
3206	勝瀬放課後児童クラブ	W	H15. 3	166	—
3207	水谷東放課後児童クラブ	S (軽量)	H21. 3	134	—
3208	諏訪第 1 放課後児童クラブ	W	H16. 3	205	—
3209	諏訪第 2 放課後児童クラブ	S (重量)	H22. 3	90	—
3210	みずほ台第 1 放課後児童クラブ	S (重量) (一部W)	H14. 3	244	—
3211	みずほ台第 2 放課後児童クラブ	R C	H23. 3	90 (建物面積 6, 821)	—
3212	針ヶ谷放課後児童クラブ	W	H11. 3	143	—
3213	ふじみ野第 1 放課後児童クラブ	W	H15. 3	135	—
3214	ふじみ野第 2 放課後児童クラブ	S (軽量)	H22. 3	128 (建物面積 8, 513)	—
3215	ふじみ野第 3 放課後児童クラブ (第 1 の増築部分)	W	H18. 3	87	—
3216	つるせ台放課後児童クラブ	R C (一部 S)	H20. 12	218 (建物面積 7, 895)	—
3218	関沢児童館	R C (一部 S)	S49. 5	281 (建物面積 890)	—
3218	諏訪児童館	R C	H16. 6	297 (建物面積 1, 019)	—

※複合施設の場合は専有面積です。

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
3201	鶴瀬	○	16	H16 改修	9
3202	水谷	○	11	なし	11
3203	南畑	○	7	なし	7
3204	関沢第1	○	14	なし	14
3205	関沢第2	○	3	なし	3
3206	勝瀬	○	11	なし	11
3207	水谷東	○	5	なし	5
3208	諏訪第1	○	10	なし	10
3209	諏訪第2	○	4	なし	4
3210	み台第1	○	12	なし	12
3211	み台第2	○	3	なし	3
3212	針ヶ谷	○	15	なし	15
3213	ふ野第1	○	11	なし	11
3214	ふ野第2	○	4	なし	4
3215	ふ野第3	○	8	なし	8
3216	つるせ台	○	6	なし	6
3218	関沢児	○	40	H14 大規模改修	11
3218	諏訪児	○	10	なし	10



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車イス 用スロープ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ！太陽光発 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
3201	鶴瀬	—	鶴瀬小学校参照							
3202	水谷	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×
3203	南畑	—	◎	△	×	△	◎	×	△	△
3204	関沢第 1	—	関沢小学校参照							
3205	関沢第 2	—	×	△	×	△	◎	×	△	×
3206	勝瀬	—	◎	△	×	△	◎	×	△	△
3207	水谷東	—	◎	△	×	△	◎	×	△	×
3208	諏訪第 1	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×
3209	諏訪第 2	—	×	△	×	×	◎	×	×	×
3210	み台第 1	—	◎	△	×	△	◎	×	×	◎
3211	み台第 2	—	みずほ台小学校参照							
3212	針ヶ谷	—	◎	△	×	△	◎	×	△	△
3213	ふ野第 1	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×
3214	ふ野第 2	—	ふじみ野小学校参照							
3215	ふ野第 3	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×
3216	つるせ台	—	つるせ台小学校参照							
3218	関沢児	—	第 4 保育所参照							
3218	諏訪児	—	市民福祉活動センター参照							

名称	防災対応													
	部 災害 対策 本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等	災害 時優 先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設
鶴瀬	鶴瀬小学校参照													
水谷	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	△	A
南畑	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	E
関沢第1	関沢小学校参照													
関沢第2	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	A
勝瀬	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	△	C
水谷東	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	E
諏訪第1	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	△	E
諏訪第2	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	E
み台第1	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	◎	◎	A
み台第2	みずほ台小学校参照													
針ヶ谷	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	△	A
ふ野第1	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	△	A
ふ野第2	ふじみ野小学校参照													
ふ野第3	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	△	A
つるせ台	つるせ台小学校参照													
関沢児	—	○	○	×	×	◎	△	×	×	◎	×	◎	△	A
諏訪児	市民福祉活動センター参照													

④ 施設の管理運営にかかるコスト（全放課後児童クラブ）

児童一人当たり年間約 42.3 万円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	指定管理料に含む
修繕費	541,780円	放課後児童健全育成事業(措置費)
委託料	248,426,743円	放課後児童健全育成事業(措置費) (指定管理料247964743)
使用料・賃借料	6,312,600円	放課後児童健全育成事業(措置費)
備品代	816,457円	放課後児童健全育成事業(措置費)
建設工事費	0円	
人件費	15,048,111円	概算事業従事人数 1.70
合計	271,145,691円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	160,120円	放課後児童健全育成事業(総務費)
通信運搬費	105,646円	放課後児童健全育成事業(総務費)
補助金等	11,656,000円	放課後児童健全育成事業(措置費) 償還金518000
人件費	0円	
合計	11,921,766円	
減価償却費 C		
合計	15,646,582円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	79,483,900円	保護者負担金(収納率97.17%)、入室負担金、滞納繰越分、延長負担金、延長負担金滞納繰越分
その他収入	383,050円	傷害保険料等
合計	79,866,950円	
利用者等 E		
合計	707	H 26.3.31現在 入室児童数
収支 F	218,847,089円	A+B+C-D
純コスト	422,509円	(A+B+C)/E
収支コスト	309,543円	F/E
収支比率	26.74%	D/(A+B+C)



⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（児童館）

利用者一人一回当たり約 1,080 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	
修繕費	0円	
委託料	39,126,000円	児童館運営事業（全額指定管理料）
使用料・賃借料	0円	
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	4,868,507円	概算事業従事人数 0.55
合計	43,994,507円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	児童館運営事業
消耗品費	0円	児童館運営事業
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
減価償却費 C		
合計	4,164,346円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	0円	
その他収入	0円	
合計	0円	
利用者等 E		
合計	44444	H25 利用者数 諏訪・関沢合算

収支 F	48,158,852円	A+B+C-D
純コスト	1,084円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,084円	F/E
収支比率	0.00%	D/(A+B+C)



(3) 高齢者福祉施設

① 施設の概要

老人福祉センター『びん沼荘』は、市内にお住まいの高齢者の方のための施設で、健康の増進やレクリエーションなど、老人福祉の増進を図ることを目的とした施設です。指定管理者により運営されています。

デイサービスセンターは、富士見市社会福祉協議会が埼玉県から認可を受けて介護保険サービス事業を実施するため、市が貸与しています。

高齢者いきいきふれあいセンターは、特別会計による独立した介護予防事業の施設として増進センターが所管しています。

<基本情報>

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
3301	老人福祉センター びん沼荘	東大久保 3655	高齢者福祉課	単独
3302	デイサービスセンター 諏訪	鶴馬 1932-1	高齢者福祉課	複合：諏訪小
3303	デイサービスセンター 南畑	上南畑 980	高齢者福祉課	複合：東中
3304	高齢者いきいき ふれあいセンター	鶴瀬西 2-8-2	健康増進センター	借家（区分建物）
3305	デイサービスセンター みずほ台	東みずほ台 3-21	高齢者福祉課	複合：みずほ台小

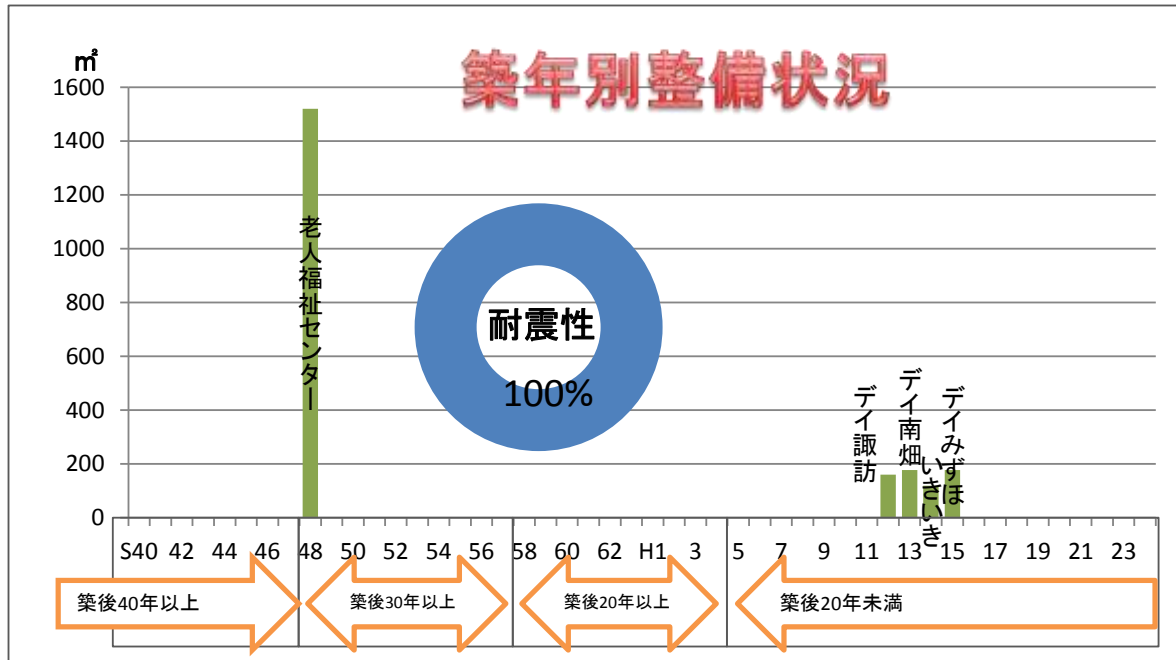
<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積（㎡）※	土地（㎡）
3101	老人福祉センター びん沼荘	R C	S48.3	1,520	7,275
3102	デイサービスセンター 諏訪	R C	H12.3 (校舎 S50.3)	160 (貸家)	—
3103	デイサービスセンター 南畑	R C	H13.3 (校舎 S51.3)	182 (貸家)	—
3104	高齢者いきいき ふれあいセンター	R C	H14.3 (棟 S50.5)	118 (借家)	—
3105	デイサービスセンター みずほ台	R C	H15.3 (校舎 S52.3)	176 (貸家)	—

※複合施設の場合は専有面積です。

② 築年別整備状況

整理 番号	名称	耐 震 性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模 改修からの経過年
3101	老人センター	○	41	H23 耐震・改修	2
3102	デイ諏訪	○	39(校舎)	H11 デイ部分改修	14
3103	デイ南畑	○	38(校舎)	H12 デイ部分改修	13
3104	高齢ふれセン	○	39(棟)	H13 センター部分改修	12
3105	デイみずほ台	○	37(校舎)	H14 デイ部分改修	11



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ プ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ・太陽光 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
3101	老セ	—	◎	△	◎	△	×	×	△	×
3102	デ諏訪	—	◎	△	×	◎	◎	×	—	×
3103	デ南畑	—	◎	△	×	△	◎	×	—	×
3104	高ふセン	—	◎	×	◎	◎	×	×	—	×
3105	デみ台	—	◎	△	◎	◎	◎	×	—	×

名称	防災対応													
	部 災害 対策 策本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等 災害 時優 先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設	外 浸水 地域 内
老セ	×	○※	○	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	E
デ諏訪	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	◎	E
デ南畑	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	◎	E
高ふセン	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	A
デみ台	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	◎	A

※福祉避難所に指定

④ 施設の管理運営にかかるコスト（老人福祉センター）

利用者一人一回当たり約 1,930 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	指定管理料に含む
修繕費	2,886,580円	維持管理事業
委託料	35,594,000円	維持管理事業 うち指定管理料34565000
使用料・賃借料	0円	
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	8,508,822円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 高齢者福祉課 0.68 管財課 保全6.75*1/24
合計	46,989,402円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	0円	
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
減価償却費 C		
合計	22,755,120円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		8851830
使用料等	75,680円	うち施設使用料72600
その他収入	0円	
合計	75,680円	
利用者等 E		
合計	36055	H25 利用者数
収支 F	69,668,842円	A+B+C-D
純コスト	1,934円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,932円	F/E
収支比率	0.11%	D/(A+B+C)

⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（デイサービスセンター3か所）

事業は社会福祉協議会が県から認可を受けて実施しており、市としては事業そのものを実施していませんので、市のコストとしては、建物の減価償却費が大きなものとなっています。その限りでは、利用者一人一回当たり約650円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	社会福祉協議会へ貸与しているため、計上なし
修繕費	0円	
委託料	0円	
使用料・賃借料	0円	
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
事業運営にかかるコスト B		8851830
謝礼等	0円	社会福祉協議会が運営しているため、計上なし
消耗品費	0円	
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
減価償却費 C		8851830
合計	5,090,128円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		8851830
使用料等	0円	
その他収入	0円	電気代727247は教育政策課へ歳入
合計	0円	
利用者等 E		8851830
合計	7866	H25延べ利用者 諏訪2804 南畑2479 み台2583 資料：社協

収支 F	5,090,128円	A+B+C-D
純コスト	647円	(A+B+C)/E
収支コスト	647円	F/E
収支比率	0.00%	D/(A+B+C)

⑥ 施設の管理運営にかかるコスト（高齢者いきいきふれあいセンター）

利用者一人一回当たり約 780 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	288,812円	健康増進センター資料
修繕費	0円	
委託料	158,865円	健康増進センター資料
使用料・賃借料	787,080円	健康増進センター資料
備品代	74,550円	健康増進センター資料
建設工事費	0円	
人件費	0円	
合計	1,309,307円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	39,369円	健康増進センター資料
通信運搬費	105,242円	健康増進センター資料
補助金等	0円	
人件費	2,120,051円	賃金
合計	2,264,662円	
減価償却費 C		
合計	0円	賃借物件のため
収入 D		
使用料等	0円	
その他収入	0円	
合計	0円	
利用者等 E		
合計	4600	H25 利用者数 資料：健康増進センター

収支 F	3,573,969円	A+B+C-D
純コスト	777円	(A+B+C)/E
収支コスト	777円	F/E
収支比率	0.00%	D/(A+B+C)

(算出資料：健康増進センター)

(4) 障がい者福祉施設

① 施設の概要

市民福祉活動センター『ぱれっと』は、市民が福祉活動やボランティア活動の拠点として使える「福祉活動センター」と、地域の親と子が気軽に利用できる「諏訪児童館」の2つの機能を併せ持つ複合施設です。

みずほ学園は、友達と一緒に遊べない、コミュニケーションが難しい、こだわりが強いなど、何らかのハンディキャップをかかえている就学前のお子さんのために、心と身体の発達に関する相談や発達段階に応じた療育・機能訓練などのサービスをする乳幼児の通園施設です。県の資料によると、県内には、みずほ学園と同じ「定員30人以上の施設」に限って言えば、本市を含め7市が同様の施設を設置しています（H26.4.1現在）。

ふじの木作業所は、一般企業に就労が困難な方を対象に、就労、生活指導など自立に必要な訓練を行う自立支援法（生活介護）の施設です。

<基本情報>

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
3401	市民福祉活動センター ぱれっと	鶴馬 1932-7	福祉課	複合：諏訪児童館
3402	みずほ学園	みどり野南 2-1	みずほ学園	単独
3403	心身障害者地域デイケア施設 ふじの木作業所	東大久保 3655	障がい福祉課	単独

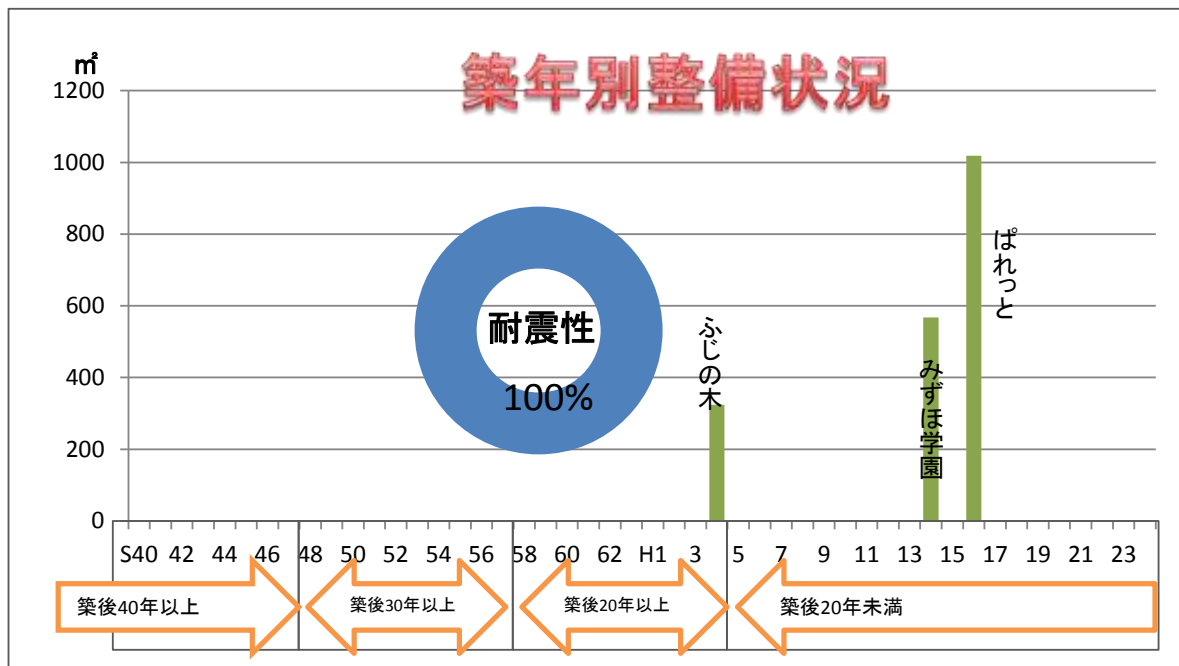
<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡) ※	土地 (㎡)
3401	市民福祉活動センター ぱれっと	R C	H16.6	722 (建物面積 1,019)	2,304
3402	みずほ学園	W	H14.3	569	2,080
3403	心身障害者地域デイケア施設 ふじの木作業所	S (重量)	H4.3	324 (貸家)	740

※複合施設の場合は専有面積です。

② 築年別整備状況

整理 番号	名称	耐 震 性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模 改修からの経過年
3401	ぱれっと	○	9	なし	9
3402	みずほ学園	○	12	なし	12
3403	ふじの木作業所	○	22	なし	22



③ 付帯設備一覧

表の見方はP2参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ップ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ・太陽光 発電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
3401	ばれっと	◎	◎	△	◎	△	◎	×	△	×
3402	みずほ学園	—	◎	△	×	△	◎	×	△	△
3403	ふじの木	—	◎	△	×	△	◎	×	△	△

名称	防災対応														
	部	災害 対策本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等	災害 時優 先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設
ばれっと	×	○※	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	△	E
み学園	×	○	○	×	×	◎	◎	◎	×	×	◎	×	◎	△	E
ふじの木	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	△	E

※福祉避難所に指定



④ 施設の管理運営にかかるコスト（市民福祉活動センターぱれっと）

利用者一人一回当たり約 680 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	0円	
修繕費	56,700円	維持管理事業
委託料	9,580,000円	維持管理事業（全額指定管理料）
使用料・賃借料	0円	
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	3,983,324円	概算事業従事人数 0.45
合計	13,620,024円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	維持管理事業
消耗品費	0円	維持管理事業
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
減価償却費 C		
合計	5,213,704円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	38,700円	施設使用料
その他収入	0円	
合計	38,700円	
利用者等 E		
合計	27829	H25 利用者数

収支 F	18,795,028円	A+B+C-D
純コスト	677円	(A+B+C)/E
収支コスト	675円	F/E
収支比率	0.21%	D/(A+B+C)



⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（みずほ学園）

入園児一人あたり年間約 379.9 万円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	1,269,475円	みずほ学園運営事業
修繕費	101,685円	みずほ学園運営事業
委託料	379,820円	みずほ学園運営事業
使用料・賃借料	383,784円	みずほ学園運営事業
備品代	31,000円	みずほ学園運営事業
建設工事費	24,100円	みずほ学園運営事業
人件費	106,221,960円	概算事業従事人数 12
合計	108,411,824円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	2,957,500円	みずほ学園運営事業
消耗品費	2,183,833円	みずほ学園運営事業
通信運搬費	322,714円	みずほ学園運営事業
補助金等	77,950円	みずほ学園運営事業
人件費	12,463,912円	みずほ学園運営事業（臨時職員賃金10511191）
合計	18,005,909円	
減価償却費 C		
合計	6,557,411円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	2,124,494円	全額保護者負担金
その他収入	0円	
合計	2,124,494円	
利用者等 E		
合計	35	H25 入園児数

収支 F	130,850,650円	A+B+C-D
純コスト	3,799,290円	(A+B+C)/E
収支コスト	3,738,590円	F/E
収支比率	1.60%	D/(A+B+C)



第4節 都市基盤施設

(1) 防災施設

① 施設の概要

新河岸川流域では、急速に都市化が進んでおり、ひとたび破堤等した場合は被害が大きくなることから、本市水子地区において、水防活動の拠点となる河川防災ステーションを整備しました。

河川防災ステーションは、県有地である新河岸川の旧河川敷地内に、水防資材を搬入搬出するためのスペース（ステーション機能）と、消防団車庫を複合した水防センターがあります。有事の際には、人員が水防センターに詰めて水防活動を行い、平常時は流域住民の身近なレクリエーション活動の拠点として活用されています。

本白書はハコモノ（建物）を対象としていますので、ここでは水防センターに限って掲載しています。

<基本情報>

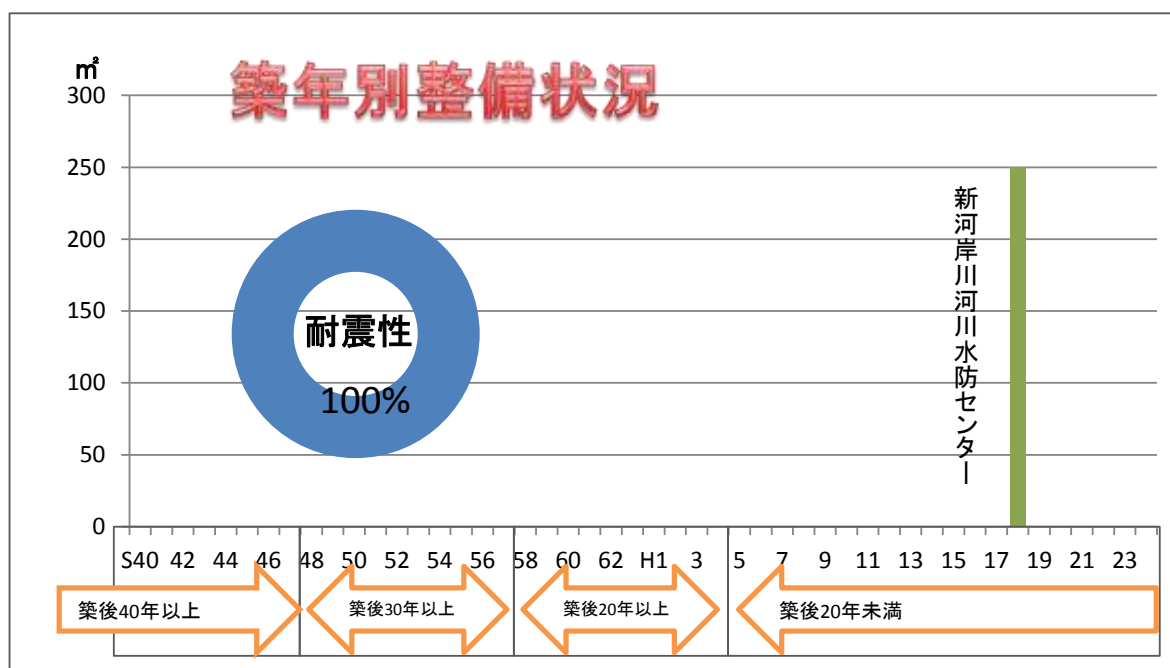
整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
4101	新河岸川 河川水防センター	水子 1783-2	安心安全課	複合：富士見市消防団 第7分団車庫

<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡)	土地 (㎡)
4101	新河岸川 河川水防センター	S（軽量）	H18.2	253 (分団車庫含む)	11,151（借地）

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
4101	新河岸川 河川水防センター	○	8	なし	8



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ープ	自動 ドア	手すり	点字 ブ ロック	自然エネルギー ・太陽光 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対 応 設備
4101	水防 センター	—	◎	△	×	△	△	×	×	×

名称	防災対応													
	部 災害対策本	避難所	救護所	備蓄倉庫	応急給水所	電話等	災害時優先	洋式トイレ	簡易トイレ	マンホール トイレ	調理場	代替電源	冷暖房	入浴施設
水防 センター	×	×	×	△	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×	B



④ 施設の管理運営にかかるコスト（新河岸川河川水防センター）

平常時の水防センターを集会所機能として活用するに当たり、利用者一人一回当たり約 230 円のコストがかかっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	218,166円	電気料金は予算ベース（資料：事業別予算参考資料）
修繕費		
委託料	54,600円	防災対策事業
使用料・賃借料	0円	
備品代	0円	
建設工事費	0円	
人件費	0円	概算事業従事人数データなし
合計	272,766円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	0円	
通信運搬費	0円	
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	0円	
減価償却費 C		
合計	613,200円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	36,500円	集会施設使用料
その他収入	0円	
合計	36,500円	
利用者等 E		
合計	3795	H25 利用者数 資料：安心安全課
収支 F	849,466円	A+B+C-D
純コスト	233円	(A+B+C)/E
収支コスト	224円	F/E
収支比率	4.12%	D/(A+B+C)

(2) 市営自転車駐車場

① 施設の概要

市内3か所の駅前における自転車対策の中心施設として整備されています。定期利用率は全施設ほぼ100%であり、青空駐輪場や民間施設を活用して対策を行っています。

なお、自動車駐車場はハコモノがないため本白書には掲載していません

< 基本情報 >

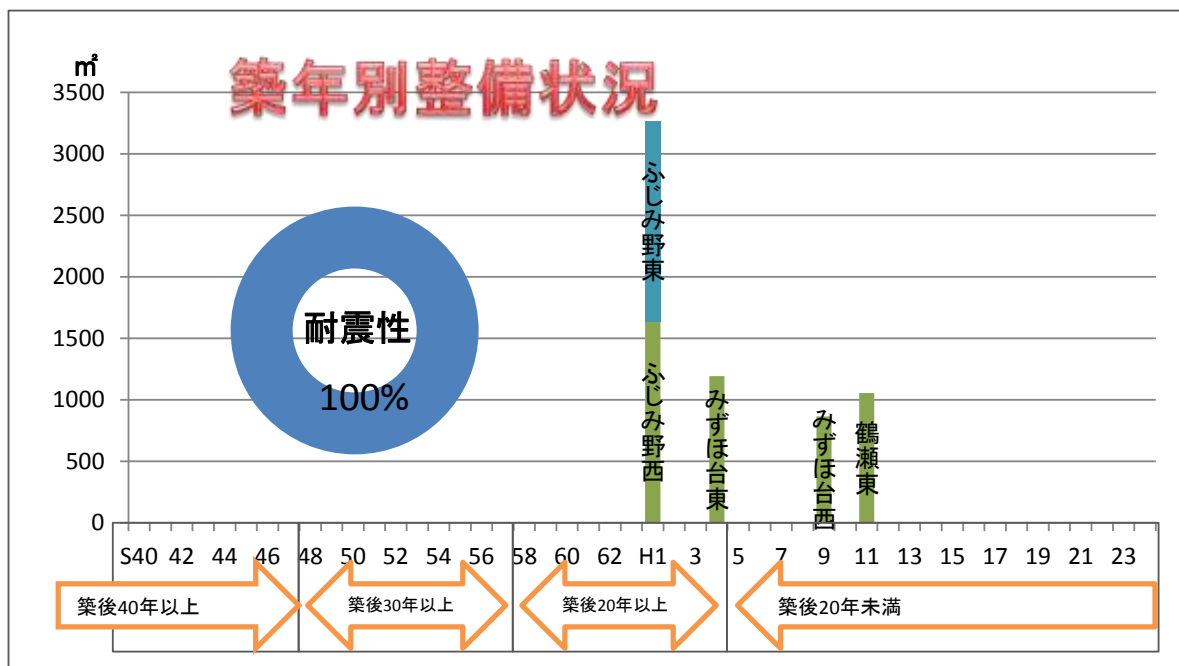
整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
4201	みずほ台駅東口 市立自転車駐車場	東みずほ台 2-7-11	交通・管理課	単独
4202	みずほ台駅西口 市立自転車駐車場	西みずほ台 2-6-7	交通・管理課	単独
4203	鶴瀬駅東口 市立自転車駐車場	鶴瀬東 1-11-10	交通・管理課	単独
4204	ふじみ野駅東口 市立自転車駐車場	ふじみ野東 1-100	交通・管理課	単独
4205	ふじみ野駅西口 市立自転車駐車場	ふじみ野西 1-100	交通・管理課	単独

< 建物面積等 >

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡)	土地 (㎡)
4201	みずほ台駅東口 市立自転車駐車場	S (重量)	H4.10	1,194	535 (借地)
4202	みずほ台駅西口 市立自転車駐車場	S (重量)	H9.8	865	353 (借地)
4203	鶴瀬駅東口 市立自転車駐車場	S (重量)	H11.3	1,055	490 (借地)
4204	ふじみ野駅東口 市立自転車駐車場	R C	H1.3	1,632	4,292
4205	ふじみ野駅西口 市立自転車駐車場	R C	H1.3	1,633	4,272

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模 改修からの経過年
4201	みずほ台駅東口 市立自転車駐車場	○	22	なし	22
4202	みずほ台駅西口 市立自転車駐車場	○	17	なし	17
4203	鶴瀬駅東口 市立自転車駐車場	○	15	なし	15
4204	ふじみ野駅東口 市立自転車駐車場	○	25	なし	25
4205	ふじみ野駅西口 市立自転車駐車場	○	25	なし	25



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ップ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ・太陽光 発電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
4201	み台東	×	×	×	×	△	×	×	×	×
4202	み台西	×	×	×	×	△	×	×	×	×
4203	鶴瀬東	×	×	×	×	△	×	×	×	×
4204	ふ野東	×	×	×	×	△	×	×	×	×
4205	ふ野西	×	×	×	×	△	×	×	×	×

名称	防災対応													
	部 災害 対策 本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等 災害 時 優先	洋 式 トイ レ	簡 易 トイ レ	マン ホー ル トイ レ	調 理 場	代 替 電 源	冷 暖 房	入 浴 施 設	外 浸 水 地 域 内
み台東	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	A
み台西	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	A
鶴瀬東	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	A
ふ野東	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	A
ふ野西	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	A

④ 施設の管理運営にかかるコスト（全自転車駐車場）

利用者1台当たり年間約6.5万円のコストがかかっています。ただし、収支コストでは60%が収入となっています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	266,479円	駅前自転車対策事業
修繕費	0円	駅前自転車対策事業
委託料	120,579,792円	駅前自転車対策事業
使用料・賃借料	16,604,829円	駅前自転車対策事業
備品代	0円	
建設工事費	89,083,995円	
人件費	11,949,971円	概算事業従事人数 1.35
合計	238,485,066円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	駅前自転車対策事業
消耗品費	1,006,902円	駅前自転車対策事業
通信運搬費	108,149円	駅前自転車対策事業
補助金等	30,350円	駅前自転車対策事業 償還金
人件費	5,000円	駅前自転車対策事業
合計	1,150,401円	
減価償却費 C		
合計	29,636,125円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	156,321,750円	駐輪場使用料、放置自転車保管手数料、負担金
その他収入	2,900,898円	放置自転車売払料
合計	159,222,648円	
利用者等 E		
合計	4132	H25 登録台数
収支 F	110,048,944円	A+B+C-D
純コスト	65,167円	(A+B+C)/E
収支コスト	26,633円	F/E
収支比率	59.13%	D/(A+B+C)

(3) 公園関連施設

① 公園施設の特徴

公園関連施設はそのほとんどが小規模なトイレです。このような施設（ほぼ設備に近い）は特段の計画を策定して保全する必要性は低いため、本白書では、その中でも特に耐震性や老朽化問題が無視できないと判断される床面積 50 m²以上の2つの施設をあげました。なお、当該施設については利用者等の統計がなく、コスト計算が不可能となっています。

また、50 m²未満の施設については、下記のとおりです。

延べ床面積	施設数	多数を占める構造
10 m ² 未満	23	ユニットパネル
10 m ² 以上 20 m ² 未満	10	ユニットパネル
20 m ² 以上 30 m ² 未満	3	木造・ユニットパネル・RC造
30 m ² 以上 40 m ² 未満	2	木造
40 m ² 以上 50 m ² 未満	1	木造

② 施設の概要

<基本情報>

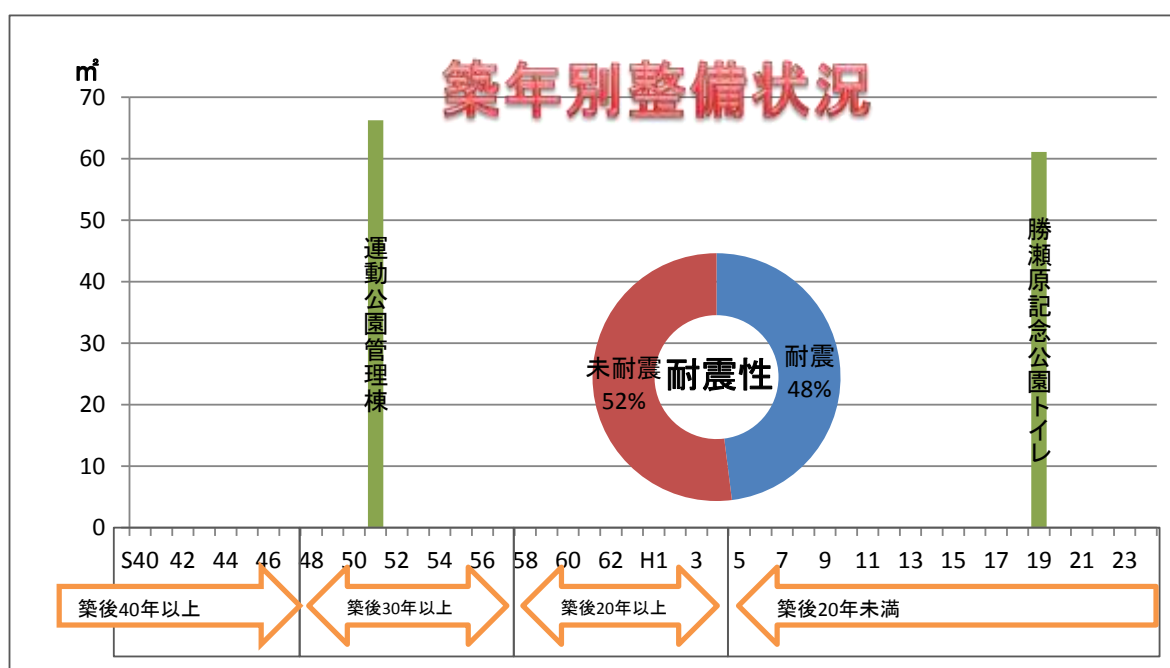
整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
4301	運動公園管理棟	南畑新田 755-1	まちづくり推進課	単独
4302	勝瀬原記念公園トイレ	ふじみ野東 4-11-1	まちづくり推進課	単独

<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (m ²)	土地 (m ²)
4301	運動公園管理棟	S (軽量)	S51.6	66	78,480 (公園面積)
4302	勝瀬原記念公園トイレ	RC	H19.7	61	12,004 (公園面積)

③ 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模 改修からの経過年
4301	運動公園管理棟	×	38	なし	38
4302	勝瀬原記念公園トイレ	○	7	なし	7



④ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ープ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ・太陽光 電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応
4301	管理棟	—	×	×	×	×	×	×	×	×
4302	勝瀬原	—	×	×	×	△	×	×	×	×

名称	防災対応														
	部 災害 対策 本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等	災害 時優 先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設	外 浸水 地域 内
管理棟	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
勝瀬原	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	×	×	×	×



第5節 行政施設

(1) 庁舎

① 施設の概要

庁舎は、行政事務を行う場所であり、公民館などのように、不特定の市民に開放して利用していただくことを目的とする施設（公の施設といいます）とは区別されます。

市役所の本館・分館は富士見市行政の根幹となる施設であり、倉庫棟は書類等を保管しています。

健康増進センターは、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代の健康づくりに関する拠点施設として事業を展開しています。

鶴瀬駅東口・西口整備事務所は、鶴瀬駅東西口の区画整理事業を実施するため、専門部署の職員が詰めている事務所です。

<基本情報>

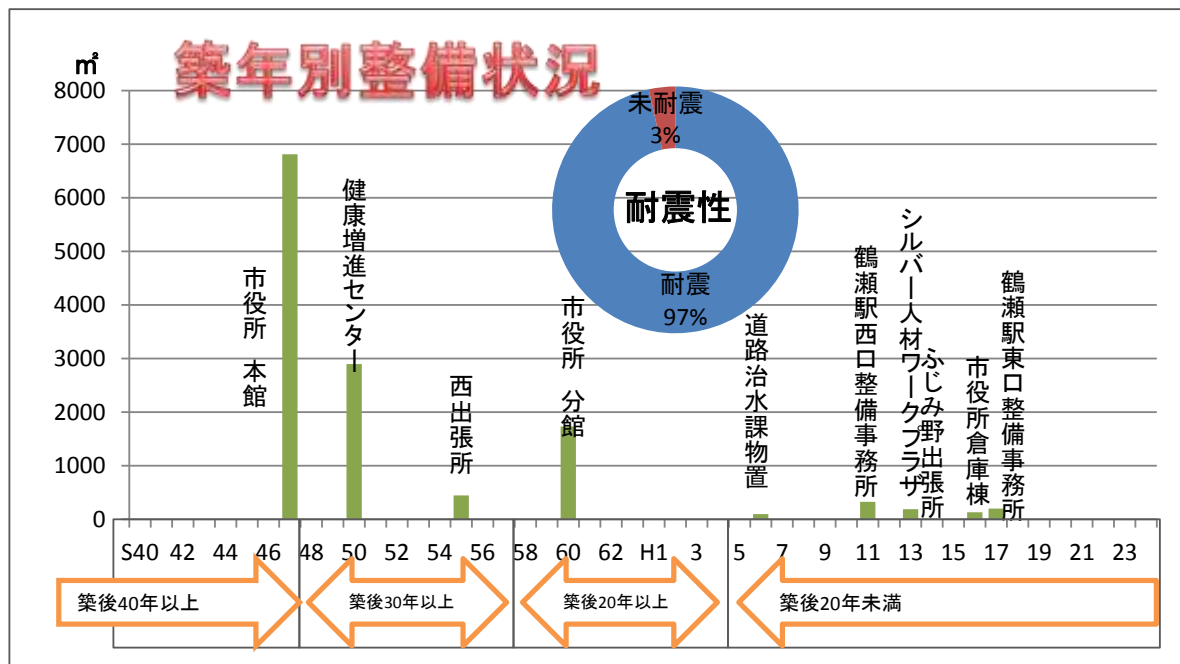
整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
5101	富士見市役所 本館	鶴馬 1800-1	総務課	単独
5102	富士見市役所 分館	鶴馬 1800-1	総務課	
5103	富士見市役所 倉庫棟	鶴馬 1932-2	総務課	単独
5104	健康増進センター	鶴馬 3351-2	健康増進センター	単独
5105	鶴瀬駅東口整備事務所	鶴瀬東 1-6-39	鶴瀬駅東口整備事務所	単独
5106	鶴瀬駅西口整備事務所	鶴馬 3505-1	鶴瀬駅西口整備事務所	単独

<建物面積等>

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積(m ²)	土地(m ²)
5101	富士見市役所 本館	S R C	S48.7	6,694	17,495
5102	富士見市役所 分館	S (重量)	S60.7	1,735	
5103	富士見市役所 倉庫棟	S (軽量)	H16.3	131	656
5104	健康増進センター	R C (一部S)	S50.12	2,658	6,189
5105	鶴瀬駅東口整備事務所	S (軽量)	H17.10	199	672
5106	鶴瀬駅西口整備事務所	S (軽量)	H12.3	249	1,309

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
5101	富士見市役所 本館	○	42	H21 外壁改修	4
5102	富士見市役所 分館	○	29	H21 外壁改修	4
5103	富士見市役所 倉庫棟	○	10	なし	10
5104	健康増進センター	○	39	H24 耐震	1
5105	鶴瀬駅東口整備事務所	○	9	なし	9
5106	鶴瀬駅西口整備事務所	○	15	なし	15



③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ップ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ・太陽光 発電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応
5101	本館	◎	◎	◎	◎	△	◎	×	△	△
5102	分館	◎	◎	◎	◎	△	◎	×	×	△
5103	倉庫棟	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5104	増進セン	◎	◎	△	◎	△	◎	×	△	×
5105	鶴東事務	—	◎	△	×	△	×	×	×	×
5106	鶴西事務	—	◎	△	×	△	◎	×	×	×

名称	防災対応													
	部 災害 対策 本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等 災害 時 優先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設	外 浸水 地域 内
本館	○	×	×	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	△	E
分館	×	×	×	◎	×	×	◎	×	×	×	◎	◎	×	E
倉庫棟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	E
増進セン	×	○	☆	×	×	◎	△	×	×	×	◎	◎	×	E
鶴東事務	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	A
鶴西事務	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	A

④ 施設の管理運営にかかるコスト（市役所本館・分館・倉庫棟）

市役所が1日開庁するために約97.5万円のコストがかかります。なお、ここに挙げている職員は、施設の維持管理だけにかかる職員です。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	28,844,504円	庁舎維持管理事業
修繕費	2,049,327円	庁舎維持管理事業
委託料	46,385,936円	庁舎維持管理事業
使用料・賃借料	5,024,419円	庁舎維持管理事業
備品代	980,448円	庁舎維持管理事業
建設工事費	73,122,750円	庁舎維持管理事業
人件費	31,656,357円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 総務課 2.17 管財課 保全6.75*5/24
合計	188,063,741円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	1,569,249円	庁舎維持管理事業
通信運搬費	8,726,510円	庁舎維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	10,295,759円	
減価償却費 C		
合計	39,594,398円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	2,674,214円	行政財産使用料
その他収入	19,064,163円	職員駐車場代など
合計	21,738,377円	
利用者等 E		
合計	244	H25 開庁日（臨時開庁含まず）

収支 F	216,215,521円	A+B+C-D
純コスト	975,221円	(A+B+C)/E
収支コスト	886,129円	F/E
収支比率	9.14%	D/(A+B+C)

⑤ 施設の管理運営にかかるコスト（健康増進センター）

1日開庁するために約22.9万円のコストがかかっています。なお、ここに挙げている職員は、施設の維持管理だけにかかる職員です。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	5,348,495円	施設維持管理事業
修繕費	593,911円	施設維持管理事業
委託料	4,962,569円	施設維持管理事業
使用料・賃借料	1,512円	施設維持管理事業
備品代	631,200円	施設維持管理事業
建設工事費	15,209,418円	施設維持管理事業
人件費	11,175,435円	概算事業従事人数：主要施策報告書より 健康増進センター 0.70 管財課 保全6.75*2/24
合計	37,922,540円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	265,323円	施設維持管理事業
通信運搬費	0円	施設維持管理事業
補助金等	0円	
人件費	0円	
合計	265,323円	
減価償却費 C		
合計	17,664,167円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	1,180,172円	体育館使用料、自販機設置料等
その他収入	0円	
合計	1,180,172円	
利用者等 E		
合計	244	H25 開庁日

収支 F	54,671,858円	A+B+C-D
純コスト	228,902円	(A+B+C)/E
収支コスト	224,065円	F/E
収支比率	2.11%	D/(A+B+C)

(2) 出張所

① 施設の概要

出張所では、住民票・税務・納税などの各種証明書の交付、住民異動、国民健康保険、医療費、介護保険、市町村交通災害共済、母子健康手帳、市立小中学校の転入学の手続き、各種使用料手数料の納付等を行っています。

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
5201	西出張所	鶴馬 2602-3	市民課	複合：サンライトホール・(ふるさとハローワーク※)
5202	ふじみ野出張所	ふじみ野東 1-26-1	市民課	単独 (ふじみ野駅構内)
5203	南畑出張所	上南畑 306-1	市民課	複合：南畑公民館
5204	みずほ台出張所	西みずほ台 1-19-2	市民課	複合：みずほ台コミュニティセンター
5205	水谷出張所	水谷 1-13-6	市民課	複合：水谷公民館
5206	水谷東出張所	水谷東 2-12-10	市民課	複合：水谷東公民館・水谷東公民館図書室

※ふるさとハローワークは国と県の共同運営施設。

< 建物面積等 >

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡) ※	土地 (㎡)
5201	西出張所	SRC (一部RC)	S55.3	308 (専有総面積 446)	区分所有
5202	ふじみ野出張所	コンパネ・カラー鉄板	H18.7	14	—
5203	南畑出張所	RC (一部S)	S56.3	24 (建物面積 1,040)	—
5204	みずほ台出張所	RC	S58.2	48 (建物面積 1,009)	—
5205	水谷出張所	RC (一部S)	S55.3	42 (建物面積 1,175)	—
5206	水谷東出張所	RC (一部S)	S56.3	28 (建物面積 887)	—

※複合施設の場合は専有面積です。

② 築年別整備状況

整理 番号	名称	耐 震 性	老朽化		
			築年数 H26. 4. 1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模 改修からの経過年
5201	西出張所	○	34	H6 改修	19
5202	ふじみ野出張所	—	8	なし	8
5203	南畑出張所	○	33	H25 耐震・EL 設置	0
5204	みずほ台出張所	○	31	H13 大規模修繕	12
5205	水谷出張所	○	34	H23 屋上防水・外壁	2
5206	水谷東出張所	○	33	H25 耐震・EL 設置	0

※ふじみ野出張所はふじみ野駅構内の一角を間仕切りした程度のものであるため、耐震性判断は適用外です。

※グラフは各出張所が複合されている施設を参照してください。



③ 付帯設備一覧

表の見方はP2参照

整理番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター	車いす用トイレ	身障者用トイレ	車いす用スロプ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等
5201	西	—	◎	◎	◎	×	×	—	—	×
5202	ふじみ野	—	×	—	◎	×	×	—	—	×
5203	南畑	南畑公民館参照								
5204	みずほ台	みずほ台コミュニティセンター参照								
5205	水谷	水谷公民館参照								
5206	水谷東	水谷東公民館参照								

名称	防災対応															
	部	災害対策本	避難所	救護所	備蓄倉庫	応急給水所	電話等	災害時優先	洋式トイレ	簡易トイレ	マンホールトイレ	調理場	代替電源	冷暖房	入浴施設	外
西	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	◎	×	A
ふじみ野	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	A
南畑	南畑公民館参照															
みずほ台	みずほ台コミュニティセンター参照															
水谷	水谷公民館参照															
水谷東	水谷東公民館参照															

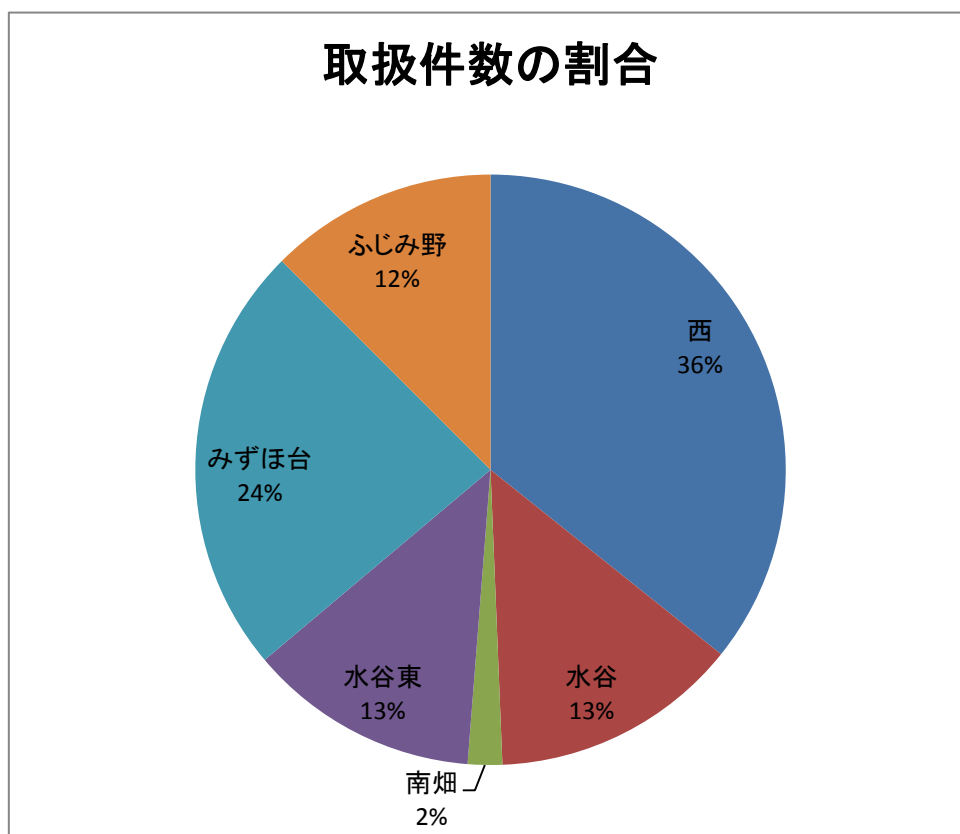
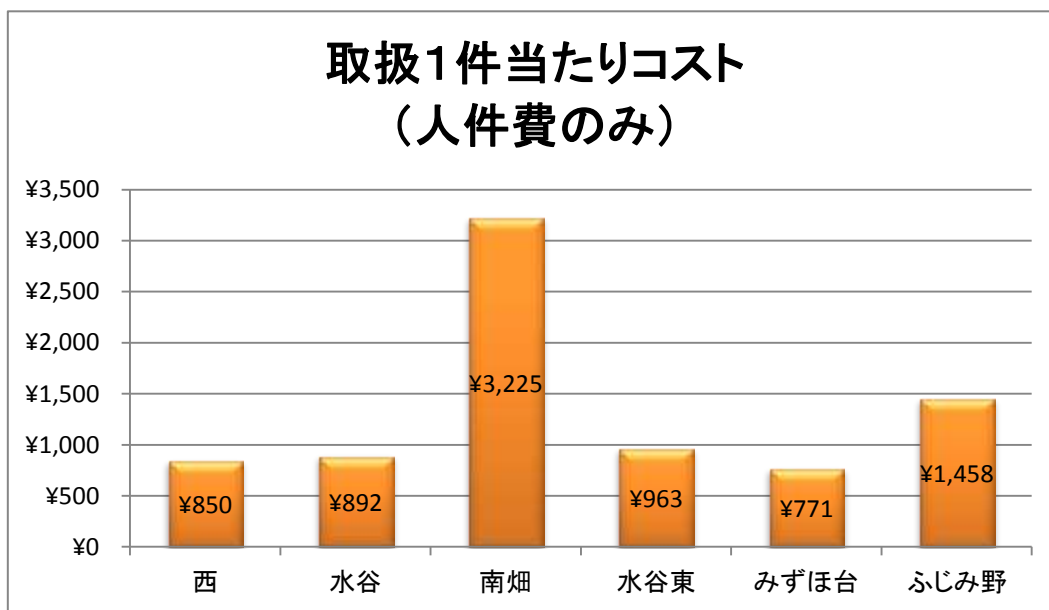


④ 施設の管理運営にかかるコスト（全出張所コスト）

1件当たり約1,040円のコストがかかっています。手続きによって処理にかかる時間に差異がありますが、ここでは一括して考えています。

平成25年度決算額		備考
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	104,365円	出張所窓口事務事業
修繕費	0円	出張所窓口事務事業
委託料	362,250円	出張所窓口事務事業
使用料・賃借料	2,190,611円	出張所窓口事務事業
備品代	401,100円	出張所窓口事務事業
建設工事費	0円	
人件費	132,777,450円	概算事業従事人数 15.0
合計	135,835,776円	
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	0円	
消耗品費	137,307円	出張所窓口事務事業
通信運搬費	726,934円	出張所窓口事務事業
補助金等	0円	
人件費	11,750,810円	臨時職員賃金
合計	12,615,051円	
減価償却費 C		
合計	2,362,475円	平成24年度までの建築費・改修費等を耐用年数で除した
収入 D		
使用料等	0円	
その他収入	0円	
合計	0円	
利用者等 E		
合計	145693	H25 全出張所処理件数
収支 F	150,813,302円	A+B+C-D
純コスト	1,035円	(A+B+C)/E
収支コスト	1,035円	F/E
収支比率	0.00%	D/(A+B+C)

⑤ 人件費のみコスト（各主張所比較）



(3) その他

① 施設の概要

シルバー人材センターワークプラザは、富士見市シルバー人材センターがその事業を実施するための施設で、市が建設し、富士見市シルバー人材センターに貸与しています。道路治水課物置は、道路維持管理のための資材等を保管している倉庫です。

< 基本情報 >

整理番号	名称	所在地	所管	単独・複合・併設
5301	シルバー人材センターワークプラザ	羽沢 3-23-17	高齢者福祉課	単独
5302	道路治水課物置	東大久保 3655	道路治水課	併設：老人福祉センター

< 建物面積等 >

整理番号	名称	主な構造	建築年月	延床面積 (㎡)	土地 (㎡)
5301	シルバー人材センターワークプラザ	S (軽量)	S13.1	186 (貸家)	436 (貸地)
5302	道路治水課物置	S (軽量)	H6.4	98	—

② 築年別整備状況

整理番号	名称	耐震性	老朽化		
			築年数 H26.4.1 現在	直近の大規模改修 (年度)	建築又は大規模改修からの経過年
5301	シルバー人材センターワークプラザ	○	13	なし	13
5302	道路治水課物置	○	20	なし	20

グラフはP115 参照

③ 付帯設備一覧

表の見方はP 2 参照

整理 番号	名称	バリアフリー対応						環境対応		
		エレベーター 車いす用	身障者 トイレ	車いす 用スロ ップ	自動 ドア	手すり	点字 ブロック	自然エネルギー ・太陽光 発電の導入	屋上・壁 面緑化等	環境 対応 設備
5301	シルバー	×	×	×	×	△	◎	×	×	×
5302	物置	—	—	—	—	—	—	—	—	—

名称	防災対応														
	部 災害 対策 本	避難 所	救護 所	備蓄 倉庫	応急 給水 所	電話 等	災害 時優 先	洋式 トイレ	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調理 場	代替 電源	冷暖 房	入浴 施設	外 浸水 地域 内
シルバー	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎	×	A
物置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	E



第6節 全施設のコスト構成比

この表は本白書に掲載された施設のコストを集計したものです。

施設の維持管理にかかるコストが最も多く、減価償却費と合計すると全体の 8 割以上を占めています。

注目すべきは、建て替えや保全管理、長寿命化を考える上で重要な要素となる修繕費、建設工事費、減価償却費です。修繕費と建設工事費は平成 25 年度の実績であり、年度によって支出額に波があります（P11 参照）が、今後、同程度の費用が必要となる可能性があります。

また、減価償却費は 11 億円以上にもなっており、単純計算すれば、現在の施設の更新が訪れた場合に毎年必要となる数字となるといえます。

平成25年度決算額		構成比
施設維持管理にかかるコスト A		
光熱水費	221,579,796円	3.23%
修繕費	83,482,243円	1.22%
委託料	1,392,466,103円	20.32%
使用料・賃借料	144,486,620円	2.11%
備品代	82,788,686円	1.21%
建設工事費	1,806,259,058円	26.36%
人件費	1,228,014,376円	17.92%
合計	4,959,076,882円	72.36%
事業運営にかかるコスト B		
謝礼等	9,518,113円	0.14%
消耗品費	159,175,962円	2.32%
通信運搬費	28,026,100円	0.41%
補助金等	129,971,594円	1.90%
人件費	449,841,925円	6.56%
合計	776,533,694円	11.33%
減価償却費 C		
合計	1,117,908,224円	16.31%
合計	6,853,518,799円	100.00%

第4章 本書のまとめ

第1節 本白書の役割

(1) ハコモノ公共施設の現状を「見える化」

本白書は、富士見市公共施設の現状分析として、本市の人口構成や公共施設の利用状況、物理的状況、コスト情報などを多角的に把握し、網羅的に編集しなおしたものです。編集に当たり、ほぼすべてのデータをすでに公表されている資料の中から抽出しました。

このように、データとしてはすでに整えられていた公共施設の現状ですが、それを「公共施設」という観点でまとめたものが本書です。これにより、公共施設の現状が下記のように「見える化」されました。

- 総人口は横ばいを維持しつつも少子高齢社会が進展し、特に高齢化率 21%の超高齢社会になっている
- 全国的に少子化が進んでいるが、本市においては児童生徒数は横ばい
- 市民意識調査によると、高齢者、保育、福祉、学校、自転車が公共施設関連の重点改善項目
- 公共施設の 6 割以上が昭和 50 年代までの人口急増期に建築された築 30 年以上の施設
- 学校が 6 割以上を占める
- 構造部材の耐震化はほぼ完了しており、非構造部材についても実施中
- これまでに形成された公共施設などの固定資産について、財務諸表による分析では、類似団体と比較しても平均的
- 学校教育施設において、地域によって児童生徒数にばらつきがあり、ふじみ野地域と水谷東地域、南畑地域においてそれが顕著になっている
- 生涯学習施設において、地域による利用率及び施設の種類によってばらつきがある

(2) 「見える化」された課題

- 少子高齢社会の進展など社会経済状況の変化に伴って変化していくことが予想される公共施設の利用需要への対応
- 長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化・施設再配置などを計画的に行うことが必要
- 厳しい財政状況が続く中で、財政負担を軽減・平準化することが必要
- 各公共施設の最適な配置を実現することが必要
- 施設の老朽化等の状況の詳細な把握や、建物情報の一元化を図り、今後発生することが予測される建物維持管理コストの見込み把握が必要

第2節 今後の取り組み

(1) 固定資産台帳の整備

① 新地方公会計制度

地方公共団体の会計制度は、明治以来、一般家庭の家計簿とおなじ考え方による単式簿記・現金主義会計による処理が行われていますが、一般市民にも分かりやすいという利点がある一方で、現金支出以外の資産、負債の状況が見えにくいという欠点があります。

また、地方公共団体が所有するインフラ資産や公共施設（以下、インフラ資産とハコモノ公共施設を合わせて「公共施設等」という）は、税金を財源として建設され、その後活用され続けるという観点から、公共施設等が消滅するまでは税金が形を変えて積み上げられている「資産」と考えることができます。

積み上げられた税金（資産）は、管理を続ける必要があり、企業会計に用いられている複式簿記はこういった資産管理等に適しており、資産価値の減少等、現金支出以外のコストを把握することができます。

新地方公会計は、このように、資産・負債等のストック情報や行政サービスにかかるコスト情報を、複式簿記・発生主義の導入により補完し、事業別・施設別といった、より細かい単位でこれまで以上にコストを正確に把握することで、公共施設等の適正管理に活用することができます。

② 固定資産台帳の整備

複式簿記・発生主義会計は、資産を「固定資産台帳」により把握します。総務省によると、貸借対照表に計上する固定資産について、資産単位毎に、勘定科目、名称、取得年月日、取得価格、減価償却費、帳簿価格等の項目を記帳することが必要とされています。

これは、既存の公有財産台帳等には固定資産台帳を整備するために必要な情報が必ずしも網羅されているとは言えないため、必要情報を追加、補完することにより、効率的な台帳整備を可能にしようとするものです。

整備された台帳により、資産更新問題等に対応し得る情報を管理することが可能となり、耐用年数・更新費用の把握、建て替え・統廃合・長寿命化の判断等に活用できます。

このように、自治体が所有する資産を有効に活用するためには、複式簿記によって資産の減価償却等を個別に管理することが有効であり、今後とも固定資産台帳の整備が求められます。

(2) 公共施設等総合管理計画の策定

公共施設等総合管理計画とは、平成26年4月22日総務大臣通知により平成28年度末までに策定を要請された、地方公共団体における長期的視野における公共施設等の最適な配置・

更新・統廃合・長寿命化を行うための計画です。

公共施設等総合管理計画の内容は、インフラを含めた全ての公共施設等を対象とし、公共施設等の現況及び将来の見通し、総人口や年代別人口についての今後の見通し、公共施設等の維持管理・更新等に係る中長期的な経費やこれらの経費に充当可能な財源の見込み、等の中長期的な展望のもと、10年以上の計画期間を定め、全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策に基づき、公共施設等の管理に関する基本的な方針を記載します。

そして計画の進捗状況等に応じ、順次計画をバージョンアップするほか、施設個別の行動計画を策定し、実効性のある計画としていきます。

(3) 中長期保全計画の作成（ハコモノ公共施設に関して）

① 公共施設等総合管理計画における位置づけ

公共施設等総合管理計画では、施設の種別（道路、上水道、下水道、ハコモノ公共施設など）ごとに「個別計画」を作ります。

ここで述べる「中長期保全計画」は、公共施設等総合管理計画におけるハコモノ公共施設に限った個別計画のことです。

② 中長期保全計画

一般的に建物は、築30年程度経過すると、設備機器や仕上げ材等耐用年数の短い建築部材が耐久寿命を超えて老朽化している状況にあり、施設機能を竣工当時レベルに維持するためには、建て替えを行うという選択肢が取られることが少なくありません。しかし、このような従来型の建て替え新築では相当規模の更新費用が必要なことになり、現在の厳しい財政状況では、現実的に対応できない状況にあります。

中長期保全計画とは、限られた財源の中で、既存建物の修繕、改修、増改築などを計画的に行い、「長寿命化」、「ライフサイクルコストの縮減」、「財政負担の軽減・平準化」及び「保全優先順位の公正化」を図ることを目的とする計画です。

この計画の中で重要な視点として、これまでの「壊れたから直す」的な維持管理を、予防保全的な維持管理へと転換すること、建築物の機能や設備性能を常に良好な状態に保ち、利用者に安定した施設を提供すること、が挙げられます。

具体的には、建築物の目標耐用年数、保全対象部位（最低限必要な保全箇所や設備）及び更新周期等を定め、さらに経過年数や劣化度等から判断し、保全優先順位の公正化を図り、中長期的な予防保全工事の実施時期と経費の推計を示します。例えば、ある建物の屋上が面積1,000㎡で、その防水機能の耐用年数が20年であるとした場合、概算費用が1万円/㎡とすると、20年おきに1,000万円の（予防保全）工事が必要となります。また、設備に関しても、耐用年数を10年の空調機器が30基あった場合、概算費用が10万円/基とすると、10年おきに300万円の費用が必要となります。

このように、建物は部分ごとに耐用年数や保全方法が異なるため、その機能を100%維持するためには、いつ・どの部位を改修し、概算で幾らかかるのかということがわかり、これがその建物の「中長期保全計画」となります。

③ 対象施設と対象部位の絞り込み

中長期保全計画が対象とする公共施設は、ハコモノ公共施設に限ります。これらハコモノ公共施設は、庁舎や学校など延べ床面積何千㎡という大規模なものから、公衆トイレなどの数㎡の小規模なものまで、規模、用途は多種多様です。行政需要・施設用途等を考慮しつつ、規模や利用形態などを勘案した上で、中長期保全計画を作成すべき施設を取捨選択する必要があります。

対象部位についても、例えば、扉1枚などの軽微な部材については、建物の寿命に影響しないことから中長期保全計画に含めず、不具合発生時に建物機能への影響が大きいもの（集中管理空調設備など）、人命に大きな影響を及ぼすものなどを優先し、費用対効果を十分に考慮した上で、機能維持のための部位を選定することが必要です。

また、ポンプ施設などのプラント設備や、舞台装置などの専門機器については、耐用年数が画一的ではないため、対象部位に含めず、専門業者等による保守管理記録に基づいた各施設管理者による維持管理計画の作成が必要です。

（４） 実効性のある維持管理体制の確立

本市ではこれまで、施設の日常管理や軽微な修繕については所管課が行い、大規模改修などは専門知識を持つ保全担当課（管財課など）が行って来ました。しかしながら、これらの作業は個別施設ごとに行っており、必ずしも全体で最適な対応がなされていない可能性があります。

今後は、公共施設『モノ』をハード面で保全するとともに、市民サービスをソフト面で支える『ヒト』、そしてこれらの根源となる財源『カネ』に関して情報の共有を図りながら、全庁横断的に最適な判断が行える体制を構築していく必要があります。また、庁内だけでなく、市民の方々や施設利用者とともに保全を推進していく視点も必要不可欠です。

① 施設所管課職員の保全的能力の向上

施設の所管課職員は事務系の職員が通常で、数年程度で配置替があるため、建物の概要や部位への理解、清掃・点検の箇所や方法等の知識が十分とはいえません。日常管理はこれでも問題ありませんが、施設の保全という観点に立つと、これでは不十分です。

先述したように、施設保全計画を進めて行く上で、老朽化の進む既存施設の保全には、日常点検結果の集積は不可欠であり、そのデータを分析して保全活動に反映させなければなりません。“壊れてから直す”という体制では、機能保全は図れず、せっかくの施設が有効活用されないという本末転倒の状態に陥る可能性もあります。

そこで、施設状況を的確に把握するため、専門的な知識がない管理者でも容易に行うことができるように、建物部位の解説、点検箇所・方法等が網羅された「施設管理者のための建物維持管理マニュアル」等を作成、運用することにより、良好な環境や、建築部材・設備の適切な状態の維持を図り、事後保全でなく予防保全が行える体制を確立します。

② 計画執行のための体制整備

施設の状況を把握する施設所管課、それをもとに保全計画を作成・執行する保全担当課、その財源を検討する予算担当課、職員配置を検討する人事担当課、政策的観点からの最適な施設配置を検討する企画担当課がそれぞれ連携して保全活動をしていく必要があります。

また、計画の実施に際しては、予算措置、工事の施工、改修履歴の記録管理及び計画の見直しというサイクルの体制を整備しなければなりません。

さらに、維持管理に関する情報、施設台帳、図面、工事履歴など、多岐にわたる資料を紙で保存管理していくのは、限界もあり効率的ではありません。これらの情報は可能な限り電子化することにより、保全計画を進めていくうえで作業効率を向上させ、計画を常に最新情報に更新することが可能となります。このような中長期保全計画の電子システム化の整備も検討する必要があります。

.....

富士見市公共施設白書 平成 25 年度版

発 行 富士見市

編集担当 富士見市総合政策部管財課

〒354-8511 埼玉県富士見市大字鶴馬1800番地の1

TEL 049-251-2711 FAX 049-251-2726

URL <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

.....